

滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
M-01	機械設備特記仕様書	NOSCALE
M-02	給排水衛生設備 衛生器具リスト	NOSCALE
	B1 コア2棟	
M-03	B1 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-04	B1 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-05	B1 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-06	B1 換気設備 1～3階平面詳細図 (撤去・改修後)	1/50
	B3 環境生態学科棟	
M-07	B3 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-08	B3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-09	B3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-10	B3 換気設備 1～3階平面詳細図 (撤去・改修後)	1/50
	B5 環境資源管理学科棟	
M-11	B5 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-12	B5 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-13	B5 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後)	1/50
M-14	B5 換気設備 1～3階平面詳細図 (撤去・改修後)	1/50

機械設備工事特記仕様書		項目	特記事項	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項			
工 事 概 要	工事名称	滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事		一 般 共 通 事 項	※11 検査合格書等	31 環境配慮指針	○	工事範囲及び説明	既設コア2棟(B1)・環境生態学科棟(B3)・環境資源学科棟(B5)の便所改修に伴う洗面・手洗いの電気温水器の新設を行う。			
	工事場所	滋賀県彦根市八坂町2500			※12 建築工事との取合い	32 週休2日取組促進型工事(受注者希望方式)	○	給湯ボイラ	鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ			
	工事期間・限	令和 年 月 日			※13 既存設備関係	33 建設工事 公衆災害防止対策要綱	○	熱配管材料	A 重油、灯油、L Pガス、都市ガス(13A)、電気			
	工事概要説明	滋賀県立大学の便所改修を行う上記に伴う機械設備工事の一切を行う。			※14 公害対策	※34 施工計画書	○	保温工事	脱酸鋼管M、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管 保温付き被覆鋼管(保温厚14mm以上)、ポリプレン管			
	※該当工事には適用欄に○印を附す。				※15 産業廃棄物の処理	○	送風機	既設コア2棟(B1)・環境生態学科棟(B3)・環境資源学科棟(B5)の便所改修に伴う機器・ダクトの改修を行う。				
	適用 No	工事種目	工種		備考	16 発生材の処理	○	ダクト	壁付換気扇、天井埋込換気扇・全熱交換器 [ダクトファン]			
	1	受水設備	○			17-1 保険の付与及び事故の補償(法定外の労災保険の付与)	○	保温工	外壁より2m以内は保温すること。			
	2	給水設備	○			17-2 保険等	○	換気機	送風機取付については、防音、防振に注意して施工のこと。			
	3	排水通気設備	○		既設排水管の管更生を行う。	18 監督職員事務所	○	排煙機	機器リストによる。			
	4	衛生器具設備	○			※19 安全対策	○	排煙機				
	5	ガス設備	○			20 統括安全衛生管理業務者	○	排煙機				
	6	消火設備	○			21 創意工夫等実施状況	○	排煙機				
7	給湯設備	○	洗面器付属の貯湯式電気温水器の設置を行う。	22 別途工事との連絡協議	○	排煙機						
8	換気設備	○		23 シンナー等の保管管理	○	排煙機						
9	排煙設備	○		24 フロンの回収	○	排煙機						
10	暖房設備	○		25 工事実績情報の作成・登録	○	排煙機						
11	冷房設備	○		26 工事関係車両の電波法遵守	○	排煙機						
12	空調設備	○		27 過積載の防止措置	○	排煙機						
別途工事 (建築・電気)				28 技術検査	○	排煙機						
・工事区分表による。				29 施工上の留意事項等	○	排煙機						
機械設備工事仕様書	1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公建築工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書および同設備工事標準図の令和4年度版機械設備工編(以下、「機仕」という)による。 2. 項目は、○、※印の付いたものを適用する。				※26 工事関係車両の電波法遵守	○	排煙機					
要 求	No	名称	構造	階数	延面積(m ²)	棟数	備考					
	計											
	項目		特記事項									
	適用項目		一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。									
	※1 施工基準		イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面 14 業及び標準仕様書により完全に施工する。なお上記相互に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。 ロ 必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。 ハ 本図は、工事の重大を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 ニ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。									
	※2 監理指針		国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事監理指針(令和4年版)に準ずる									
	※3 施工監理チェックリスト		施工に際し、施工手引き書である機械設備工事監理チェックリスト(滋賀県土木交通建設課 2019年度版)に従う。									
	4 完成図		完成図の種類、記入内容および様式は機仕により作成し、原因、CADデータおよび焼付製本(縮小版A4サイズ)部を提出するものとする。 なお、機仕 1.7.2(1)図面の種類に本特記仕様書を加えたものとする。									
	5 保全に関する資料		保全に関する資料は機仕により作成し、監督員に指示された必要部数(の原本、複写図および電子データ)を提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築設備等に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。									
	6 工事写真		区分 分類・規格 撮影枚数 部数(ネガ1枚に付) 備考 着工前 3-⑤-7 1 状況によりつなぎ写真 工事中 3-⑤-7 1 必要に応じ 完成時 6・⑩・20 2 定期提出 3-⑤-7 2 月末報告用									
	7 現場代理人		完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。写真撮影は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方-建築設備編」に準ずる。 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。 契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準(滋賀県土木交通部)」による。 ①現場代理人の常駐を要しない期間 ・請負契約の締結の日(翌日)から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 ②請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ③工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。 請負人は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたること。									
	8 技術管理		① 技術者の専任を要しない期間 ・請負契約の締結日(翌日)から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ② 滋賀県建設工事請負契約約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査を完了した日は、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日(契約約款第31条第4項に該当するものを含む)とする。 なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期完了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。									
9 技能士		適用工事種別 ・配管施工:1級 ・熱絶縁施工:1級 ・冷凍・空調調和機施工:1級 ・建築板金施工										
※10 下請業者機材等の選定		各種下請業者、機材等県内で供給できるものについては、極力県内業者、県産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。										
				※27 過積載の防止措置								
				※28 技術検査								
				※29 施工上の留意事項等								
				※30 暴力団員等による不当介入の排除								
				※31 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※32 創意工夫等実施状況								
				※33 別途工事との連絡協議								
				※34 シンナー等の保管管理								
				※35 フロンの回収								
				※36 工事実績情報の作成・登録								
				※37 工事関係車両の電波法遵守								
				※38 過積載の防止措置								
				※39 技術検査								
				※40 施工上の留意事項等								
				※41 暴力団員等による不当介入の排除								
				※42 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※43 創意工夫等実施状況								
				※44 別途工事との連絡協議								
				※45 シンナー等の保管管理								
				※46 フロンの回収								
				※47 工事実績情報の作成・登録								
				※48 工事関係車両の電波法遵守								
				※49 過積載の防止措置								
				※50 技術検査								
				※51 施工上の留意事項等								
				※52 暴力団員等による不当介入の排除								
				※53 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※54 創意工夫等実施状況								
				※55 別途工事との連絡協議								
				※56 シンナー等の保管管理								
				※57 フロンの回収								
				※58 工事実績情報の作成・登録								
				※59 工事関係車両の電波法遵守								
				※60 過積載の防止措置								
				※61 技術検査								
				※62 施工上の留意事項等								
				※63 暴力団員等による不当介入の排除								
				※64 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※65 創意工夫等実施状況								
				※66 別途工事との連絡協議								
				※67 シンナー等の保管管理								
				※68 フロンの回収								
				※69 工事実績情報の作成・登録								
				※70 工事関係車両の電波法遵守								
				※71 過積載の防止措置								
				※72 技術検査								
				※73 施工上の留意事項等								
				※74 暴力団員等による不当介入の排除								
				※75 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※76 創意工夫等実施状況								
				※77 別途工事との連絡協議								
				※78 シンナー等の保管管理								
				※79 フロンの回収								
				※80 工事実績情報の作成・登録								
				※81 工事関係車両の電波法遵守								
				※82 過積載の防止措置								
				※83 技術検査								
				※84 施工上の留意事項等								
				※85 暴力団員等による不当介入の排除								
				※86 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※87 創意工夫等実施状況								
				※88 別途工事との連絡協議								
				※89 シンナー等の保管管理								
				※90 フロンの回収								
				※91 工事実績情報の作成・登録								
				※92 工事関係車両の電波法遵守								
				※93 過積載の防止措置								
				※94 技術検査								
				※95 施工上の留意事項等								
				※96 暴力団員等による不当介入の排除								
				※97 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※98 創意工夫等実施状況								
				※99 別途工事との連絡協議								
				※100 シンナー等の保管管理								
				※101 フロンの回収								
				※102 工事実績情報の作成・登録								
				※103 工事関係車両の電波法遵守								
				※104 過積載の防止措置								
				※105 技術検査								
				※106 施工上の留意事項等								
				※107 暴力団員等による不当介入の排除								
				※108 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※109 創意工夫等実施状況								
				※110 別途工事との連絡協議								
				※111 シンナー等の保管管理								
				※112 フロンの回収								
				※113 工事実績情報の作成・登録								
				※114 工事関係車両の電波法遵守								
				※115 過積載の防止措置								
				※116 技術検査								
				※117 施工上の留意事項等								
				※118 暴力団員等による不当介入の排除								
				※119 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※120 創意工夫等実施状況								
				※121 別途工事との連絡協議								
				※122 シンナー等の保管管理								
				※123 フロンの回収								
				※124 工事実績情報の作成・登録								
				※125 工事関係車両の電波法遵守								
				※126 過積載の防止措置								
				※127 技術検査								
				※128 施工上の留意事項等								
				※129 暴力団員等による不当介入の排除								
				※130 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※131 創意工夫等実施状況								
				※132 別途工事との連絡協議								
				※133 シンナー等の保管管理								
				※134 フロンの回収								
				※135 工事実績情報の作成・登録								
				※136 工事関係車両の電波法遵守								
				※137 過積載の防止措置								
				※138 技術検査								
				※139 施工上の留意事項等								
				※140 暴力団員等による不当介入の排除								
				※141 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※142 創意工夫等実施状況								
				※143 別途工事との連絡協議								
				※144 シンナー等の保管管理								
				※145 フロンの回収								
				※146 工事実績情報の作成・登録								
				※147 工事関係車両の電波法遵守								
				※148 過積載の防止措置								
				※149 技術検査								
				※150 施工上の留意事項等								
				※151 暴力団員等による不当介入の排除								
				※152 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(建設工事 電気設備工事 機械設備工事)の受注者を指すものとする。								
				※153 創意工夫等実施状況								
				※154 別途工事との連絡協議								
				※155 シンナー等の保管管理								
				※156 フロンの回収								
				※157 工事実績情報の作成・登録								
				※158 工事関係車両の電波法遵守								
				※159 過積載の防止措置								
				※160 技術検査								
				※161 施工上の留意事項等								
				※162 暴力団員等による不当介入の排除								

(新設) 衛生器具リスト

器具名	参考品番	付属品	合計	B1 コア2棟									B3 環境生態学科棟						B5 環境資源管理学科棟					
				1階			2階			3階			1階		2階		3階		1階		2階		3階	
				女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所	女子便所	身障者便所(女子便所)	男子便所
洋風便器	CFS498BMT (フラッシュタンク式)	便座 (TCF5534=貯湯式、擬音装置、便蓋あり、AC100V電源、消費電力311W)、センサースイッチ (HE37)、SUS製欄付2連紙巻器 (YH702)	15	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
洋風便器	CFS498BMT (フラッシュタンク式)	便座 (TCF5534Y=貯湯式、擬音装置、便蓋なし、AC100V電源、消費電力311W)、センサースイッチ (HE37)、SUS製欄付2連紙巻器 (YH702)	12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
便座消毒ディスベンサー		便座消毒ディスベンサー (サラヤ・SC-460C)	27	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
壁掛小便器 (3連)	XPU22B (マイクロ波センサー)	小便器 (XPU22B) × 3、ライニングパーツ (UAUN63RA1W=3連用)、小便器用手すり (T115CU3R#NM1)、ハイドロセラ・フロア (AB690BR#HB4) × 3	3																					
壁掛小便器 (4連)	XPU22B (マイクロ波センサー)	小便器 (XPU22B) × 4、ライニングパーツ (UAUN64RA1W=4連用)、小便器用手すり (T115CU3R#NM1)、ハイドロセラ・フロア (AB690BR#HB4) × 3	3			1																		
ポウル一体型洗面器 (2連)	LS351CM、スタンダード、ポウル2連、陶器タイプ	L=1550、陶器タイプ 自動水栓 (REAH03B1RS26SK=電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW) × 2、水せっけん入れ (TS126AR)、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	3	1			1				1													
ポウル一体型洗面器 (2連)	LS351CM、スタンダード、ポウル2連、陶器タイプ	L=1630、陶器タイプ 自動水栓 (REAH03B1RS26SK=電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW) × 2、水せっけん入れ (TS126AR)、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	3			1																		
ポウル一体型洗面器 (2連)	L830CMRU、スタンダード、ポウル2連、樹脂タイプ	L=1500、樹脂タイプ 自動水栓 (REAH03B1RS26SK=電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW) × 2、水せっけん入れ (TS126AR)、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	6																					
掃除用流し	SK22A	横水栓 (T23AE020C)、リムカバー (TK22)、バックハンガー共、止水栓共、床排水金具共	6			1																		
モップ掛けパネル	UTR422S		6			1																		
化粧鏡	EL80017	洗面器用450×1000、取付金具共	24	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2
化粧鏡	YMK50K	全身用300×16×1500、取付金具共	12	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1
フック	YKH22		12		1	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1
手すり (L型)	T112CL9	L型、取付金具共	12		1			1		1		1		1		1		1		1		1		1
手すり (I型)	T112C4	I型、取付金具共	12		1			1		1		1		1		1		1		1		1		1
手すり (はね上げ型)	T112HK6R	はね上げ型、取付金具共	3		1			1		1		1		1		1		1		1		1		1
フィッティングボード	YKA41R		12		1			1		1		1		1		1		1		1		1		1

注記事項

- 品番は便宜上、TOTO (株) とする
- リストに記載なき必要な付属品は標準品を設置すること
- ライニング、カウンター等の詳細図寸法について、建築施工図を確認したうえで発注すること
- 色の選択が可能な器具類について、発注者と協議のうえ決定すること
- 器具取付部分の補強は建築工事とするが、補強の必要箇所及び採用メーカーの取付要領を建築工事施工業者へ提示し、調整を行うこと
- 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給 (器具の位置) 等の調整を行うこと

撤去

B1 1階

名称	仕様	撤去・処分数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡	丸形	2

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B1 1階

名称	仕様	撤去・処分数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする

B1 1階

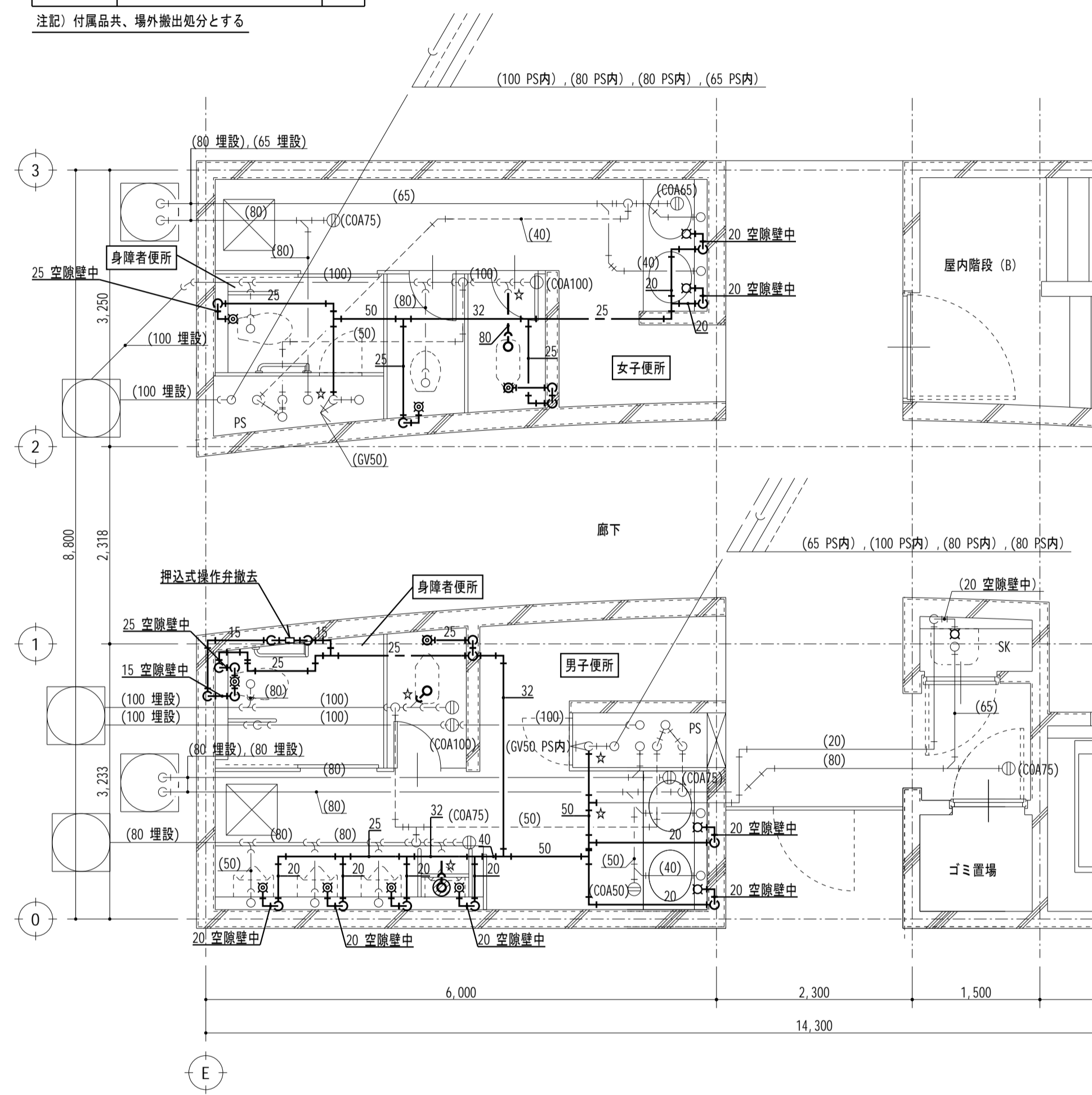
名称	仕様	撤去・処分数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	床置型	1
小便器	壁掛型	3
掃除用流し	水栓共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡	丸形	2
手すり	小便器用	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B1 1階

名称	仕様	撤去・処分数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする



B1 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

線種記号

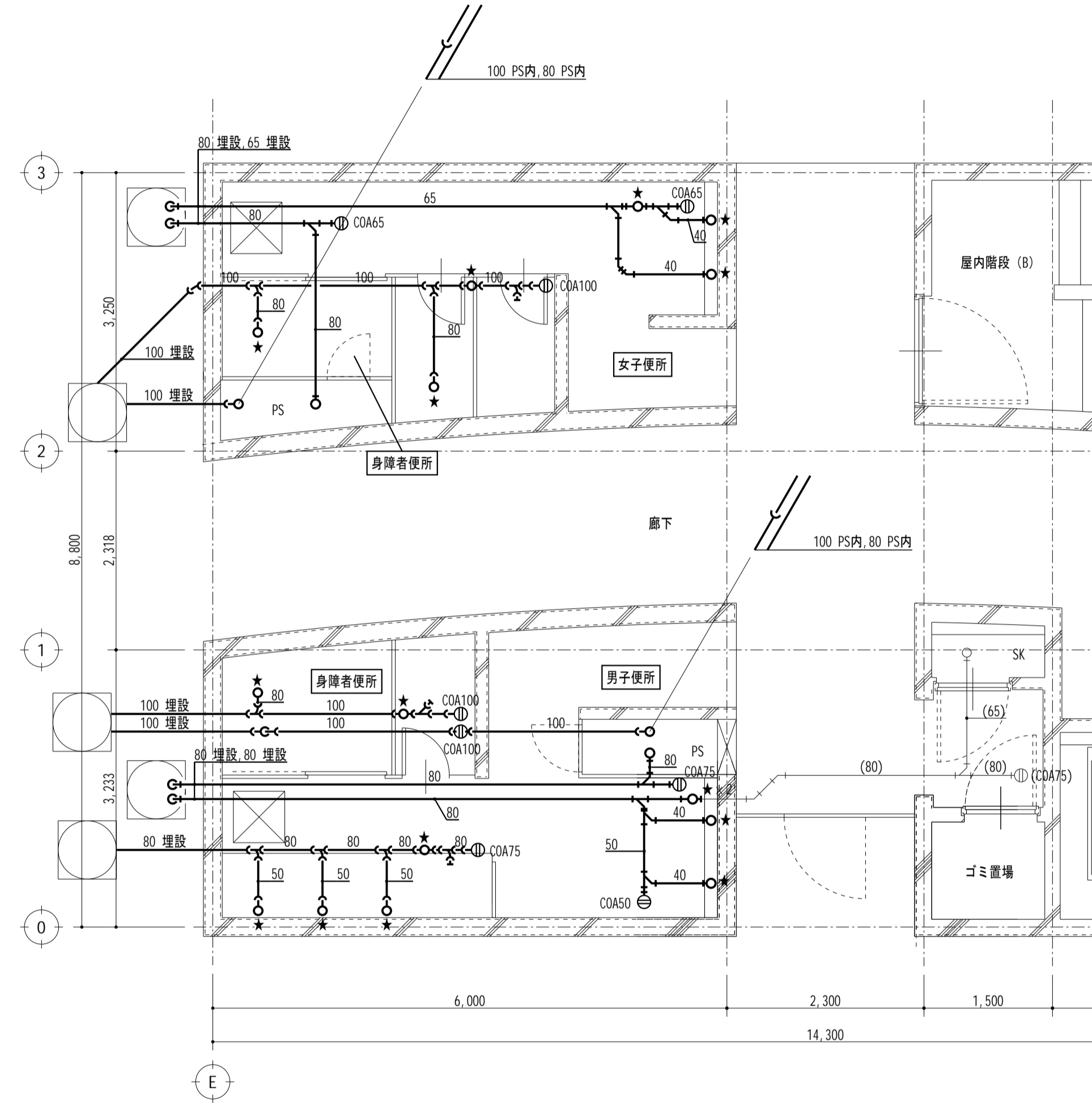
記号	名称	備考
---	給水管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
☒	洗浄弁	
⊕	水栓	
⓪	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ☒ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150d x 50φ、排水管は150d x 125φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生



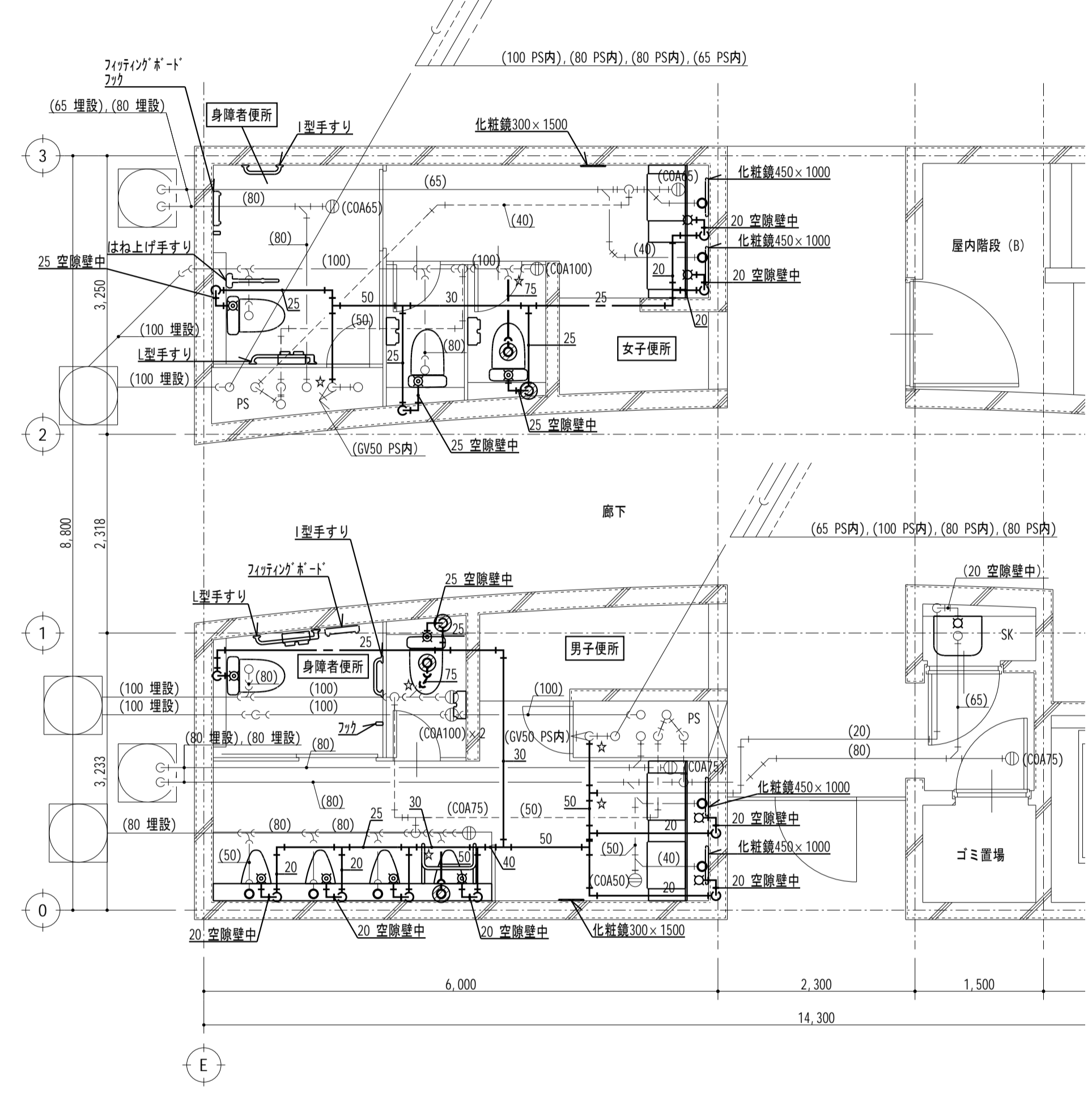
B1 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

線種記号

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B1 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号

記号	名称	備考
---	給水管	既: SGP-PA 新: HVVP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
☒	洗浄弁	
⊕	水栓	
⓪	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ☒ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150d x 50φ、排水管は150d x 125φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

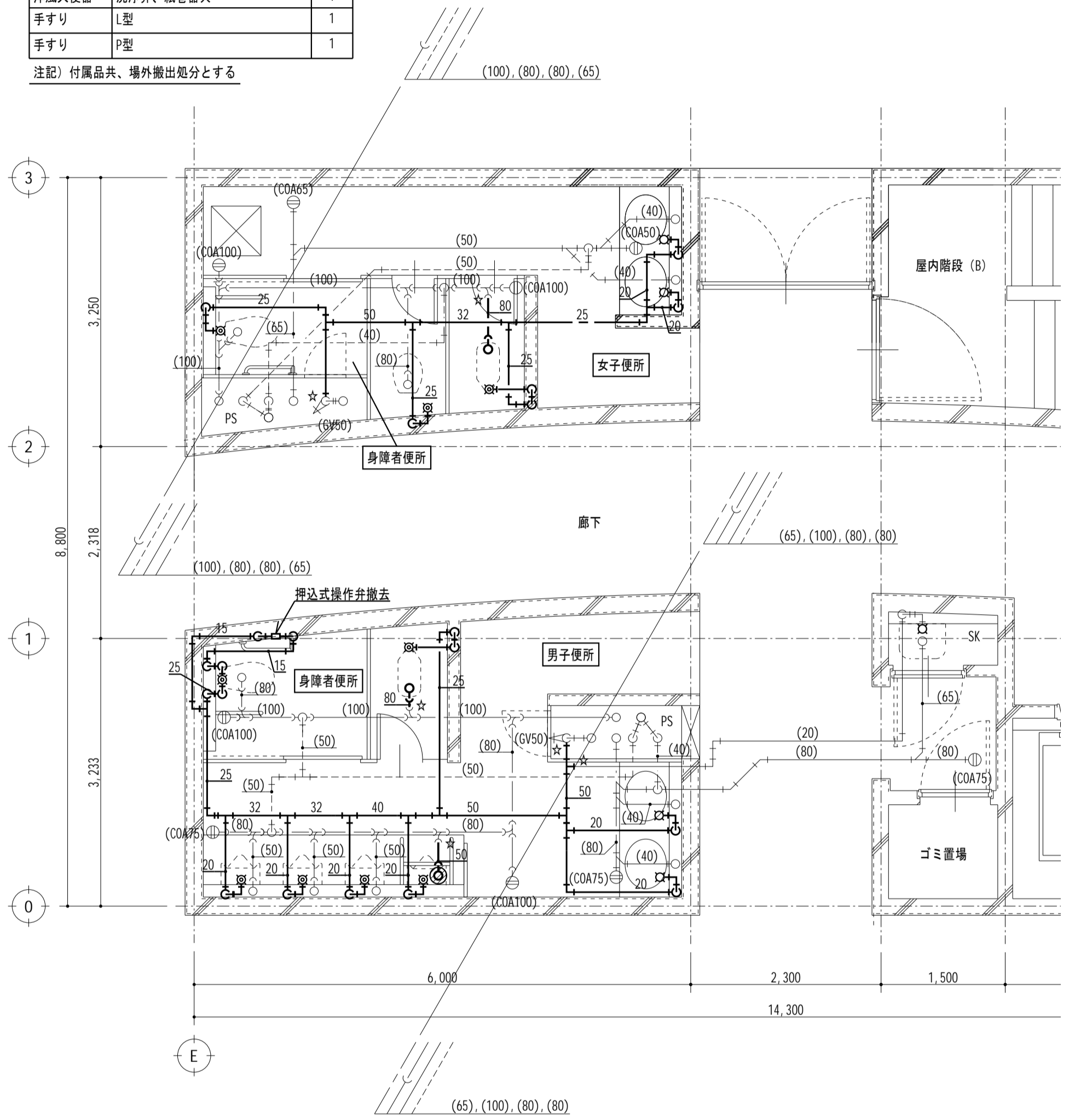
撤去

B1 2階 女子便所			B1 2階 身障者便所 (女子便所)			B1 2階 男子便所		
名称	仕様	数量	名称	仕様	数量	名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	手すり	L型	1	小便器	床置型	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2種共	1	手すり	P型	1	小便器	壁掛型	3
化粧鏡	丸形	2				掃除用流し	水栓共	1
						洗面器	2連壁掛型、水栓2種共	1
						化粧鏡	丸形	2
						手すり	小便器用	1

注記) 付属品共、増外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B1 2階 身障者便所 (男子便所)		
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、増外搬出処分とする



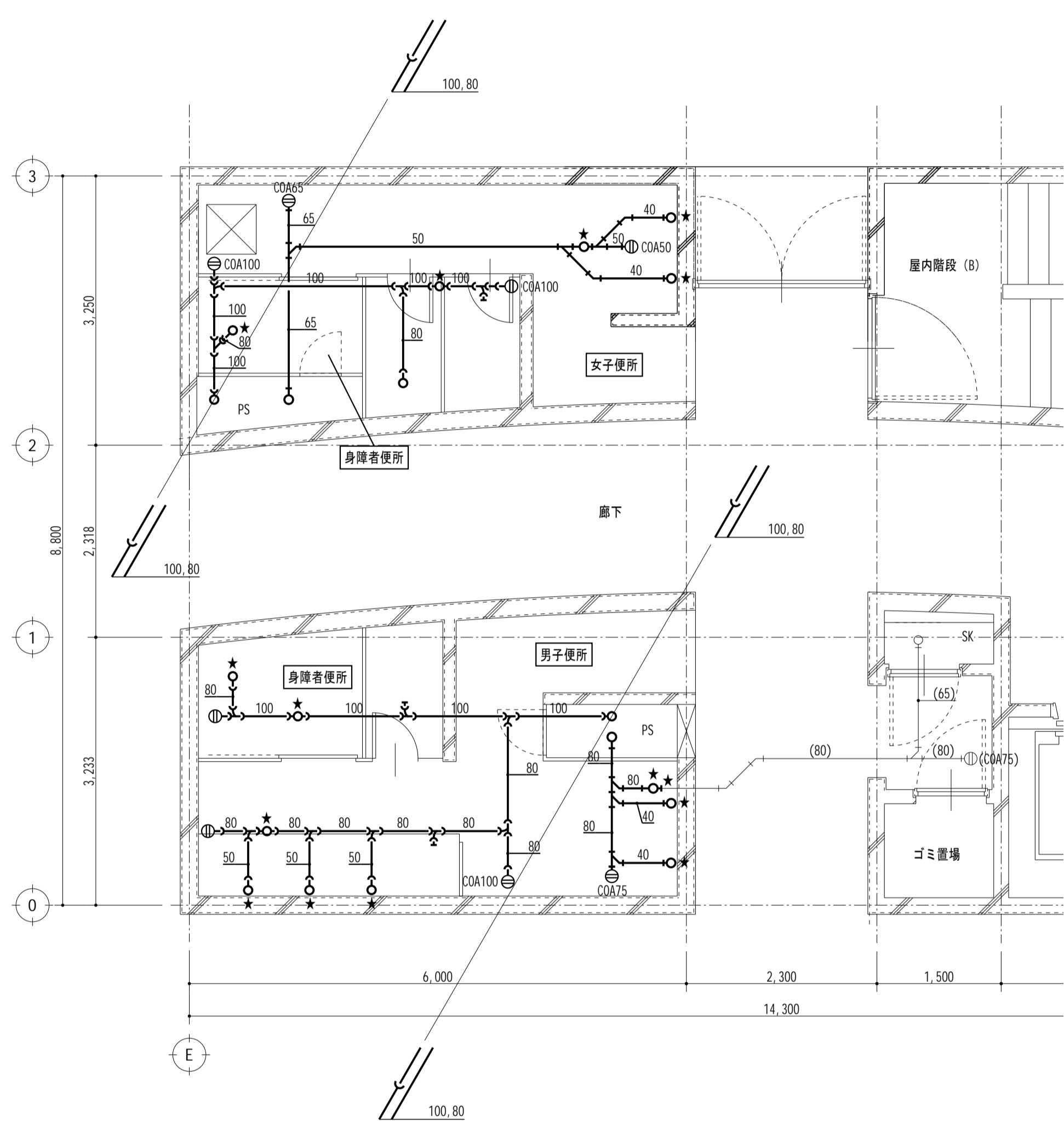
B1 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150d x 50φ、排水管は150d x 125φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

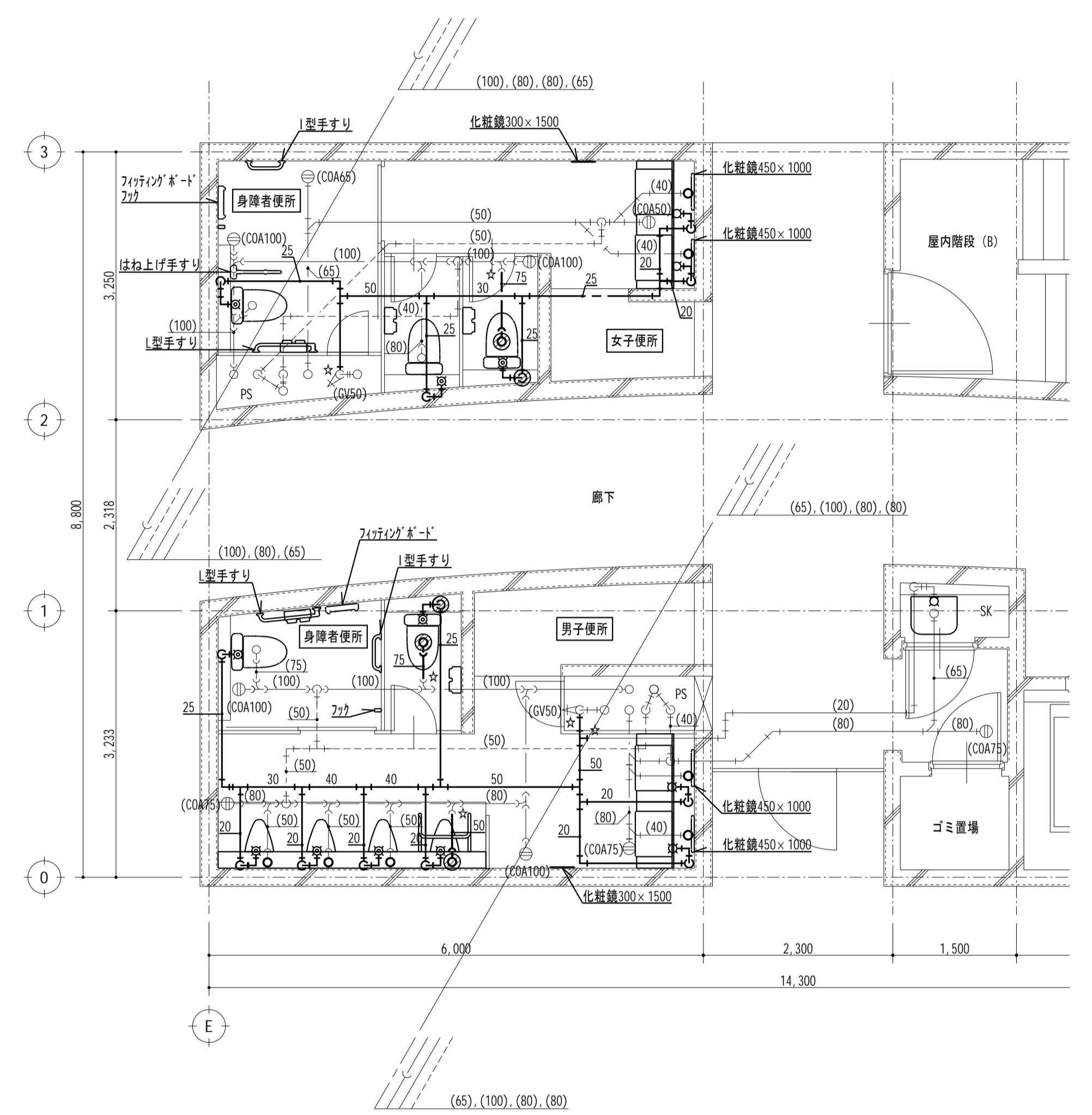


B1 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B1 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: HVP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋ははつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150d x 50φ、排水管は150d x 125φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

B1 3階

女子便所		撤去・処分
名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡	丸形	2

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B1 3階

身障者便所 (女子便所)		撤去・処分
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする

B1 3階

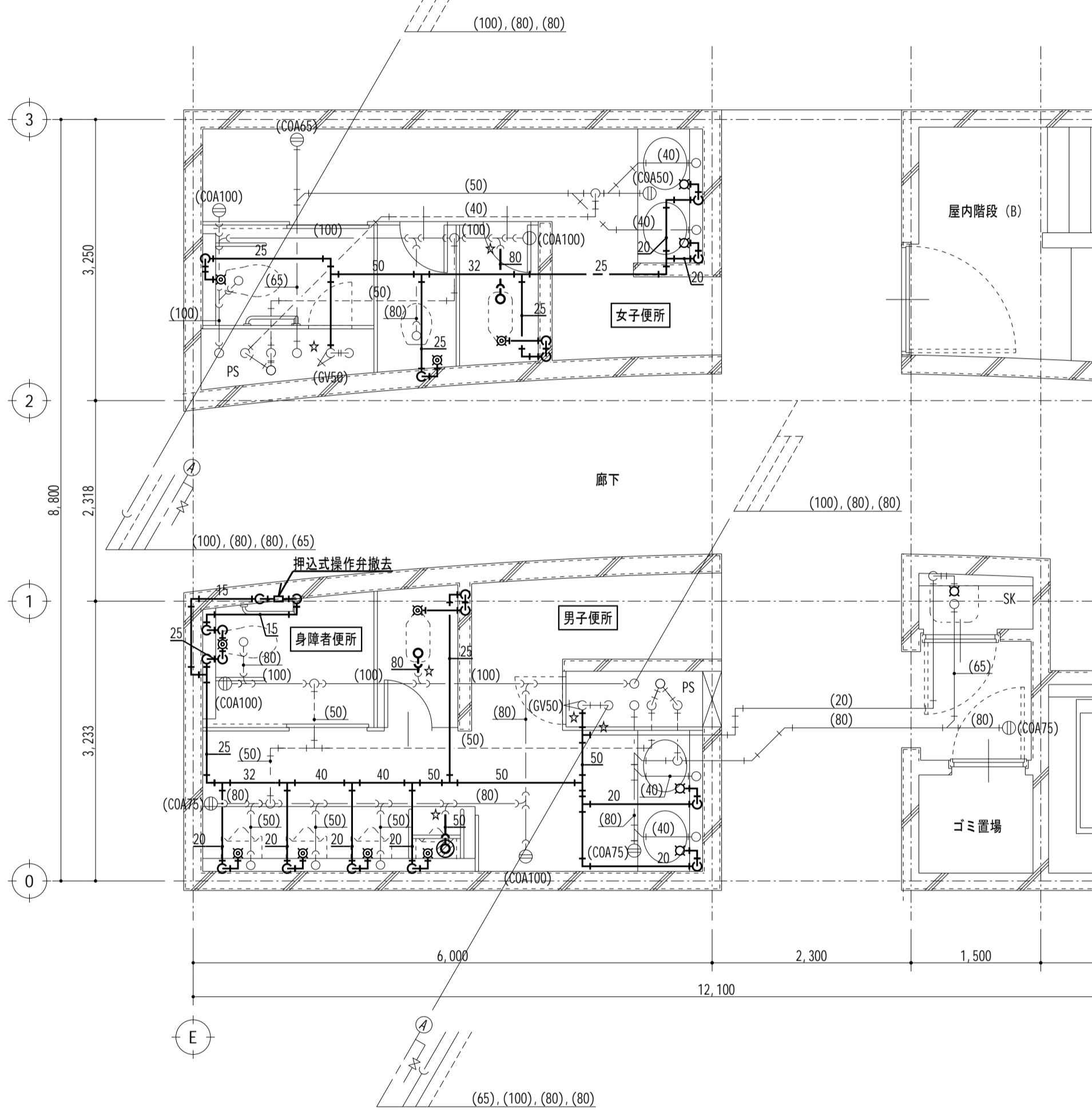
男子便所		撤去・処分
名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	床置型	1
小便器	壁掛型	3
掃除用流し	水栓共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡	丸形	2
手すり	小便器用	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B1 3階

身障者便所 (男子便所)		撤去・処分
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする



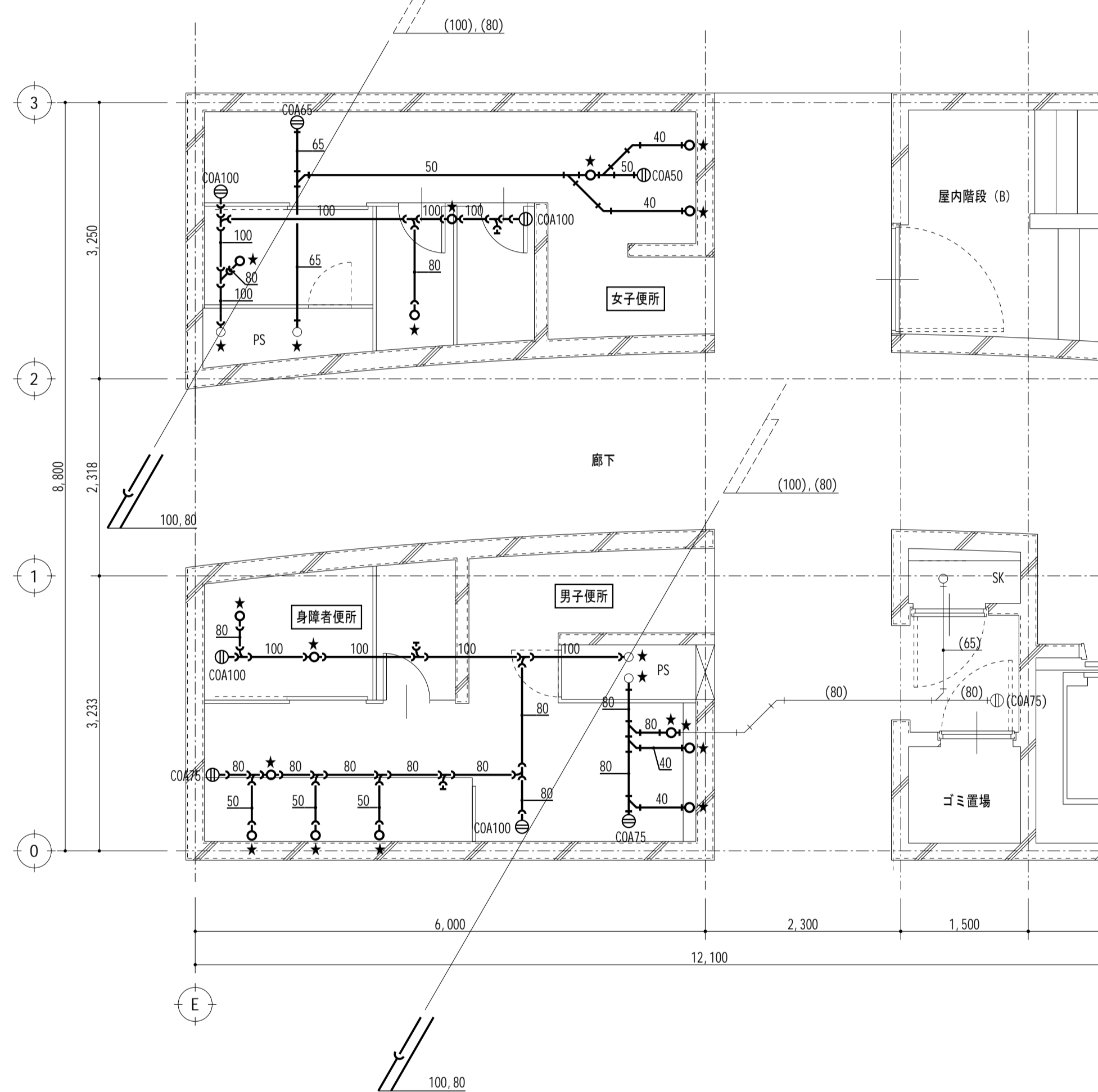
B4 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

線種記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例	記号	名称	備考
⊗	洗浄弁		
⊠	水栓		
⊕	掃除口		

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150d×50φ、排水管は150d×125φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

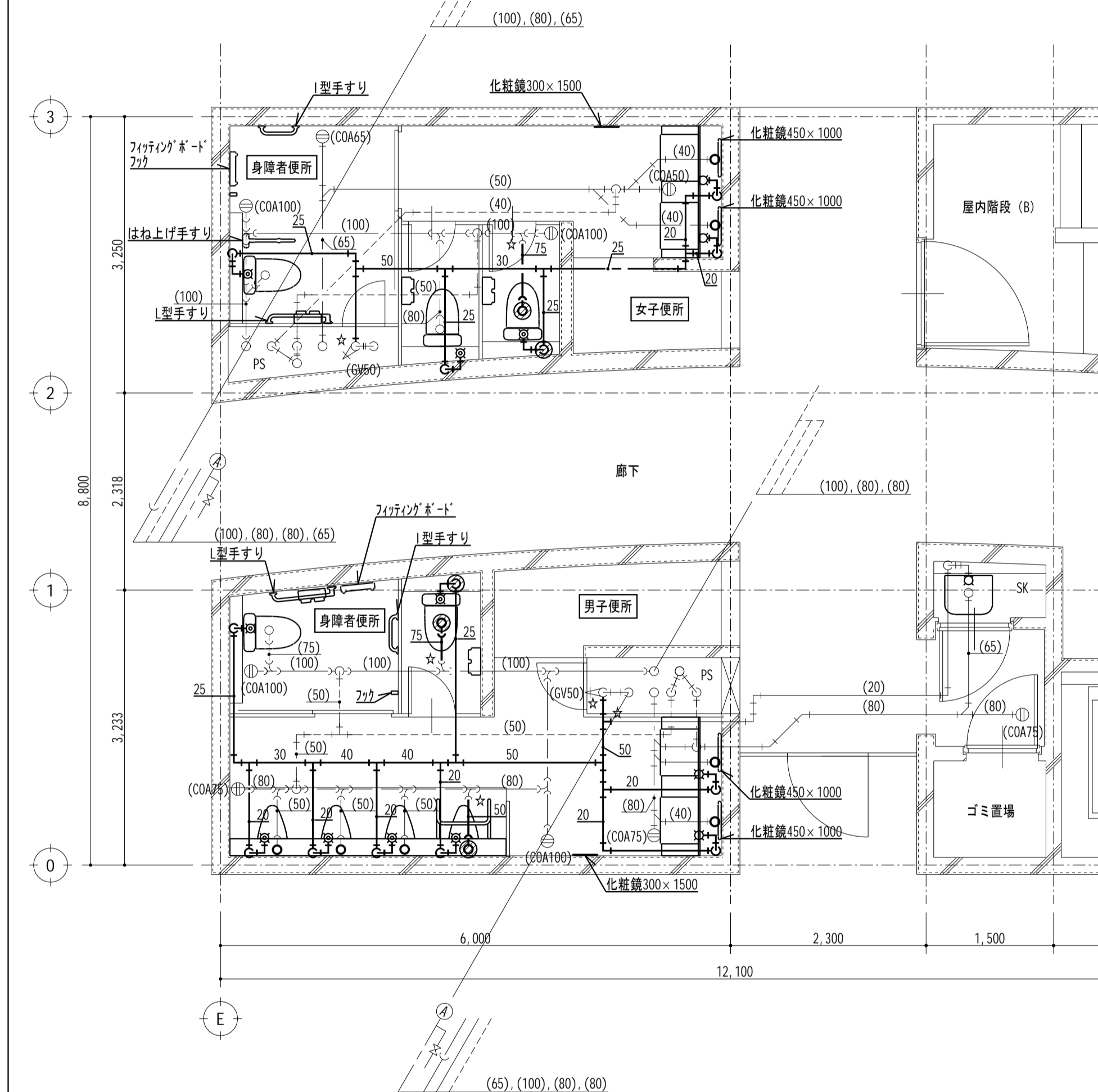


B4 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

線種記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はラインング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B4 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: HVP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例	記号	名称	備考
⊗	洗浄弁		
⊠	水栓		
⊕	掃除口		

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150d×50φ、排水管は150d×125φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

改修後

(撤去) 換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-501,503,505	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：250φ × 850m ³ /h × 100Pa	1-100	0.100	LS	3	B1 コア2 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1 3階 男子便所 ×1	形状：640×430×310H 重量：16.5kg
FE-B-502,504,506	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：250φ × 800m ³ /h × 100Pa	1-100	0.100	LS	3	B1 コア2 1階 女子便所 ×1 2階 女子便所 ×1 3階 女子便所 ×1	形状：640×430×310H 重量：16.5kg

注) 撤去送風機共通事項
1. 付属品共、場外搬出処分とする

(新設) 換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-501,503,505	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：250φ × 780m ³ /h × 70Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.125	LS	3	B1 コア2 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1 3階 男子便所 ×1	品番：(参考) BFS-80SUG2
FE-B-502,504,506	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：250φ × 660m ³ /h × 70Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.159	LS	3	B1 コア2 1階 女子便所 ×1 2階 女子便所 ×1 3階 女子便所 ×1	品番：(参考) BFS-65SUG2

注) 送風機共通事項
1. 電気容量は参考値とし、記載以下とする
2. ファンへの接続は、たわみ継手とする
3. 機器表中記載の〇Paは機外静圧を示し、参考値とする
4. その他はメーカー基準とする
5. 排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする(配線、機器接続を含む)

身障者便所(女子便所)(撤去)	1
HS 250×250 [EA 400 m ³ /h] 400×400×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする	

女子便所(撤去)	1
HS 250×250 [EA 400 m ³ /h] 400×400×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする	

身障者便所(男子便所)(撤去)	1
HS 200×200 [EA 290 m ³ /h] 350×350×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする	

男子便所(撤去)	2
HS 200×200 [EA 280 m ³ /h] 350×350×300H (保温なし)	2
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする	

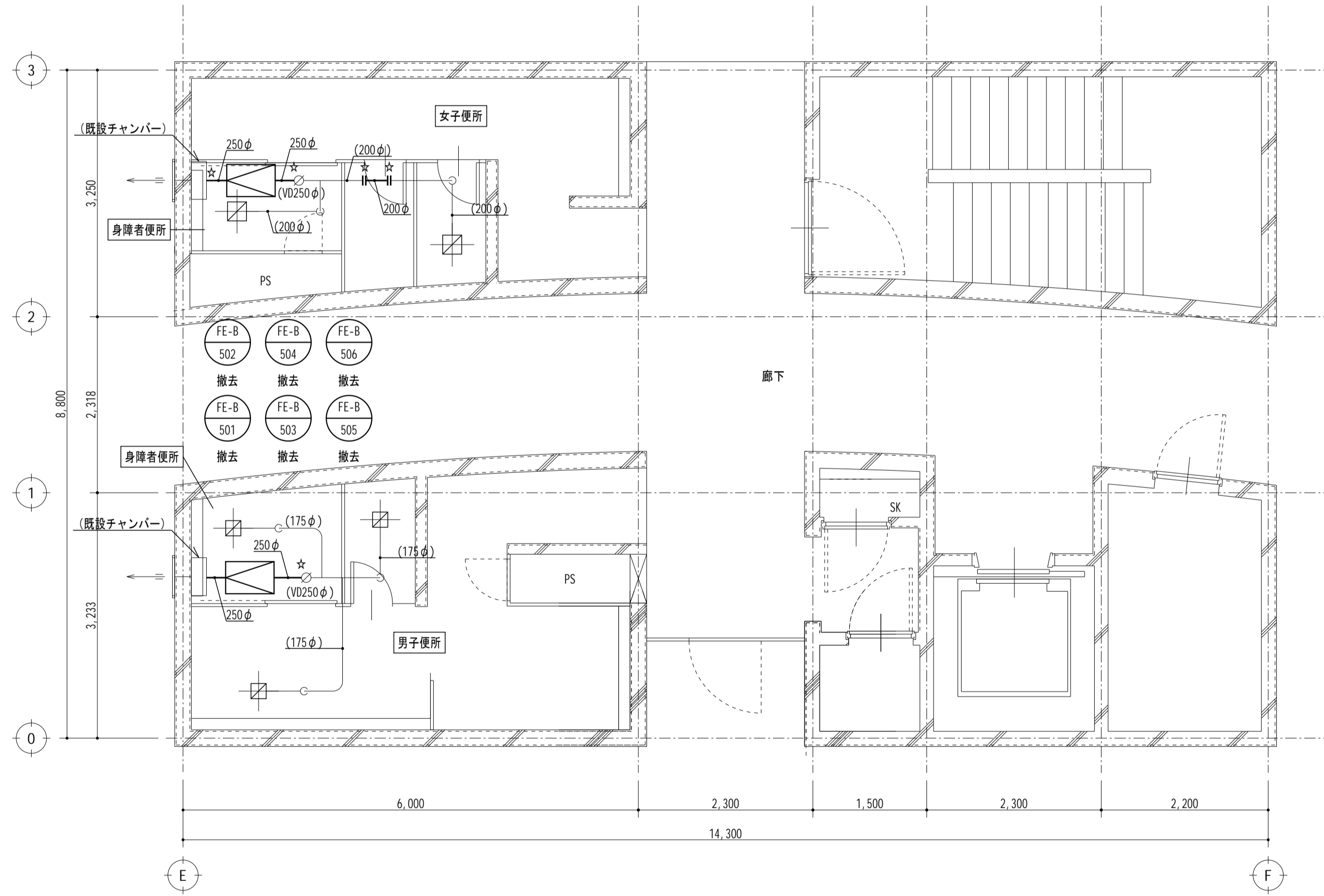
身障者便所(女子便所)(新設)	1
HS 250×250 [EA 220 m ³ /h] 400×400×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する	

女子便所(新設)	1
HS 250×250 [EA 220 m ³ /h] 400×400×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する	

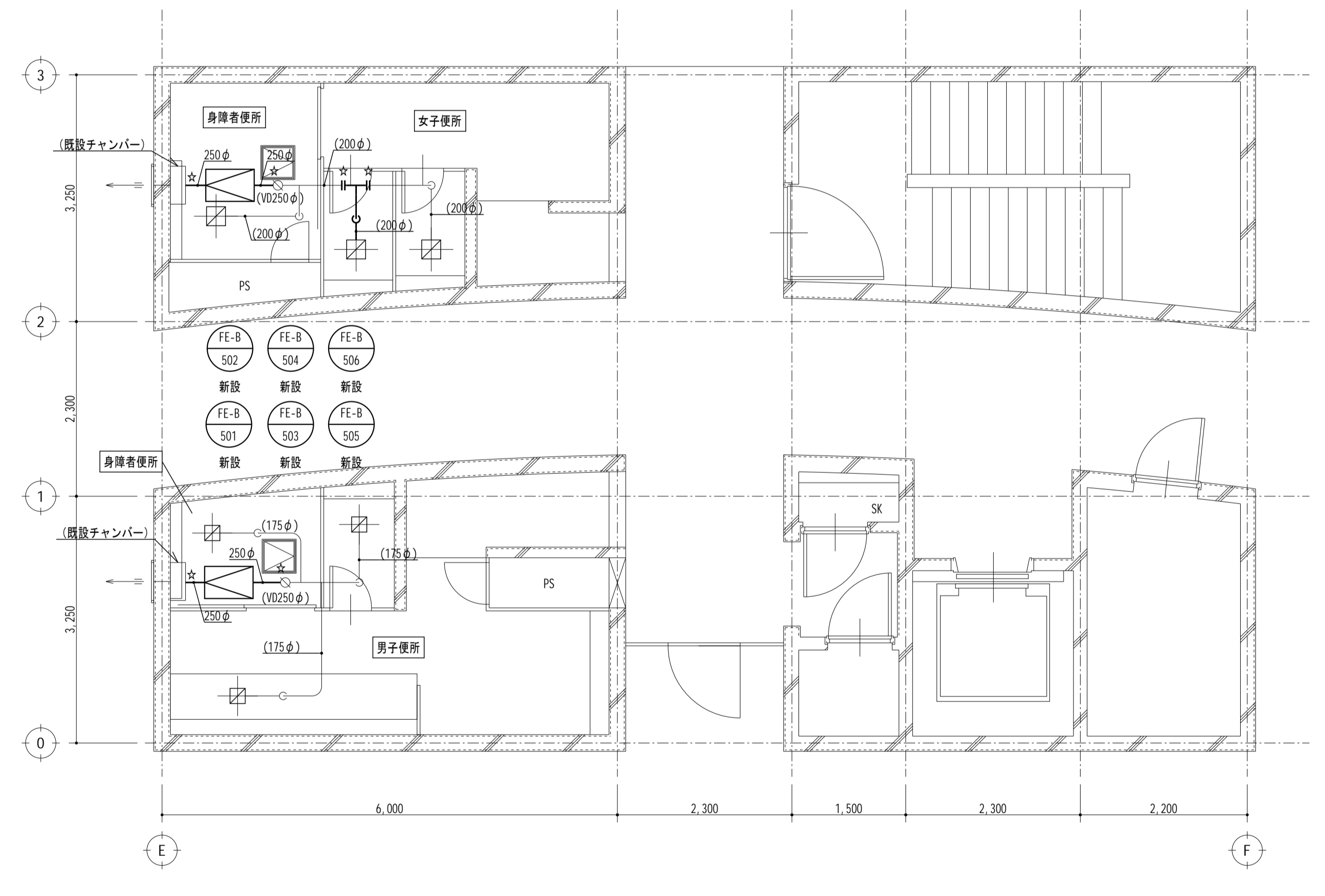
女子便所(奥側個室)(新設)	1
HS 250×250 [EA 220 m ³ /h] 400×400×300H (保温なし)	1
注記) 制気口・ボックス・ネックの新設を行う	

身障者便所(男子便所)(新設)	1
HS 200×200 [EA 260 m ³ /h] 350×350×300H (保温なし)	1
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する	

男子便所(新設)	2
HS 200×200 [EA 260 m ³ /h] 350×350×300H (保温なし)	2
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する	



B1 換気設備 1~3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50



B1 換気設備 1~3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
—	制気口	
→	排気ガラリ	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は切断箇所を示す

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

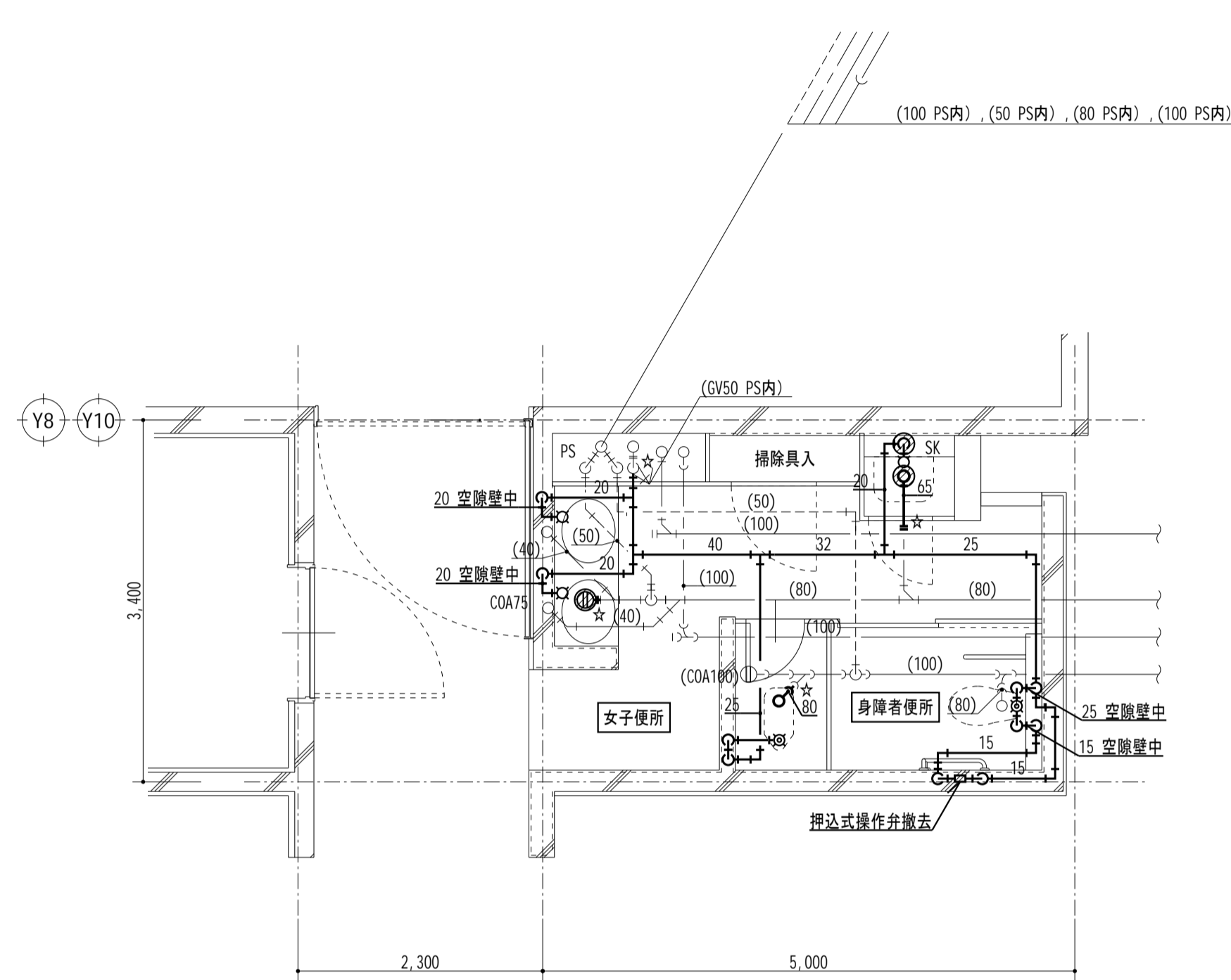
記号	名称	備考
—	制気口	
→	排気ガラリ	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は接続箇所を示す

撤去

B3 1階 女子便所			B3 1階 身障者便所 (女子便所)		
名称	仕様	撤去・処分数量	名称	仕様	撤去・処分数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
掃除用流し	水栓共	1	手すり	L型	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1	手すり	P型	1
化粧鏡	丸形	2			

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする



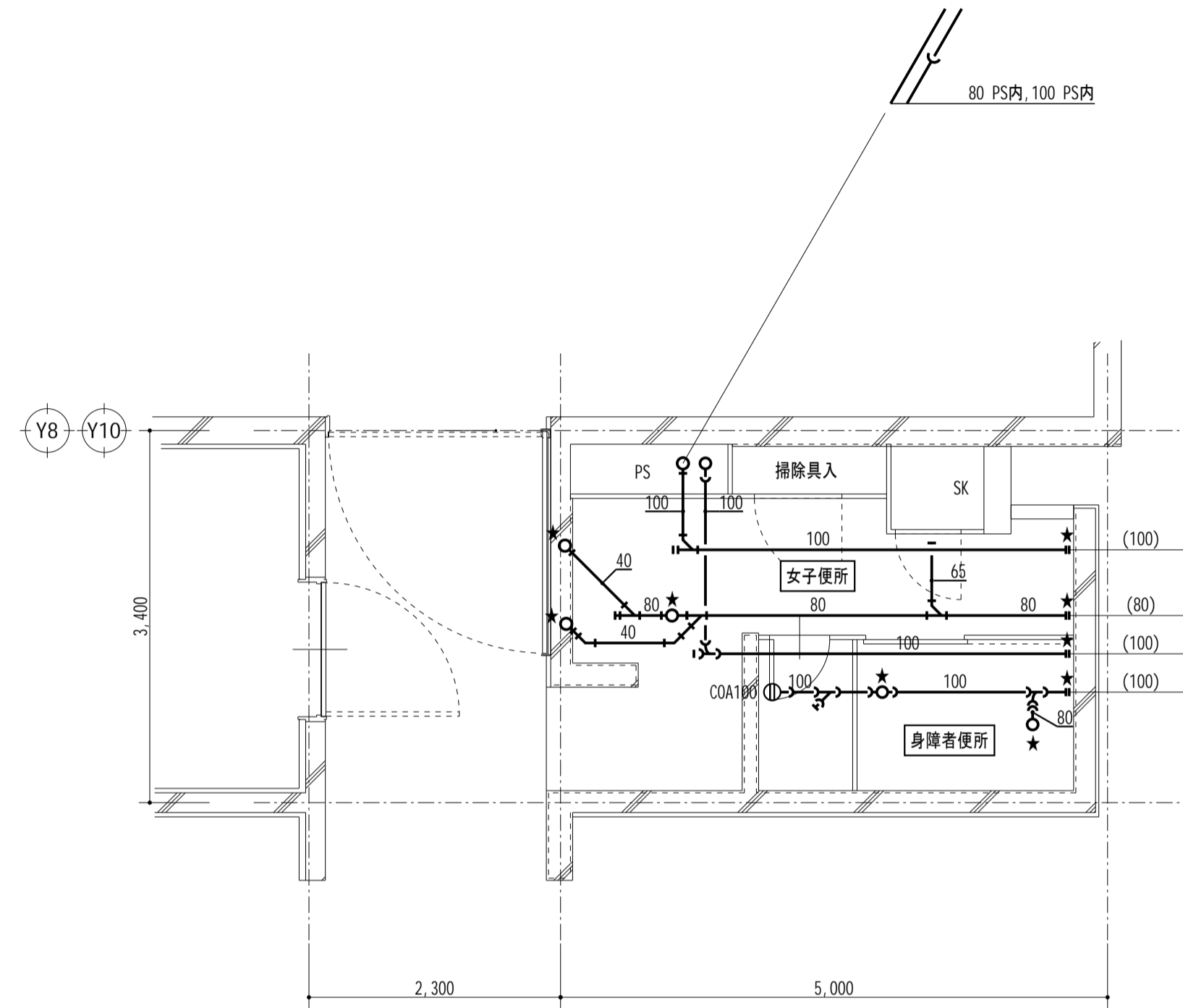
B3 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水管	SCP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

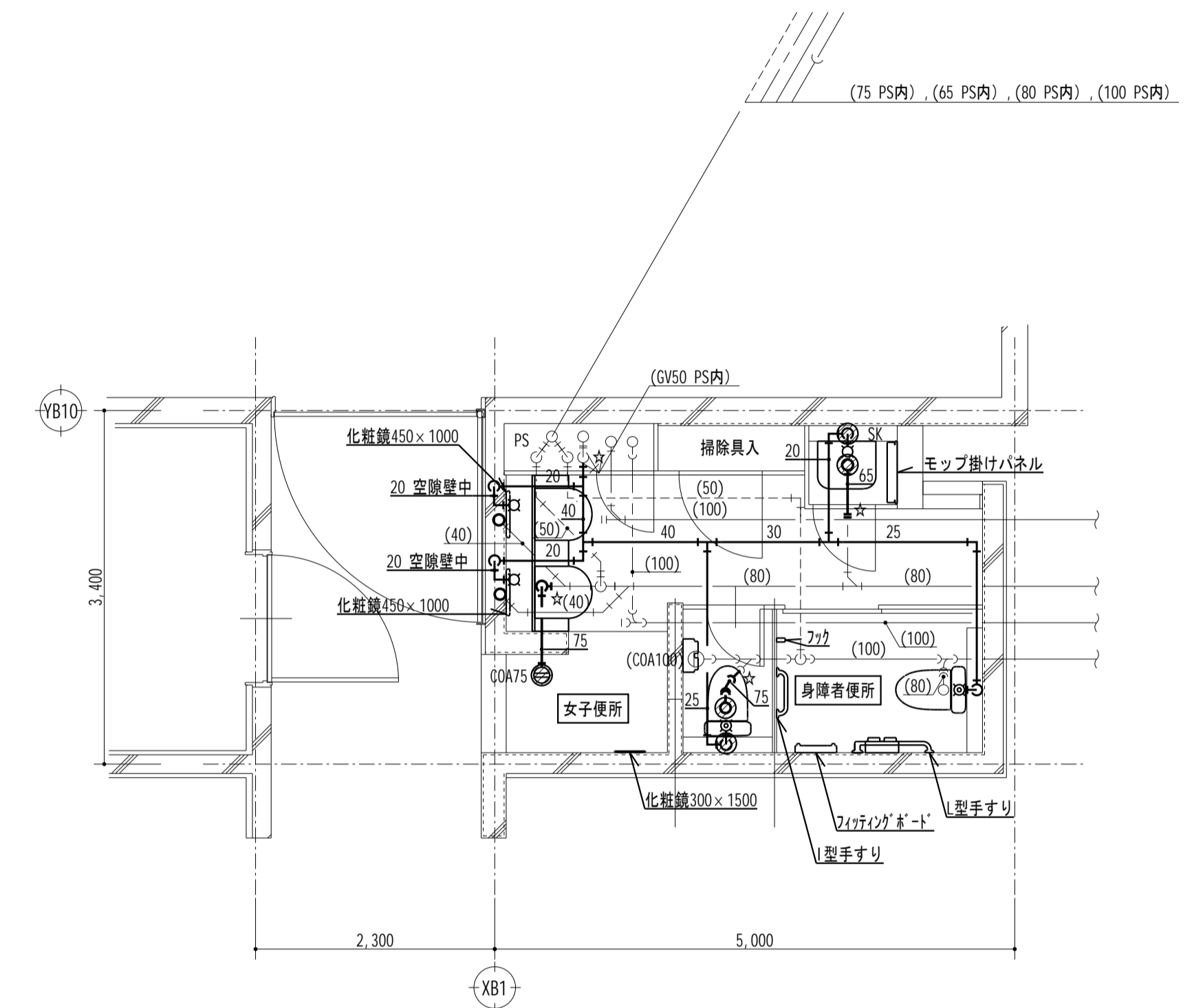


B3 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はラインング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B3 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水管	既: SCP-PA 新: H1VP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋ははつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

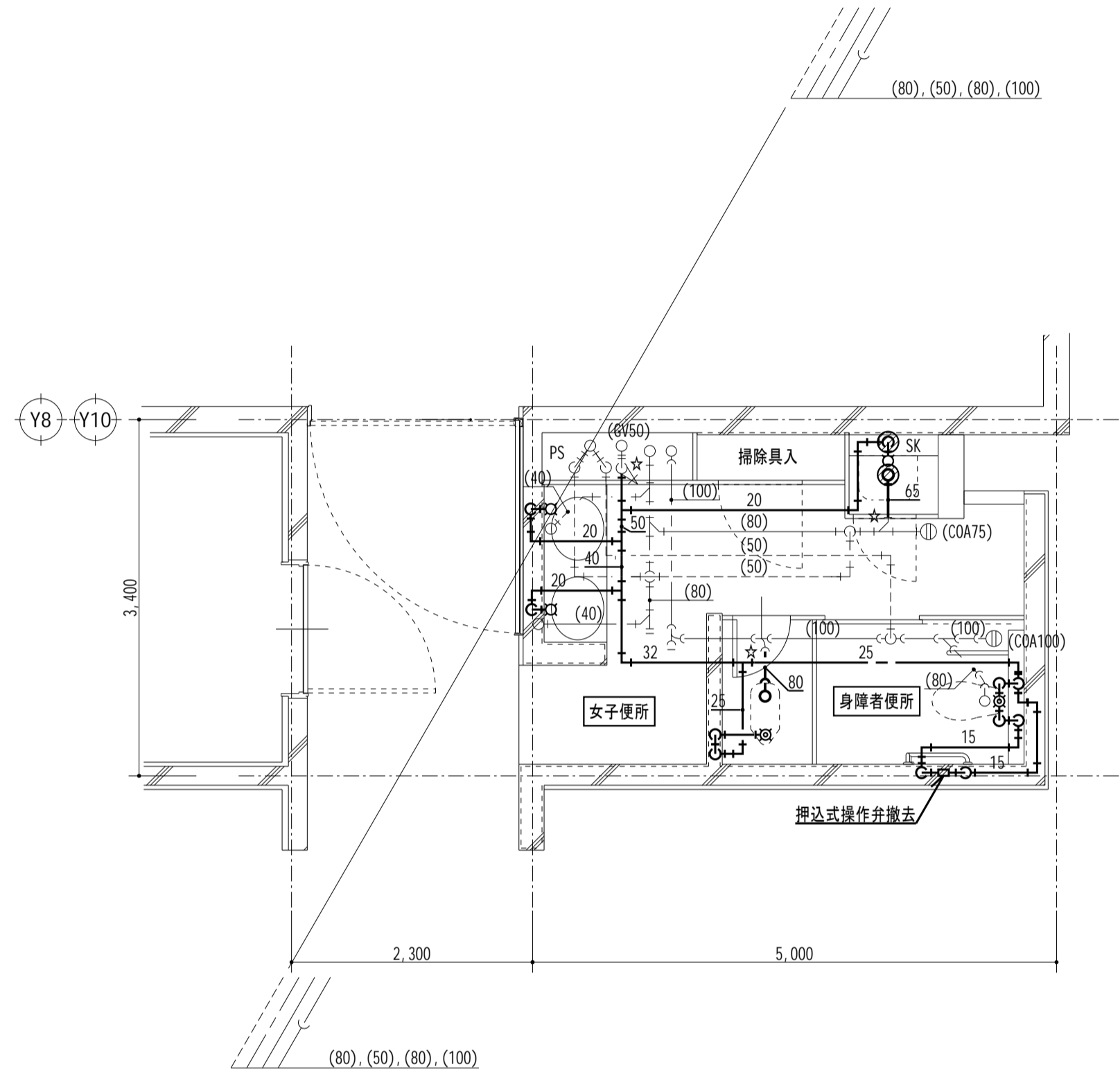
撤去

B3 2階		
名称	仕様	撤去・処分
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
掃除用流し	水栓共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡		2

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

B3 2階		
名称	仕様	撤去・処分
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする



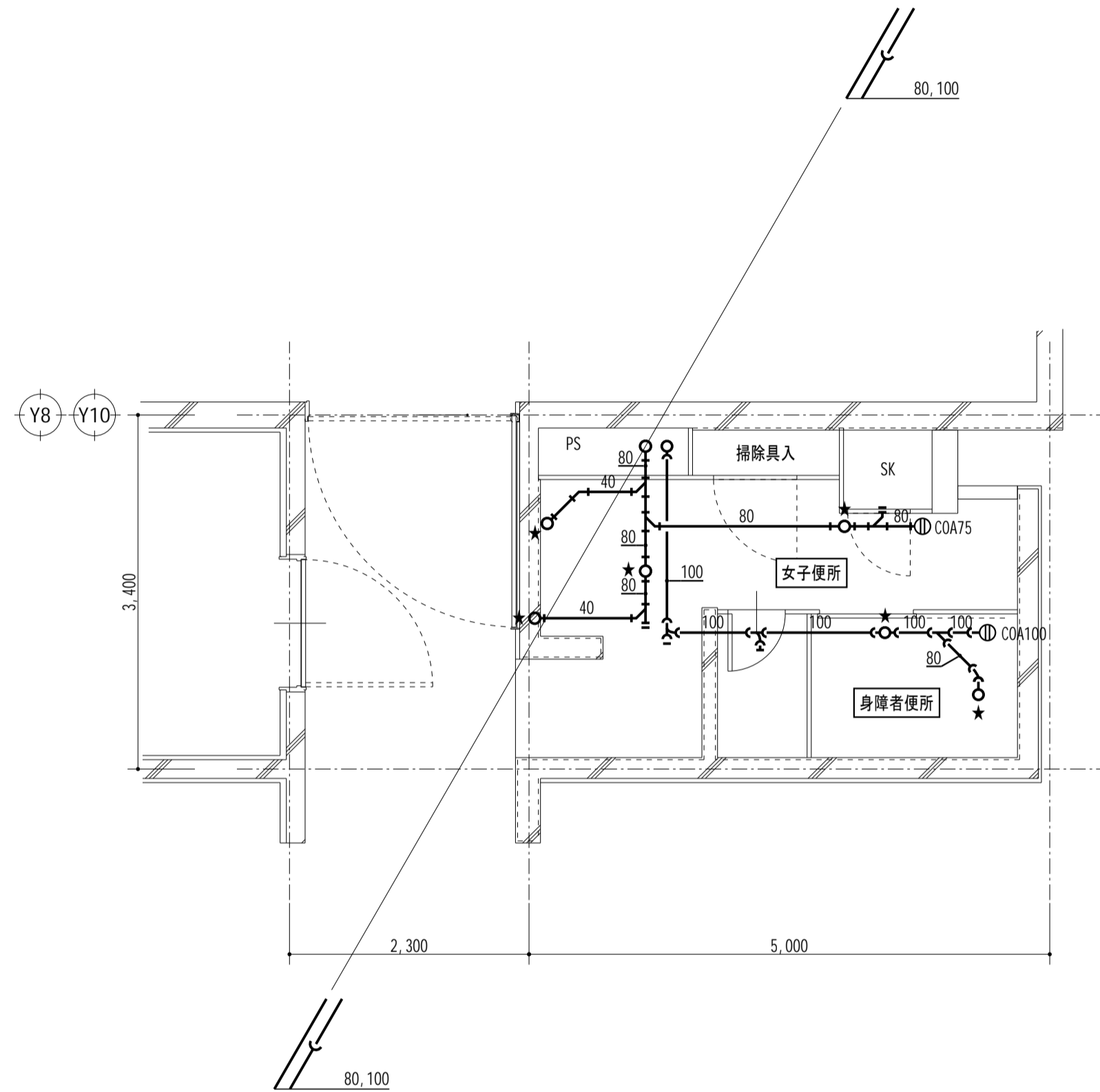
B3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150d×50φ、排水管は150d×125φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

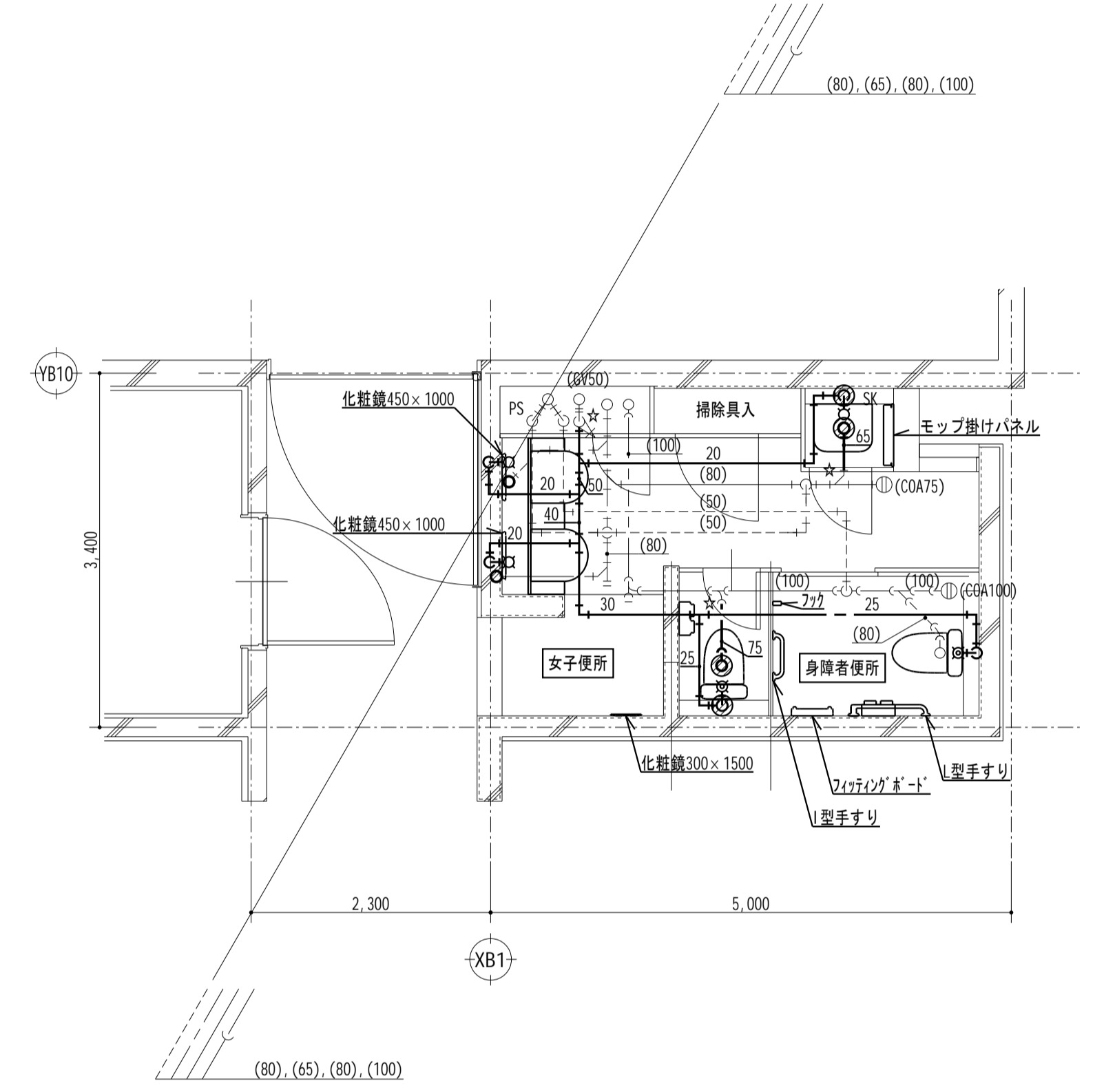


B3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はラインング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

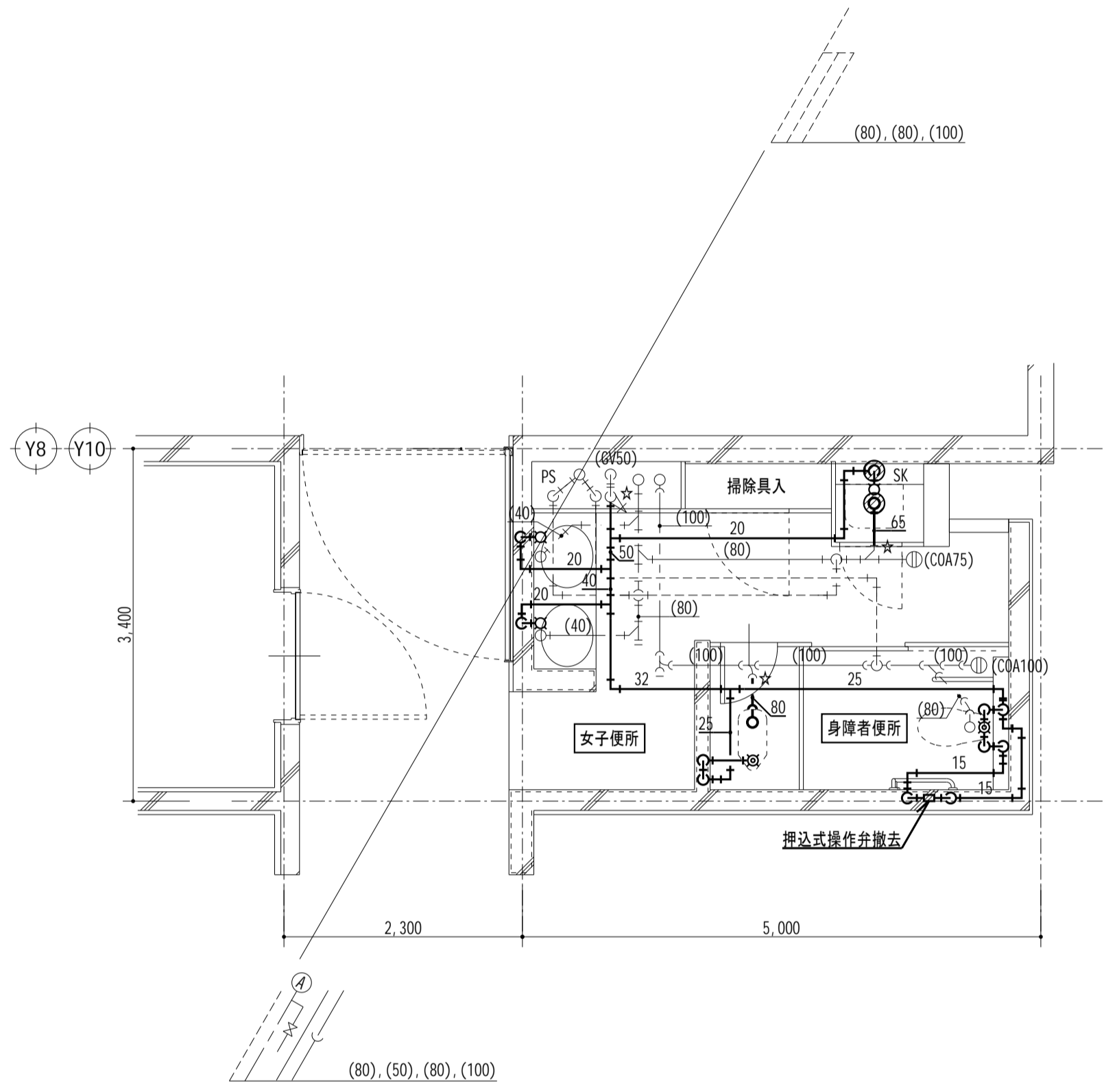
記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋ははつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150d×50φ、排水管は150d×125φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

B3 3階 女子便所			B3 3階 身障者便所 (女子便所)		
名称	仕様	撤去・処分数量	名称	仕様	撤去・処分数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
掃除用流し	水栓共	1	手すり	L型	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1	手すり	P型	1
化粧鏡		2			

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする



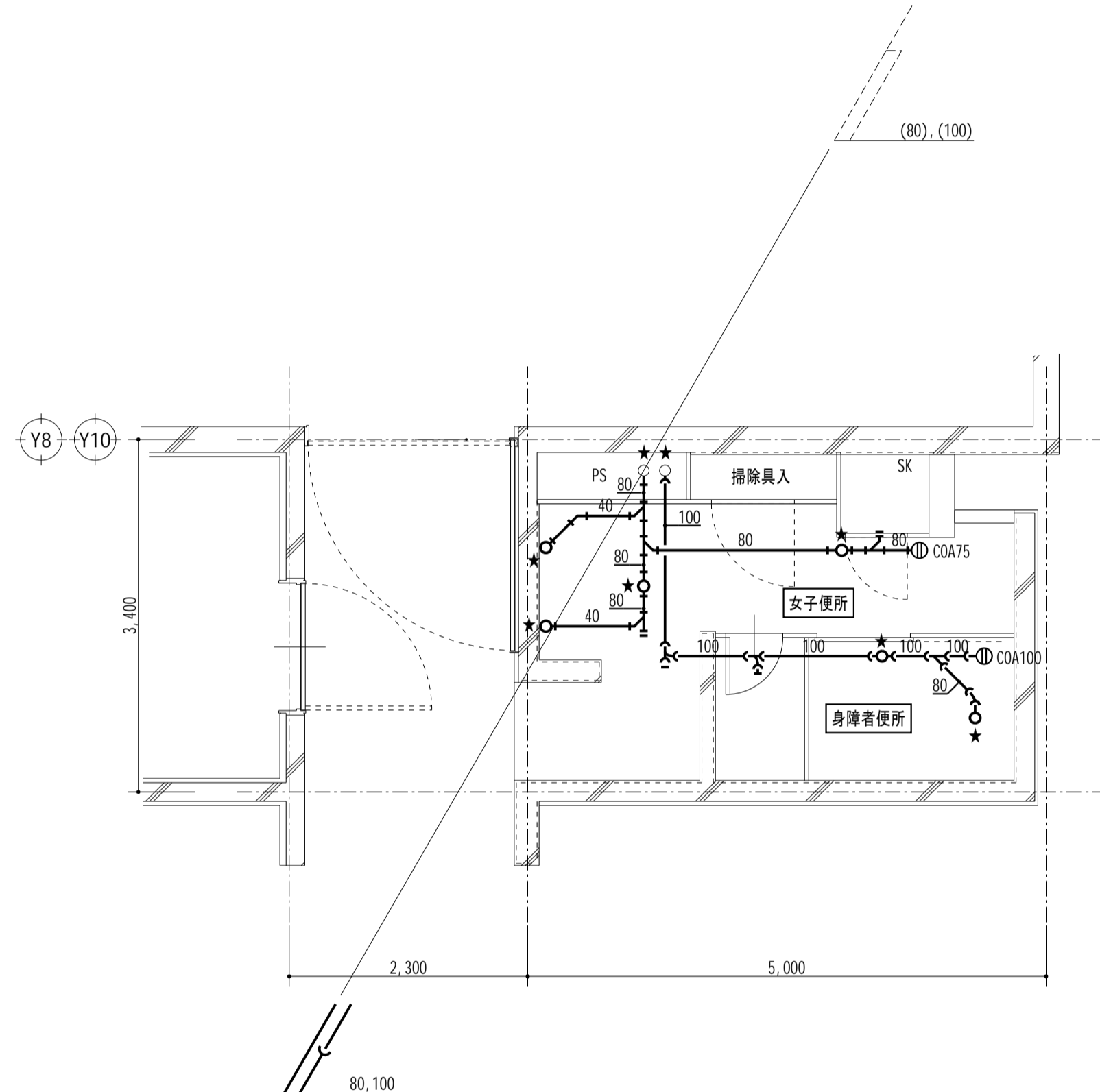
B3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

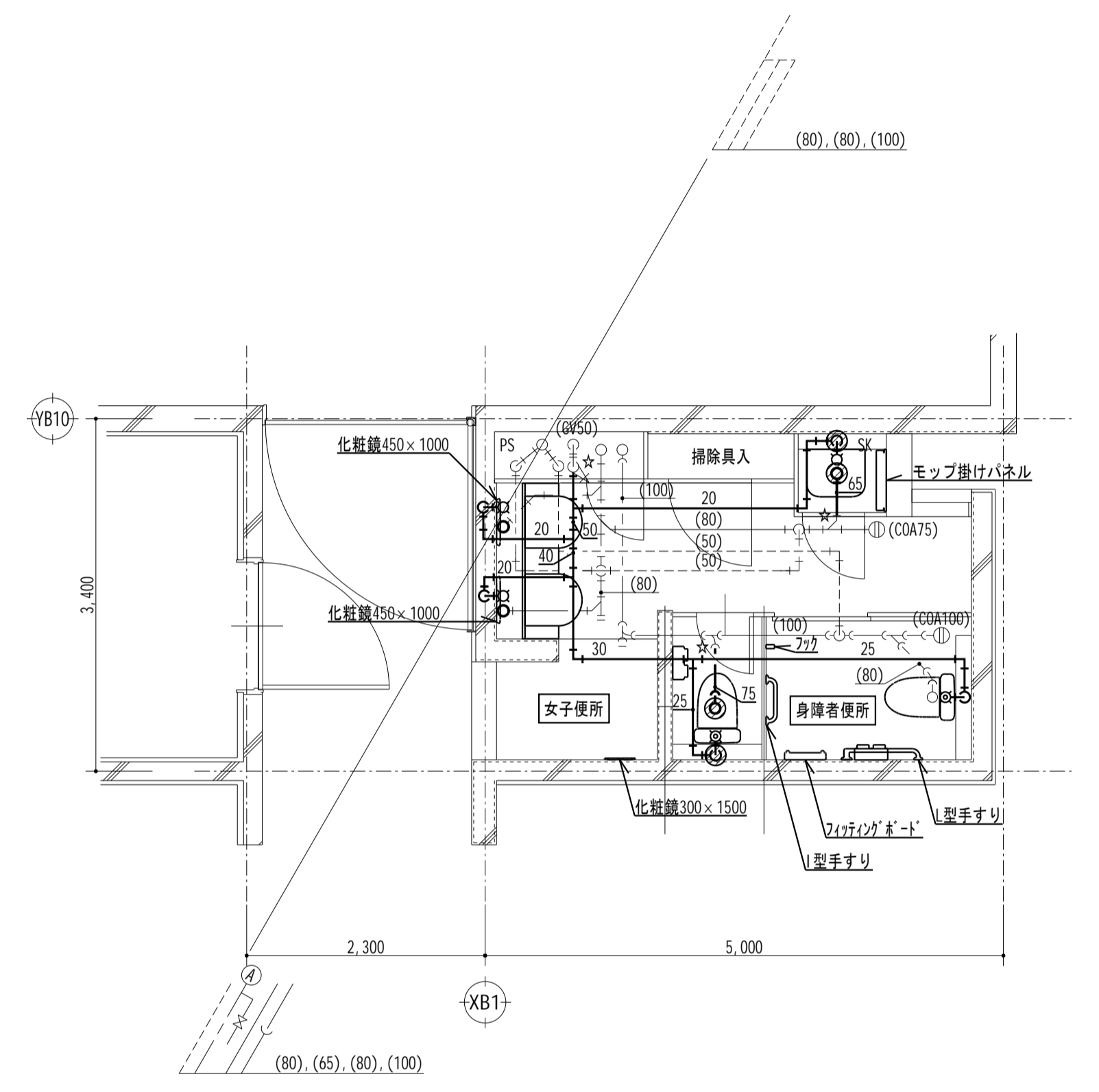


B3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はラインング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: HV-VP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

改修後

(撤去) 換気機器リスト

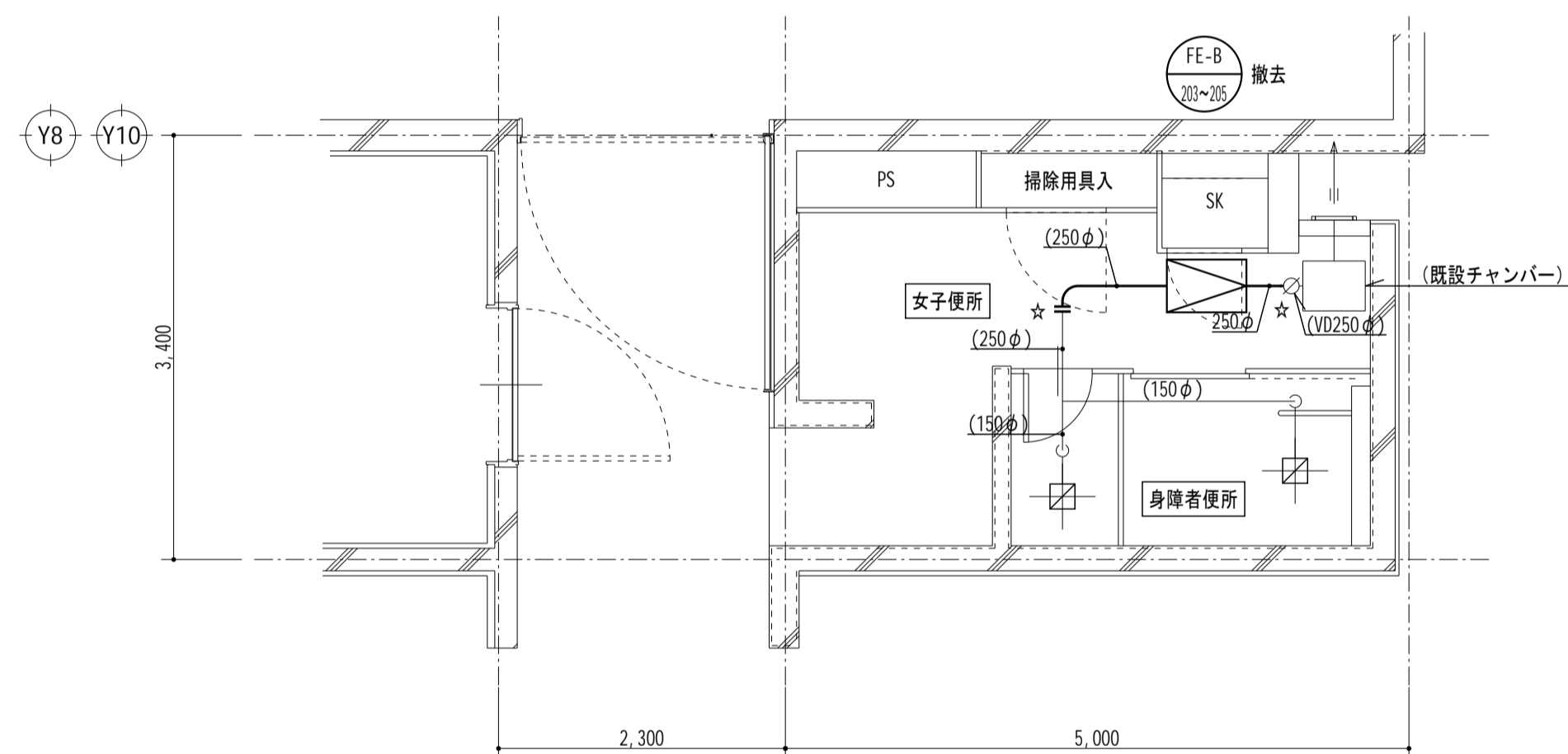
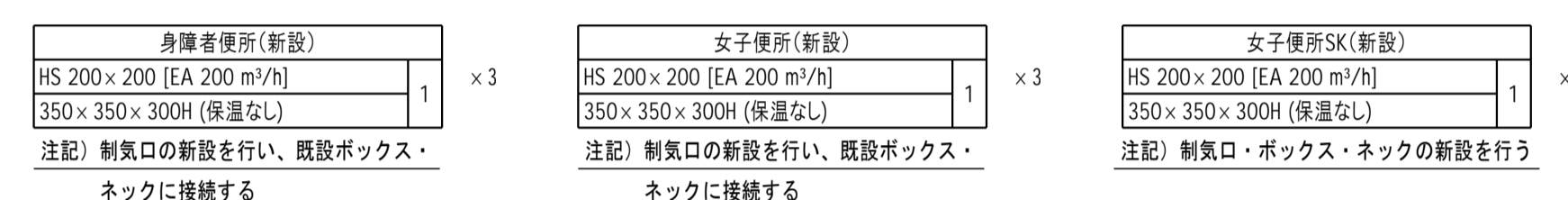
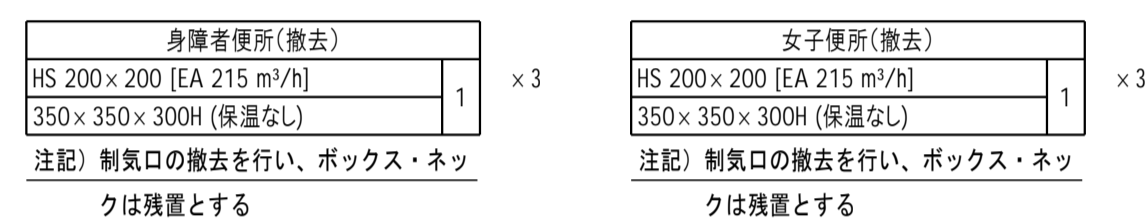
記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-203~205	消音ボックス付送風機	型 式: 消音形 仕 様: 200φ × 650m ³ /h × 80Pa	1-100	0.100	LS	3	B3 環境生態学科棟 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1 3階 男子便所 ×1	形状: 640×430×310H 重量: 16kg

注) 撤去送風機共通事項
1. 付属品共、場外搬出処分とする

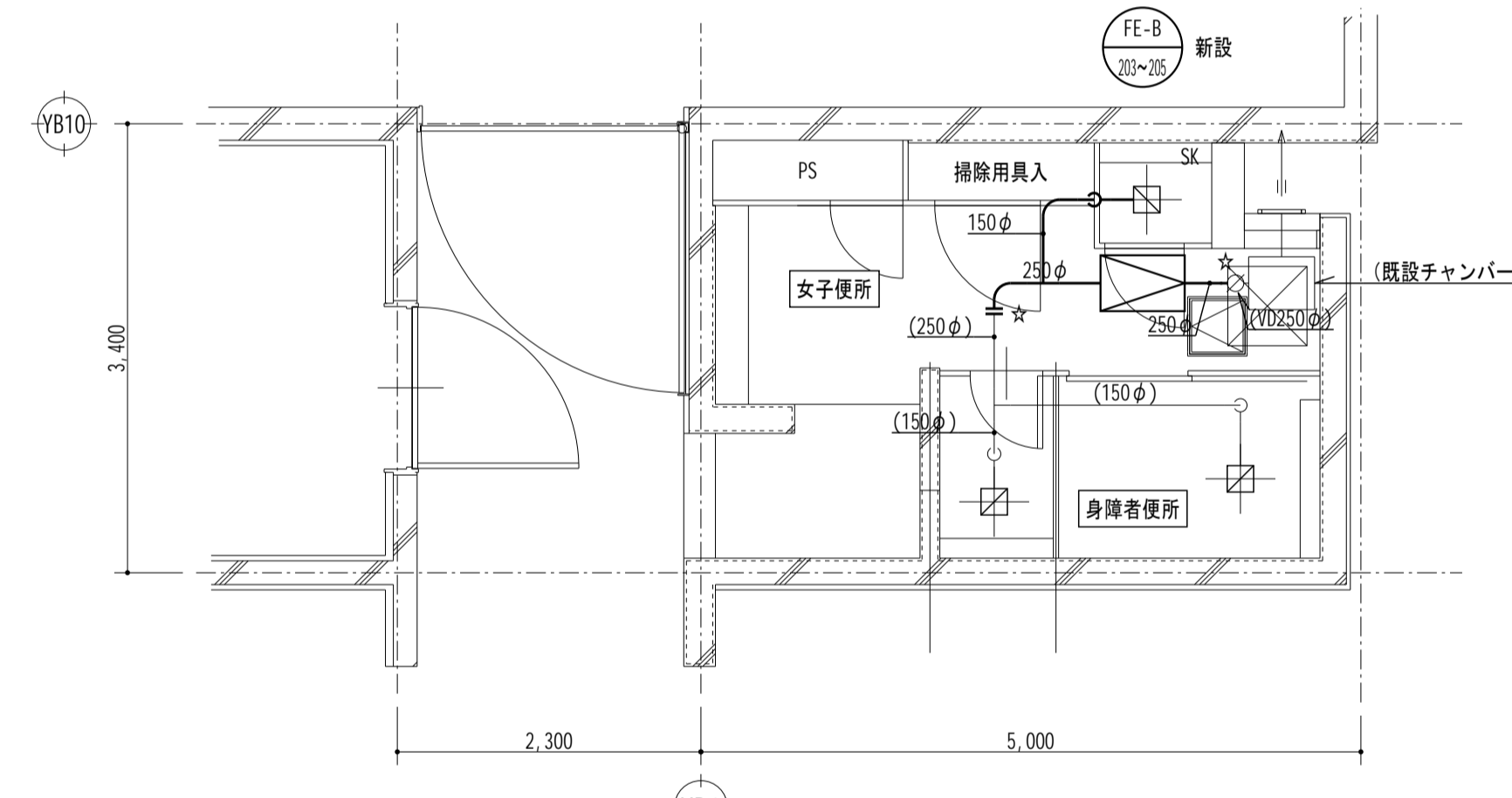
(新設) 換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-203~205	消音ボックス付送風機	型 式: 消音形 仕 様: 200φ × 600m ³ /h × 70Pa 付属品: 防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.125	LS	3	B3 環境生態学科棟 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1 3階 男子便所 ×1	品番: (参考) BFS-65UG2

注) 送風機共通事項
1. 電気容量は参考値とし、記載以下とする
2. ファンへの接続は、たわみ継手とする
3. 機器表中記載のOOPaは機外静圧を示し、参考値とする
4. その他はメーカー基準とする
5. 排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする (配線、機器接続を含む)



B3 換気設備 1~3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50



B3 換気設備 1~3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ¹⁰	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
□	制気口	
←	排気ガラリ	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は切断箇所を示す

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ¹⁰	風量調整ダンパー	

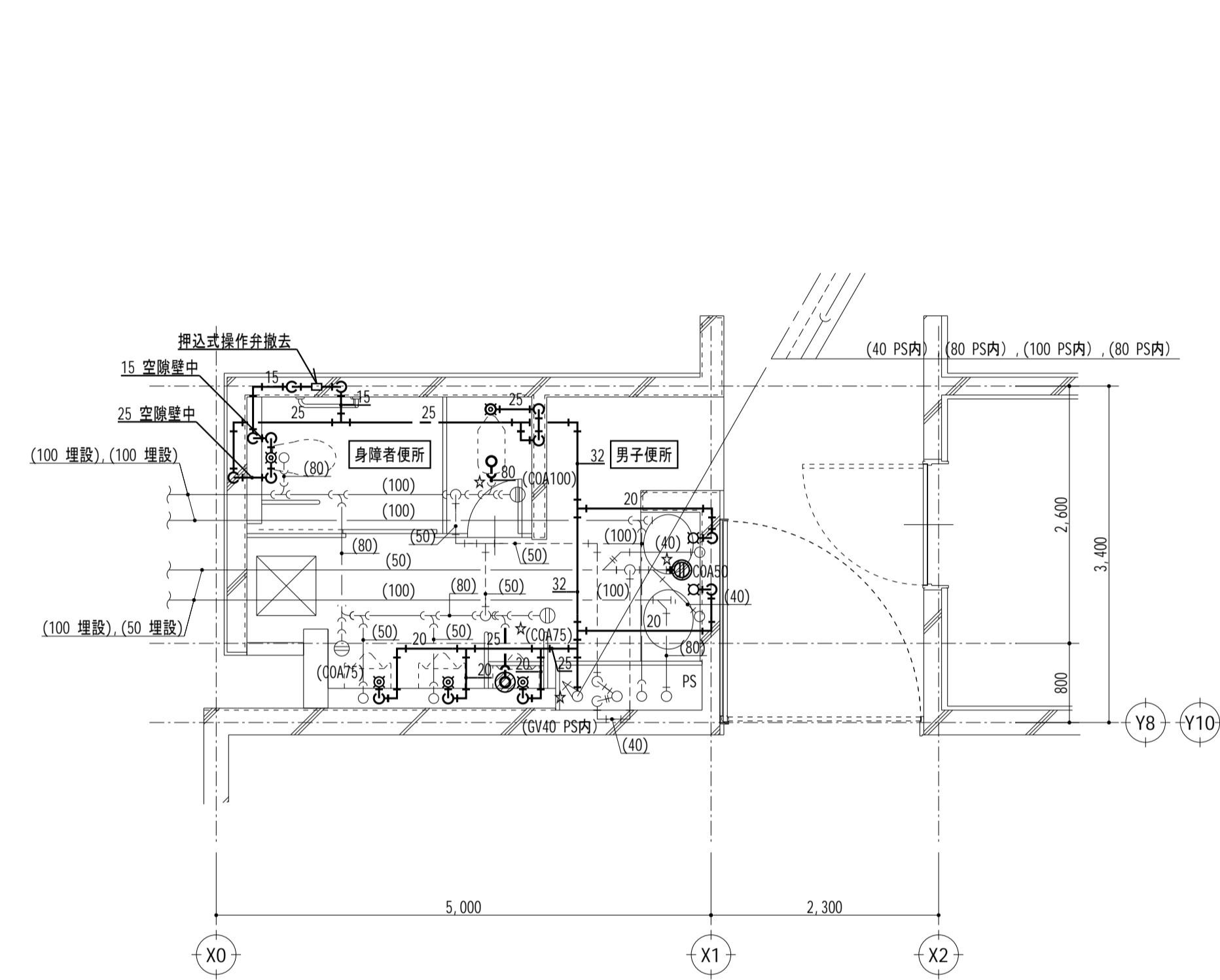
記号	名称	備考
□	制気口	
←	排気ガラリ	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は接続箇所を示す

撤去

B5 1階 男子便所			B5 1階 身障者便所 (男子便所)		
名称	仕様	数量	名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	床置型	1	手すり	L型	1
小便器	壁掛型	2	手すり	P型	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1	注記) 付属品共、場外搬出処分とする		
化粧鏡	丸形	2			
手すり	小便器用	1			

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする



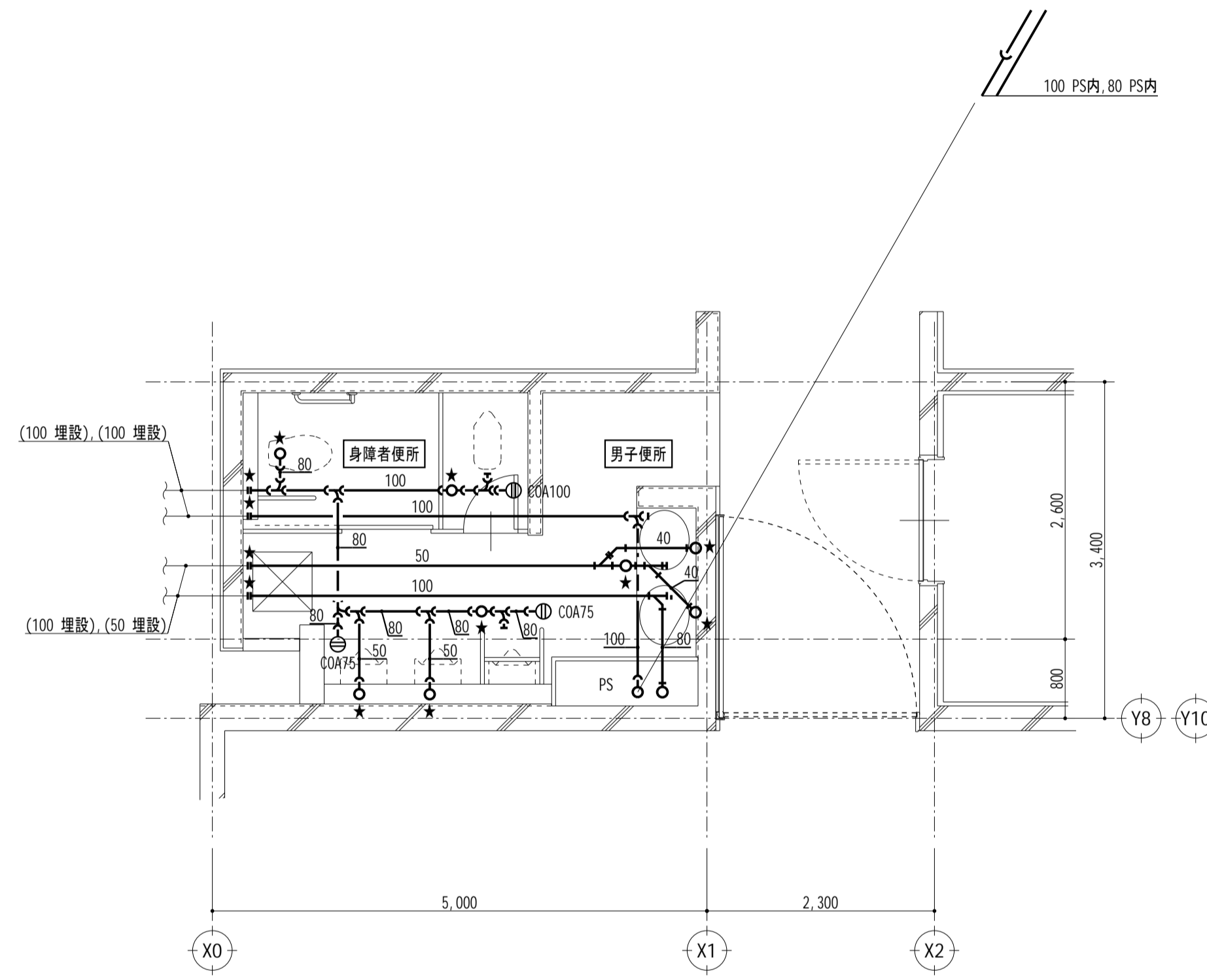
B5 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

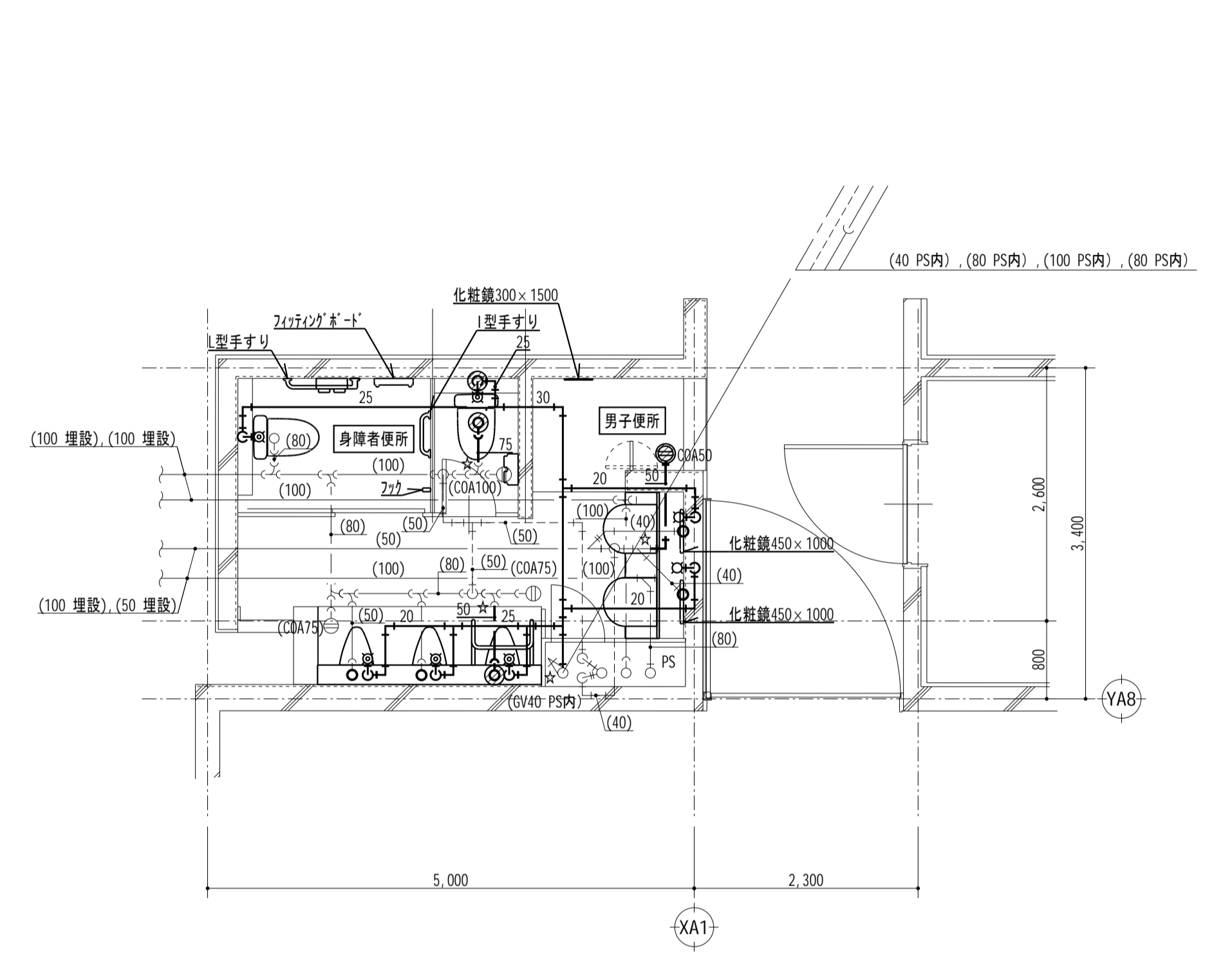


B5 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はラインング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



B5 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

管更生

改修後

B5 3階

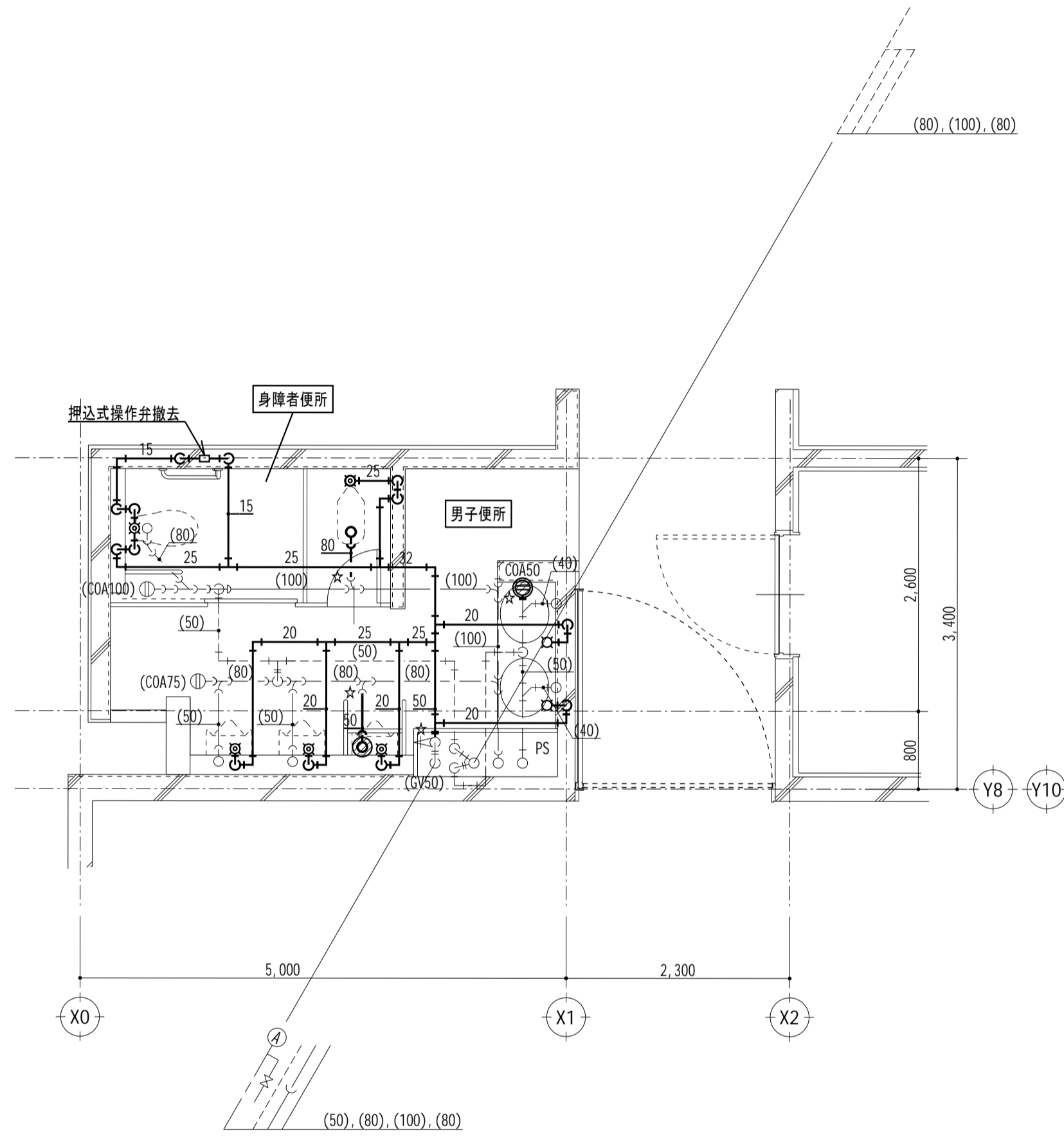
名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	床置型	1
小便器	壁掛型	2
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡	丸形	2
手すり	小便器用	1

注記) 付属品共、場外搬出処分とする
和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

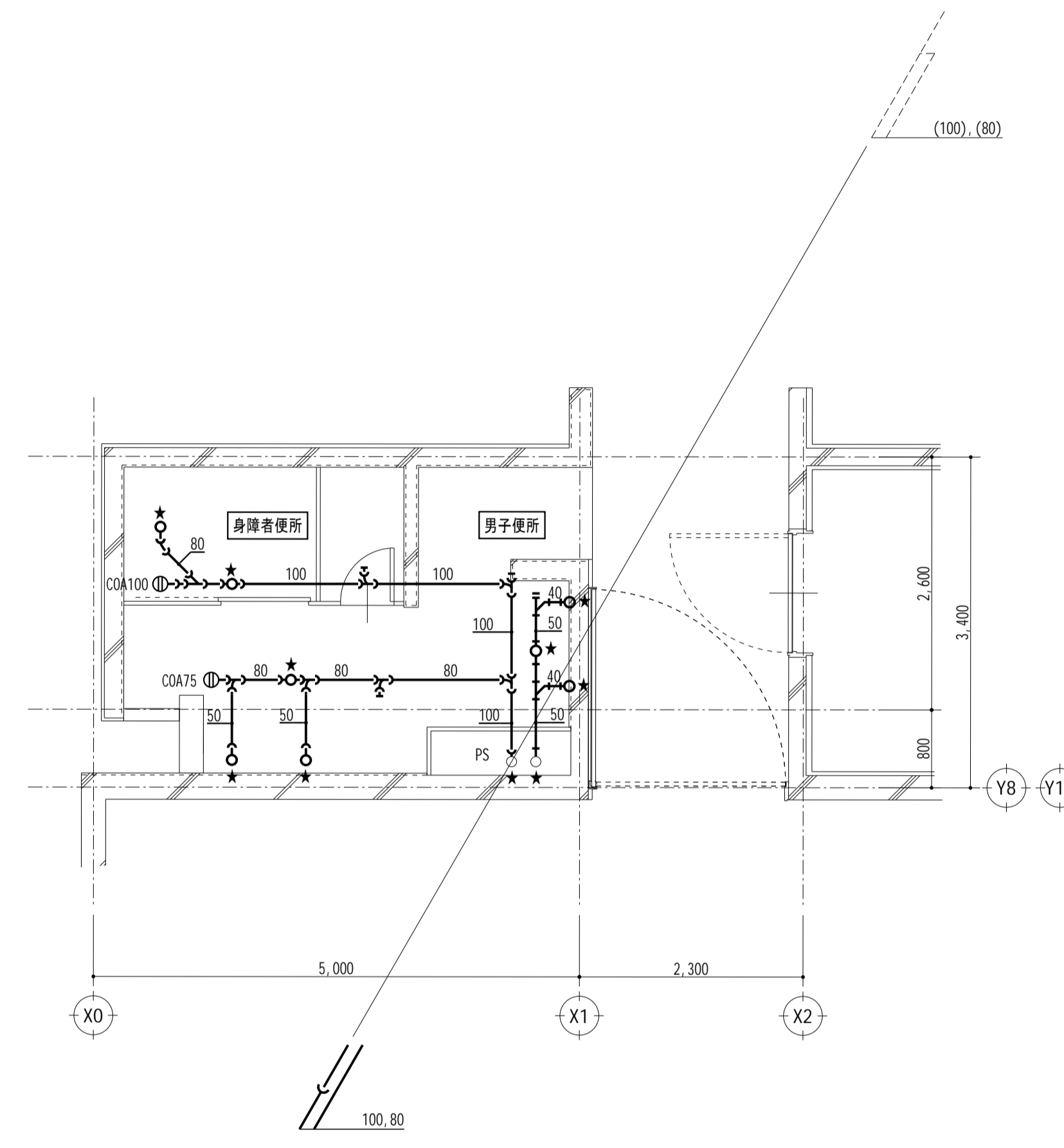
B5 3階

名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
手すり	L型	1
手すり	P型	1

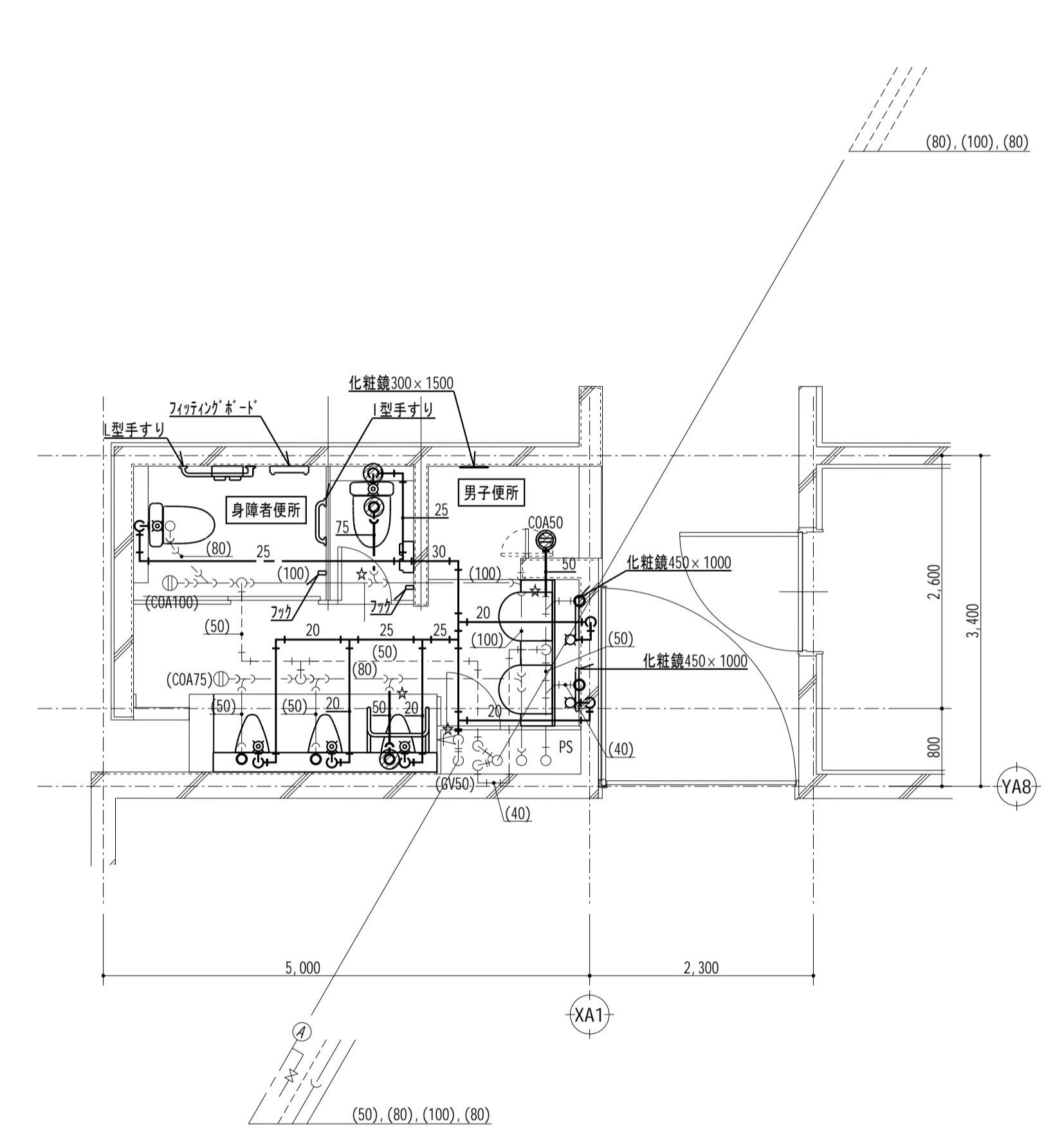
注記) 付属品共、場外搬出処分とする



B5 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50



B5 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (管更生) S = 1/50



B5 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号

記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
---	雑排水配管	DVLP
---	汚水配管	DVLP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

線種記号

記号	名称	備考
---	雑排水配管	DVLP、管更生
---	汚水配管	DVLP、管更生
---	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

線種記号

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP
---	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
---	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊗	水栓	
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

改修後

(撤去) 換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-301~303	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：200φ × 650m ³ /h × 80Pa	1-100	0.100	LS	3	B5 環境資源管理学科棟 1階 男子便所 × 1 2階 男子便所 × 1 3階 男子便所 × 1	形状：640×430×310H 重量：16kg

注) 撤去送風機共通事項
1. 付属品共、場外搬出処分とする

(新設) 換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置室名	備考
			電圧 (φ-V)	容量 (kW)	始動 方式			
FE-B-301~303	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：200φ × 600m ³ /h × 90Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.125	LS	3	B5 環境資源管理学科棟 1階 男子便所 × 1 2階 男子便所 × 1 3階 男子便所 × 1	品番：(参考) BFS-65SUG2

注) 送風機共通事項
1. 電気容量は参考値とし、記載以下とする
2. ファンへの接続は、たわみ継手とする
3. 機器表中記載のOOPは機外静圧を示し、参考値とする
4. その他はメーカー基準とする
5. 排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする(配線、機器接続を含む)

男子便所(撤去)	
HS 200×200 [EA 330 m ³ /h]	1
350×350×300H (保温なし)	1
HS 200×200 [EA 320 m ³ /h]	1
350×350×300H (保温なし)	1

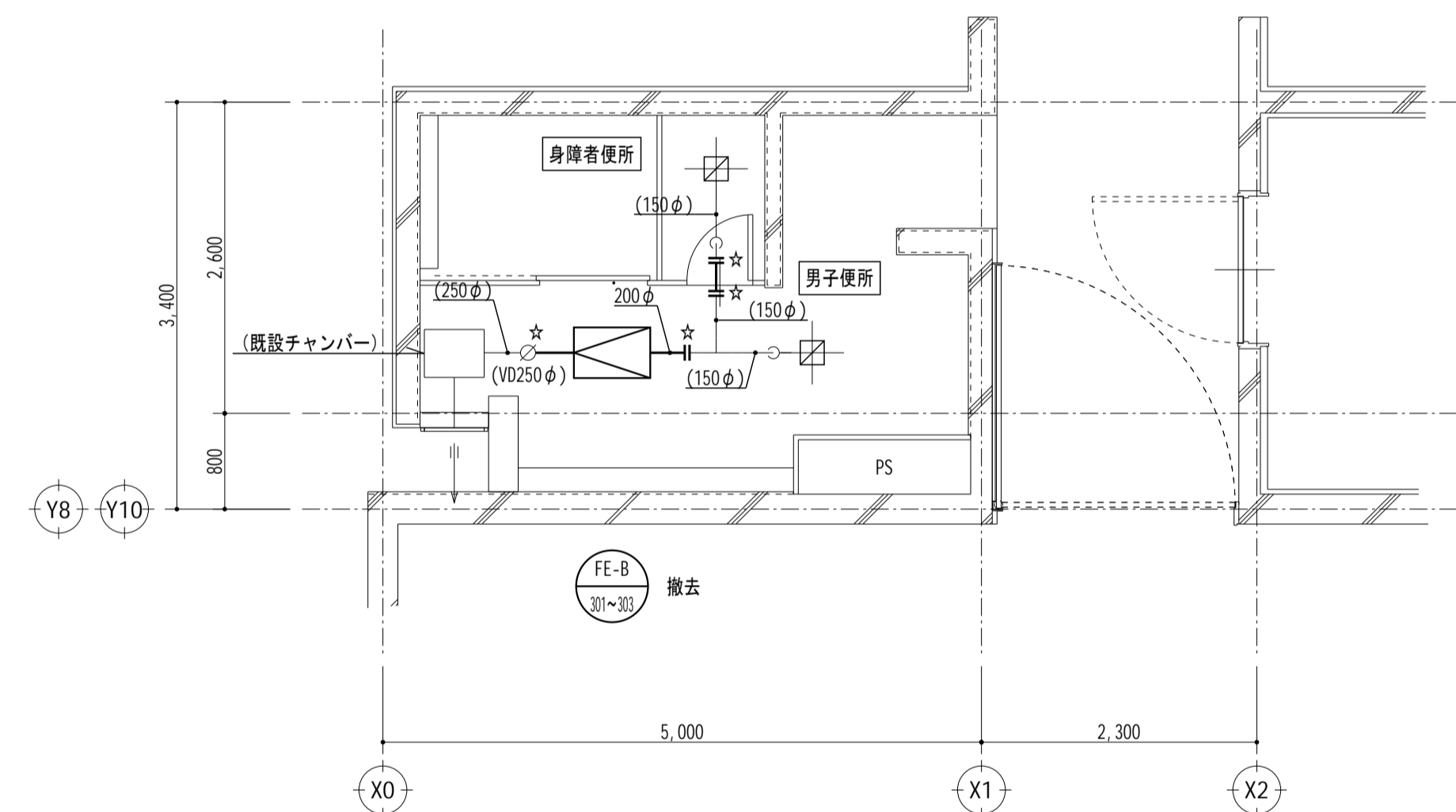
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする

身障者便所(新設)	
HS 200×200 [EA 200 m ³ /h]	1
350×350×300H (保温なし)	1

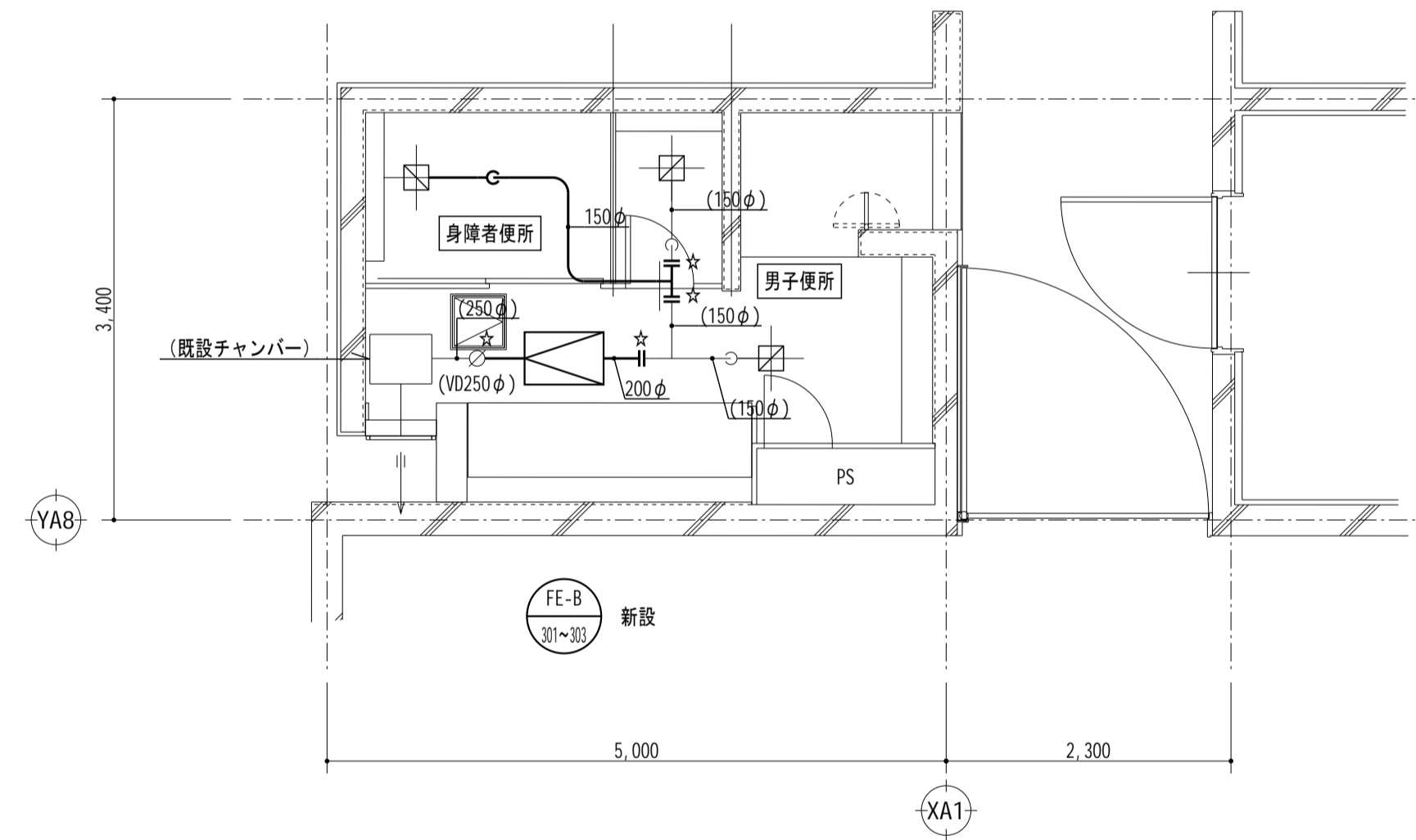
注記) 制気口・ボックス・ネックの新設を行う

男子便所(新設)	
HS 200×200 [EA 200 m ³ /h]	2
350×350×300H (保温なし)	2

注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する



B5 換気設備 1~3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50



B5 換気設備 1~3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ¹⁰	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
□	制気口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内配管とする
- ☆は切断箇所を示す

記号	名称	備考
—	ダクト	
∅ ¹⁰	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
□	制気口	
←	排気ガラリ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内配管とする
- ☆は接続箇所を示す

滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事

図面リスト

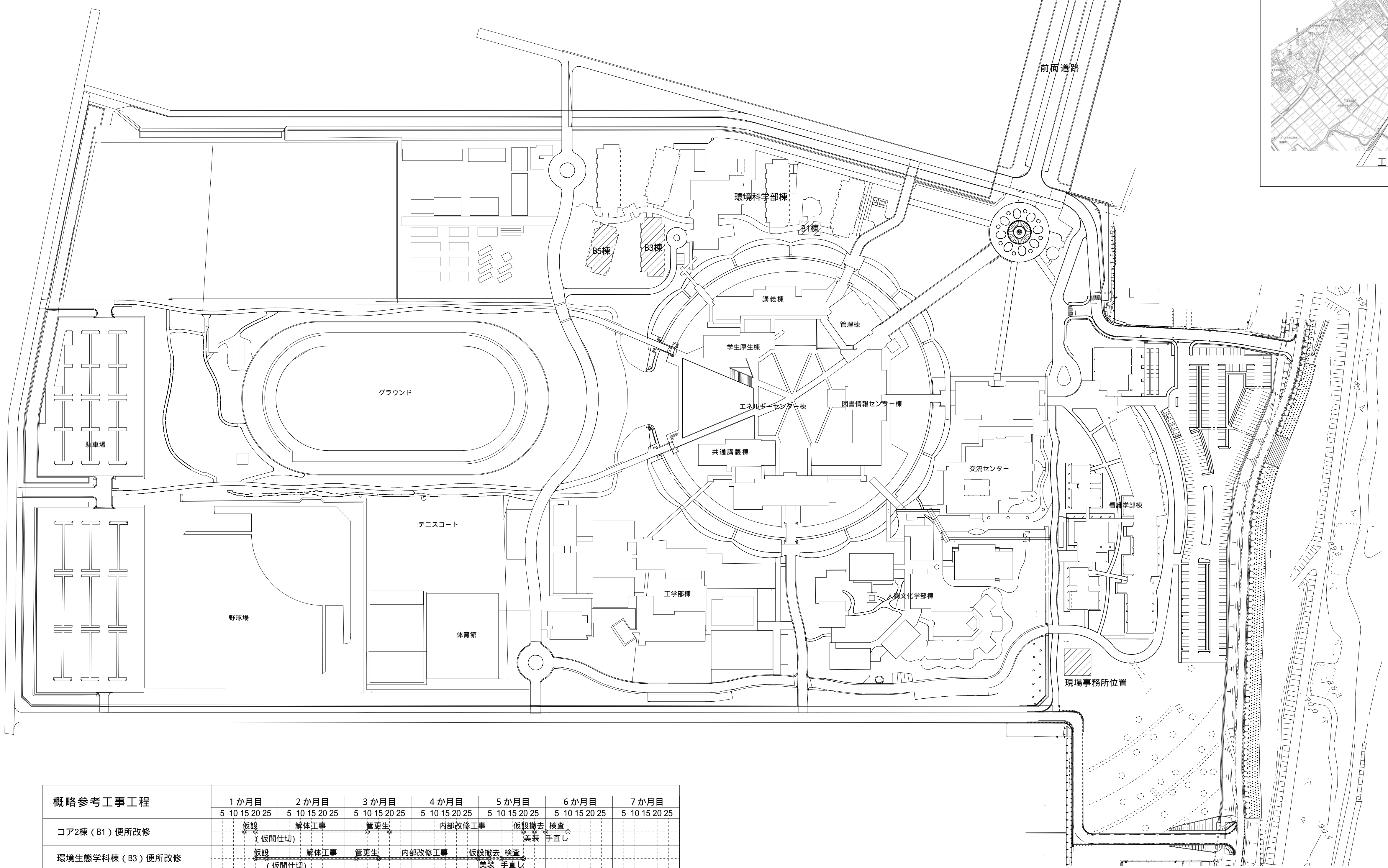
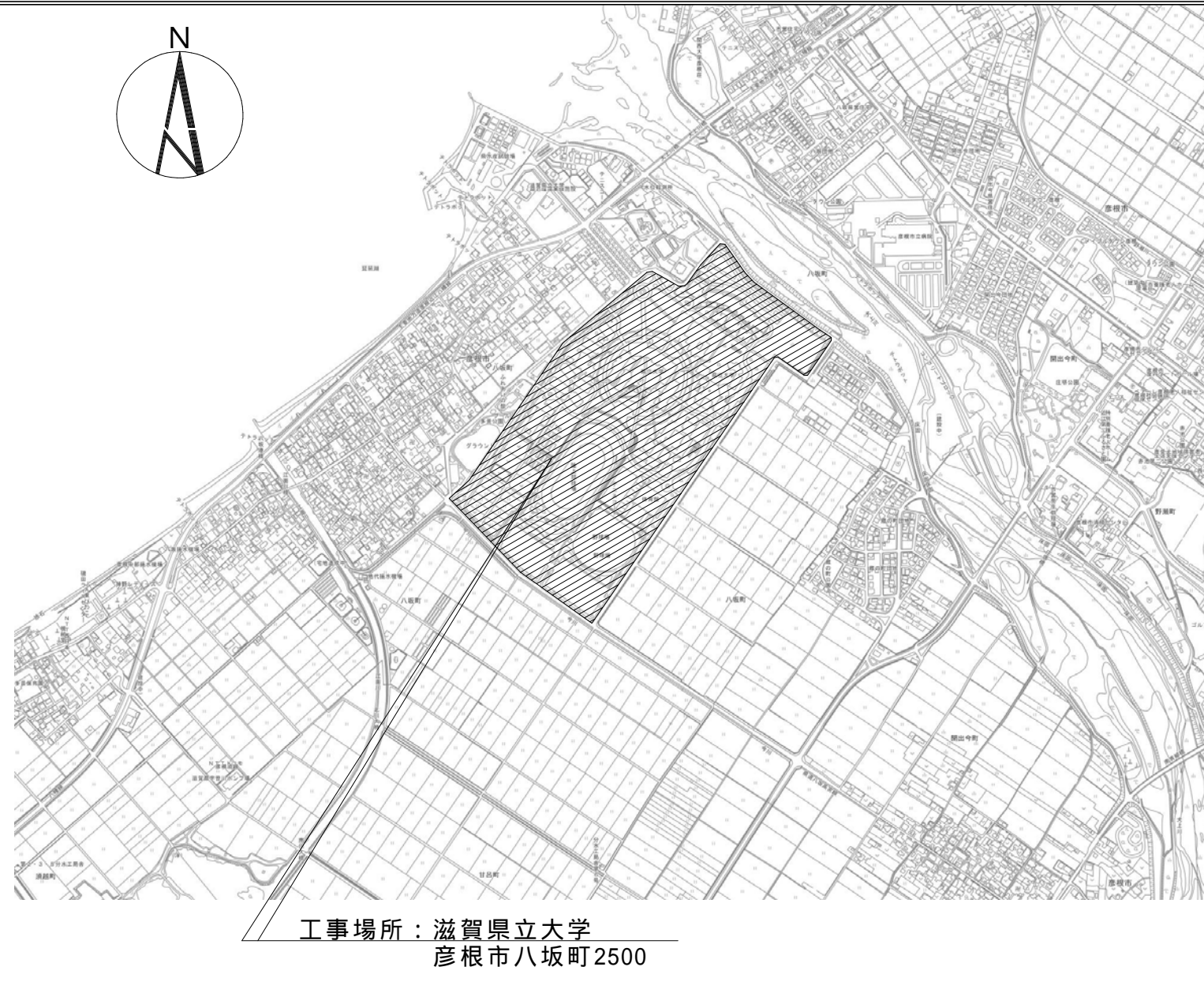
番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書 (1)	NOSCALE
A-02	建築改修工事特記仕様書 (2)	NOSCALE
A-03	建築改修工事特記仕様書 (3)	NOSCALE
A-04	工事区分表	NOSCALE
A-05	配置図 附近見取図	1/1500, 4000
A-06	環境科学部棟 1階平面図	1/300
A-07	環境科学部棟 2階平面図	1/300
A-08	環境科学部棟 3階平面図	1/300
	B1 コア2棟	
A-09	B1 1~3階便所平面詳細図 (改修前・改修後)	1/50
A-10	B1 1~3階便所展開・天井伏図 (改修前)	1/50
A-11	B1 1~3階便所展開・天井伏図 (改修後)	1/50
A-12	B1 矩計図 (改修前・改修後)	1/50
	B3 環境生態学科棟	
A-13	B3 1~3階便所平面詳細図 (改修前・改修後)	1/50
A-14	B3 1~3階便所展開・天井伏図 (改修前)	1/50
A-15	B3 1~3階便所展開・天井伏図 (改修後)	1/50
A-16	B3 矩計図 (改修前・改修後)	1/50
	B5 環境資源管理学科	
A-17	B5 1~3階便所平面詳細図 (改修前・改修後)	1/50
A-18	B5 1~3階便所展開・天井伏図 (改修前)	1/50
A-19	B5 1~3階便所展開・天井伏図 (改修後)	1/50
A-20	B5 矩計図 (改修前・改修後)	1/50
A-21	建具リスト	1/50
A-22	建具詳細図	1/5
A-23	ピクトサイン詳細図 (1)	1/2
A-24	ピクトサイン詳細図 (2)	1/2

特記事項

- ・本工事は滋賀県立大学の「環境科学部棟 B1棟」「環境科学部棟 B3棟」「環境科学部棟 B5棟」にある便所の改修工事を行うものとする。
- ・本工事は校内、開校中の工事となるため、学生、職員、来客者、の安全管理に十分留意すること。
- ・施工計画において、作業曜日、作業開始時間、終了時間等の工程計画、工事場所の仮設間仕切り等、施設側と十分協議の上、作業計画を立てること。
- ・（必要に応じ休日、夜間工事も含めた立案とすること。）
- ・施工計画に際し、大学運営、学生、職員、来客の安全及び、騒音・振動が出る工事、埃が出る工事については最優先に考慮し、対策を講じ、施設側と協議すること。
- ・内容については、施工場所の学生、大学職員、来客の動線及び工事場所以外の職員作業室の確保等を必要に応じ計画に含むものとする。
- ・滋賀県立大学、監督職員と工程を含め施工計画を作成し関係者の承諾を得ること。
- ・本工事による便所以外の他部屋の給排水設備への影響を極力及ぼさぬよう、現地調査を十分に行い、計画すること。
- ・本工事により、既設建物・舗装等に損傷を与えた場合は、本工区内、請負者の責任において現況復旧を行うこと。
- ・工事が完了した部分から、都度仕様承諾等にて、請負者と大学側で執り行い、利用できるよう協力すること。

【工事概要】

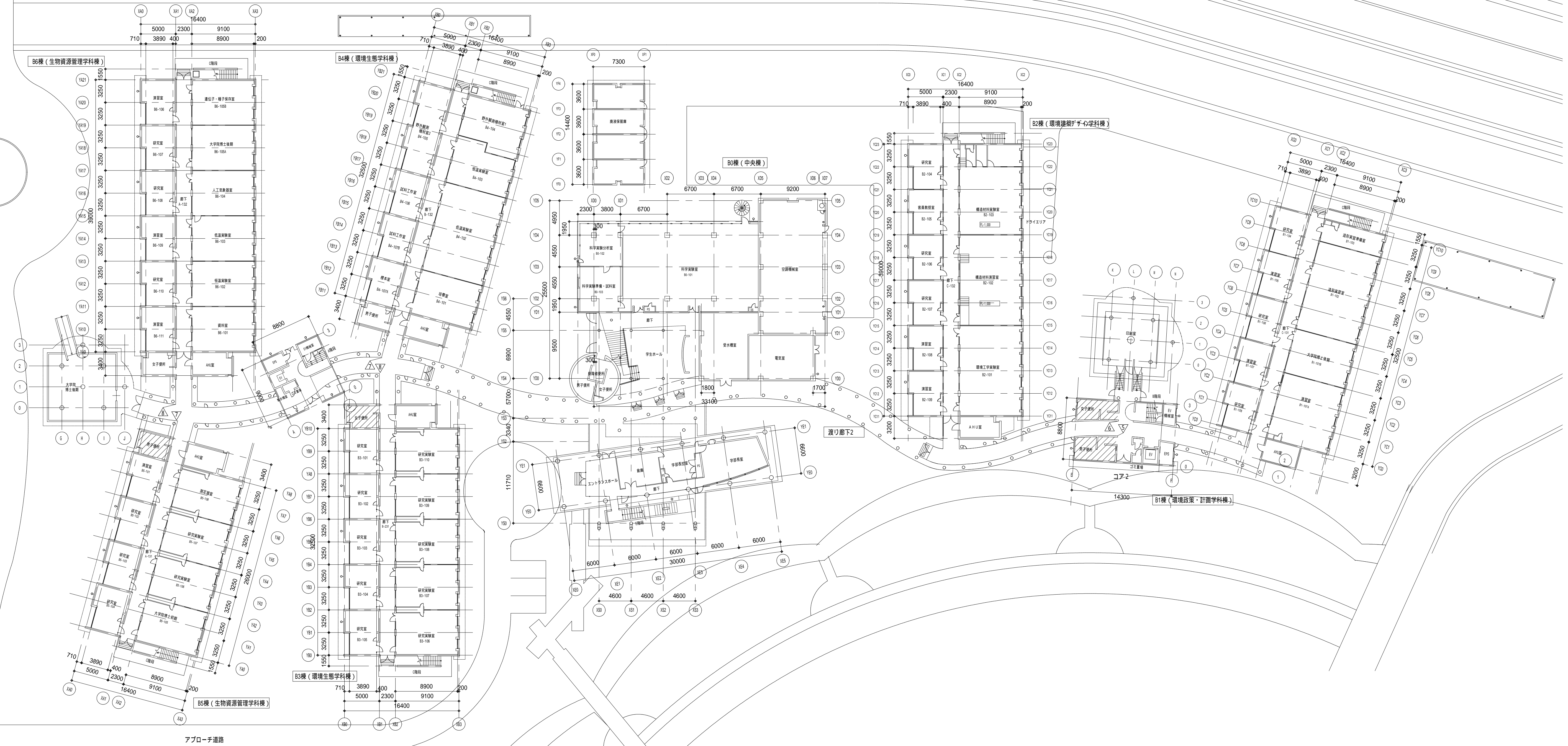
- ・環境科学部棟 B1棟の1階～3階男女便所の改修を行う。
- ・環境科学部棟 B3棟の1～3階女便所の改修を行う。
- ・環境科学部棟 B5棟の1～3階男便所の改修を行う。
- ・上記に付随する機械設備・電気設備工事。

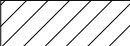



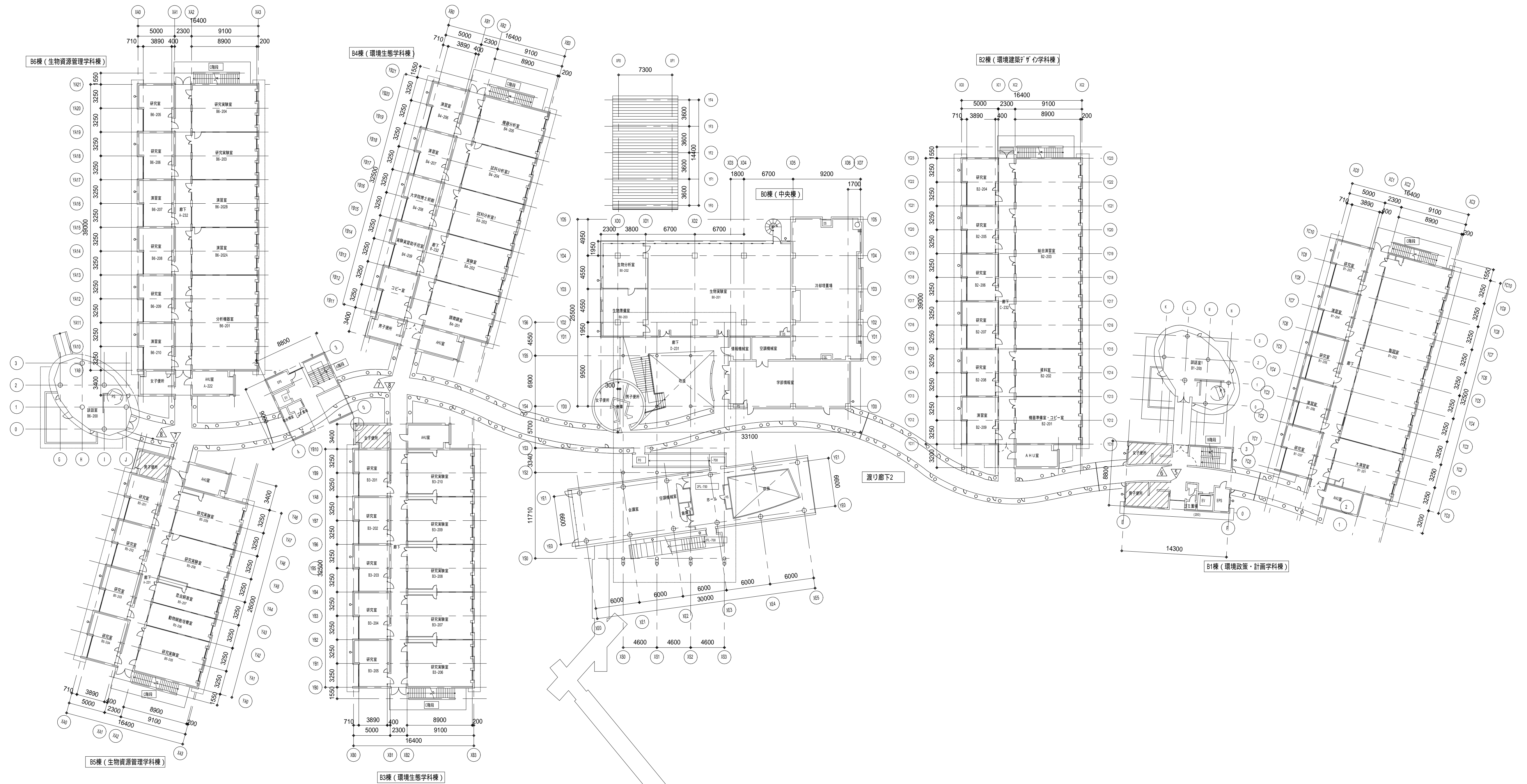
概略参考工事工程	1か月目		2か月目		3か月目		4か月目		5か月目		6か月目		7か月目	
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20
コア2棟（B1）便所改修	仮設		解体工事		管更生		内部改修工事		仮設撤去		検査			
環境生態学科棟（B3）便所改修	仮設		解体工事		管更生		内部改修工事		仮設撤去		検査			
環境資源学管理科棟（B5）便所改修	仮設		解体工事		管更生		内部改修工事		仮設撤去		検査			
共通仮設他	工事P1設置				工事P1供用						工事P1撤収			
備考														

配置図 1/1500

：改修棟を示す

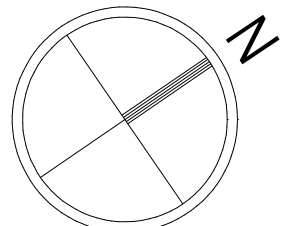
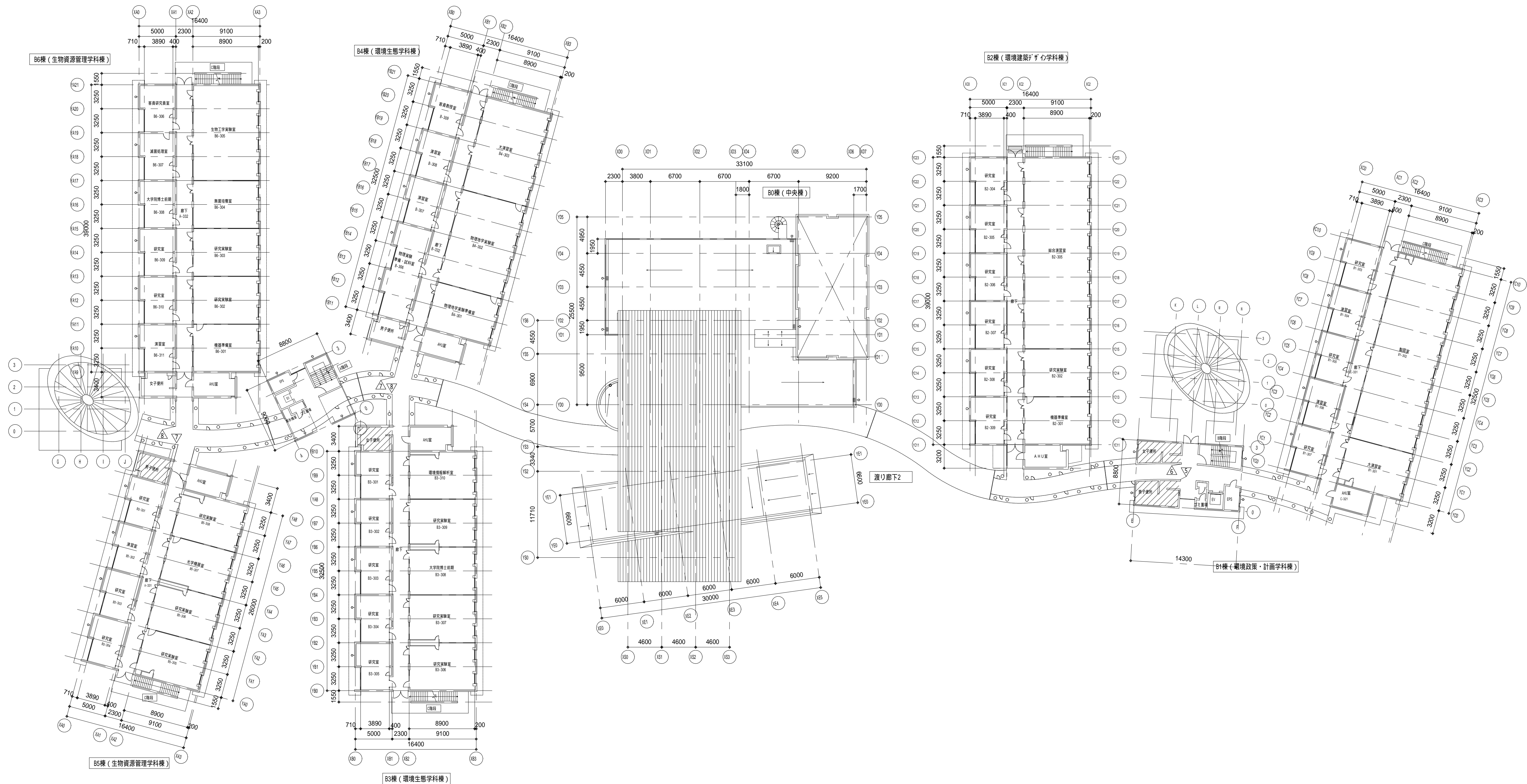




 : 改修対象室を示す
 : 廊下サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)



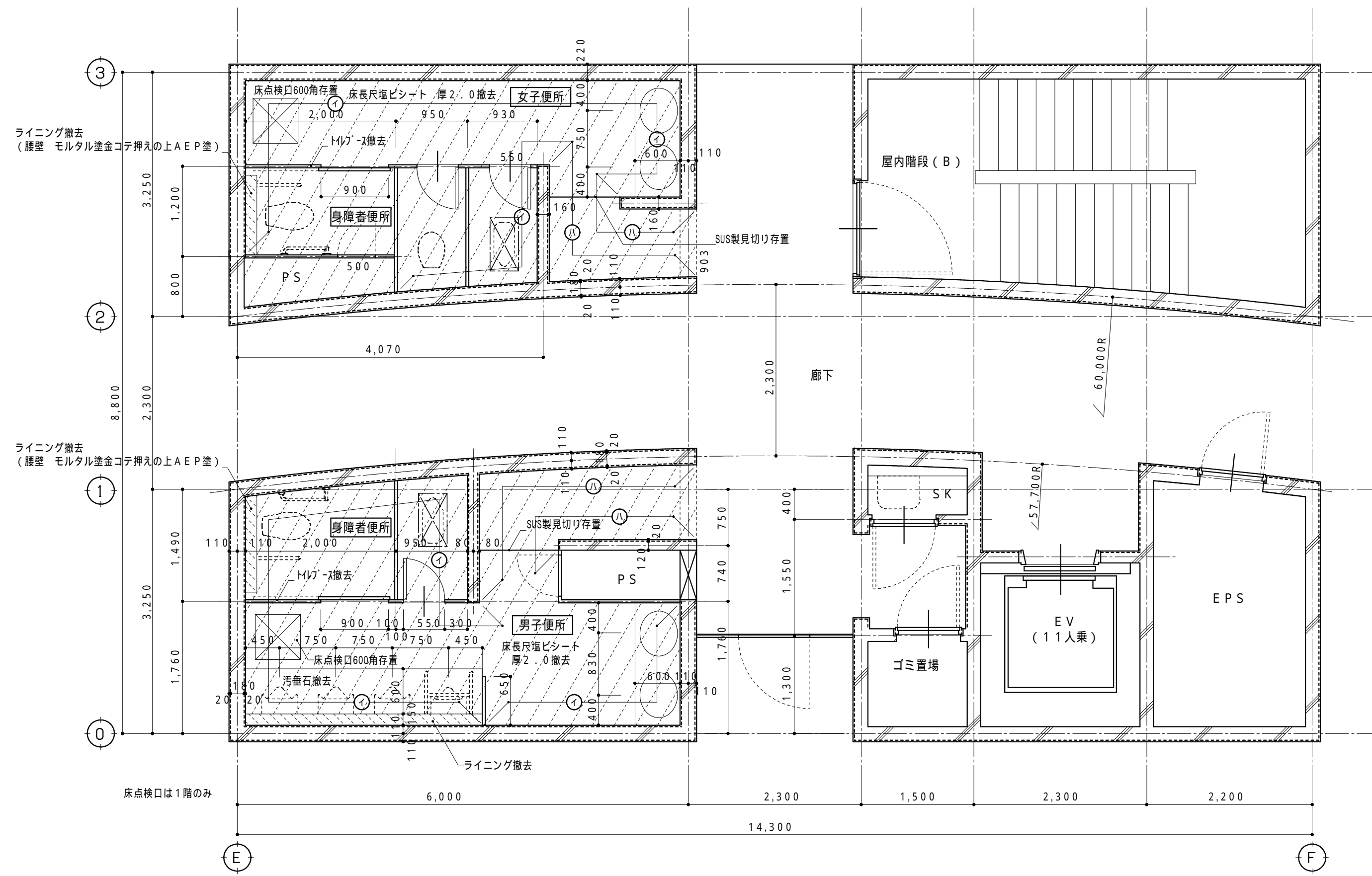
▨ : 改修対象室を示す

△ : 廊下サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)



 : 改修対象室を示す
 : 廊下サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)

令和6年 3月 日	滋賀県立大学財務課			株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事 図面名称 環境科学部棟 3階平面図	図面No. A-8 縮尺 S = 1/300 設計日 2024年3月
-----------	-----------	--	--	------------------	---	--

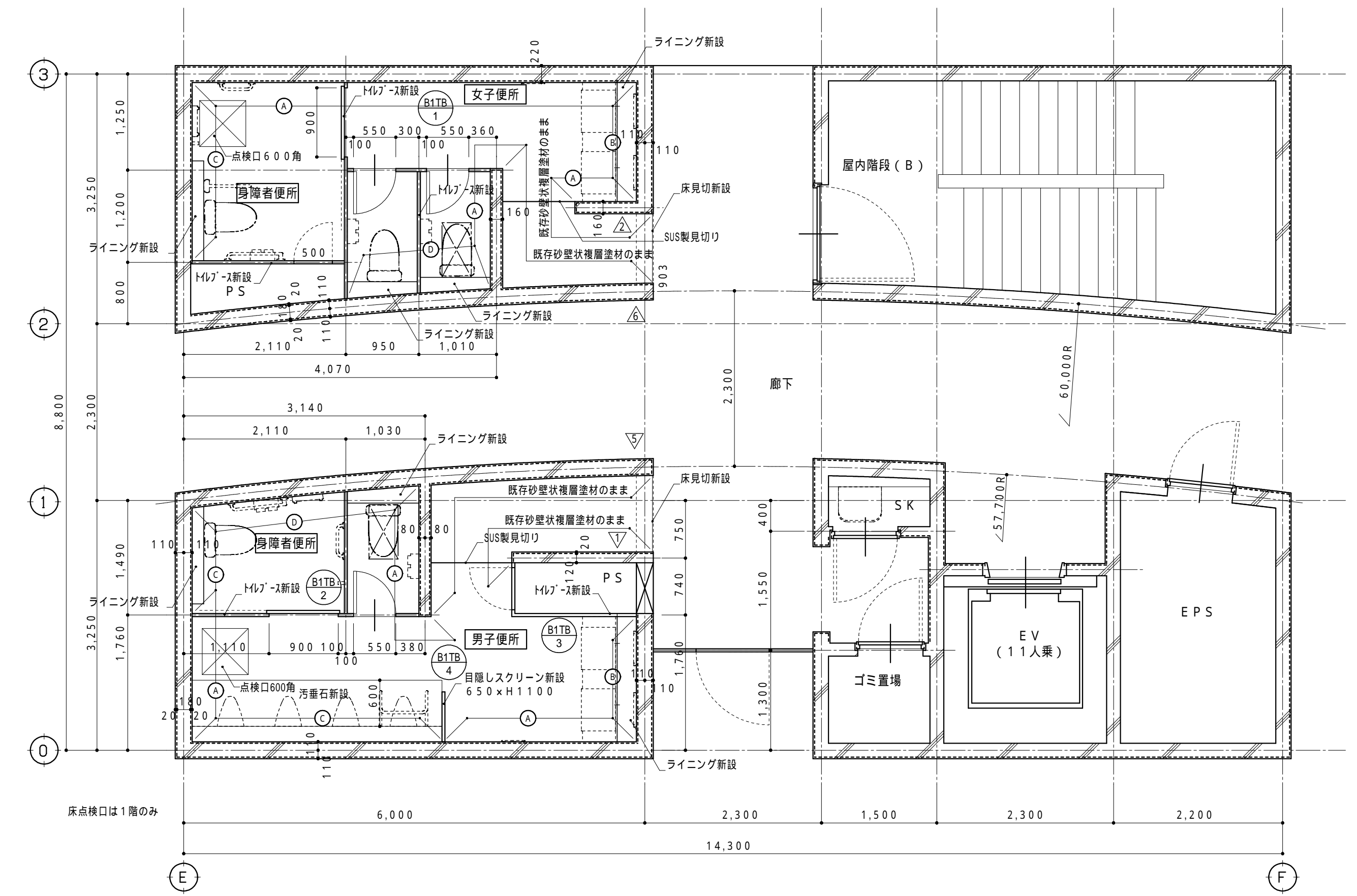


B1 1~3階便所平面詳細図 (改修前)

- 略号表示
- ① AEP塗(塗膜除去)
 - ② 砂壁状複層塗材(清掃)

- 解体撤去範囲を示す
- ①②が 壁壁撤去: 天端人工大理石、GB 厚100下地
- 和便器撤去部
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
(710×380)を示す(四周カッター切)

トイレ-ス全撤去、洗面カウンター撤去
 衛生器具等撤去(機械設備)
 (衛生陶器、配管、手摺、鏡)
 照明器具等撤去(電気設備)
 仮設間仕切り壁(LGS50 GB-R t12.5程度)、
 工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事

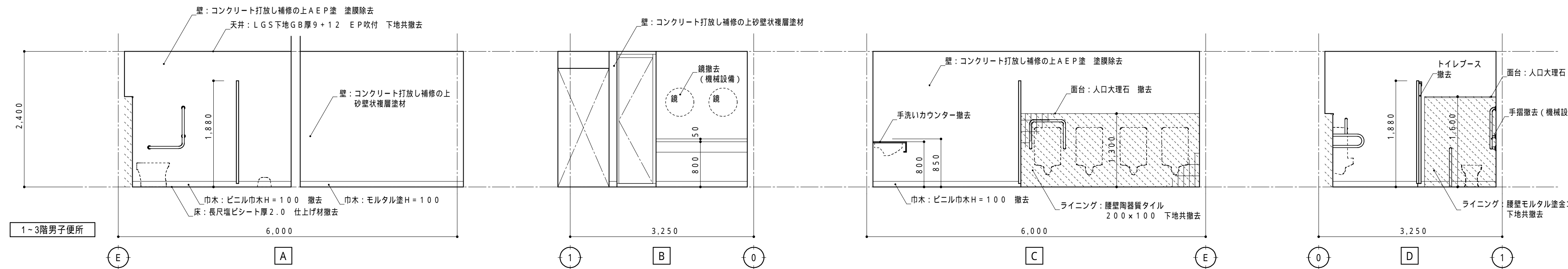
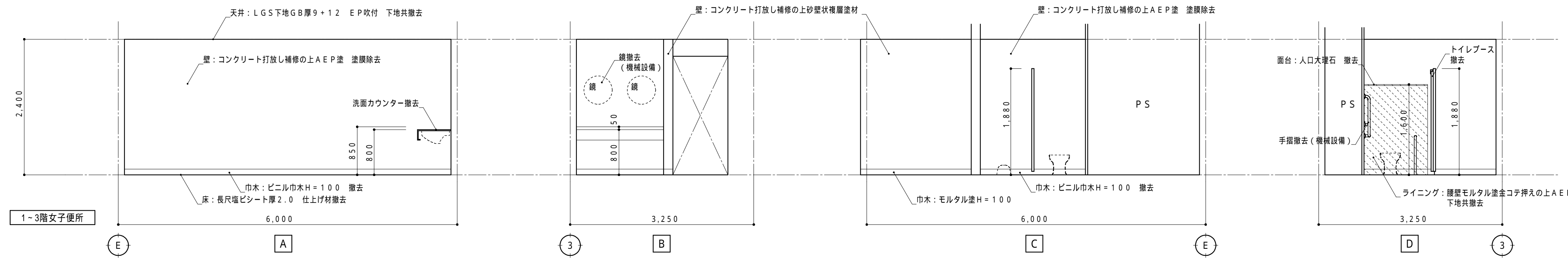


B1 1~3階便所平面詳細図 (改修後)

- 略号表示
- ① 壁下地調整の上矽化珪合板 厚3貼(一般色)(新設)
 - ② 壁下地調整の上矽化珪合板 厚3貼(指定色)(新設)
 - ③ 壁下地調整の上矽化珪合板 厚3貼(柄)(新設)
 - ④ 壁下地調整の上化粧シート貼

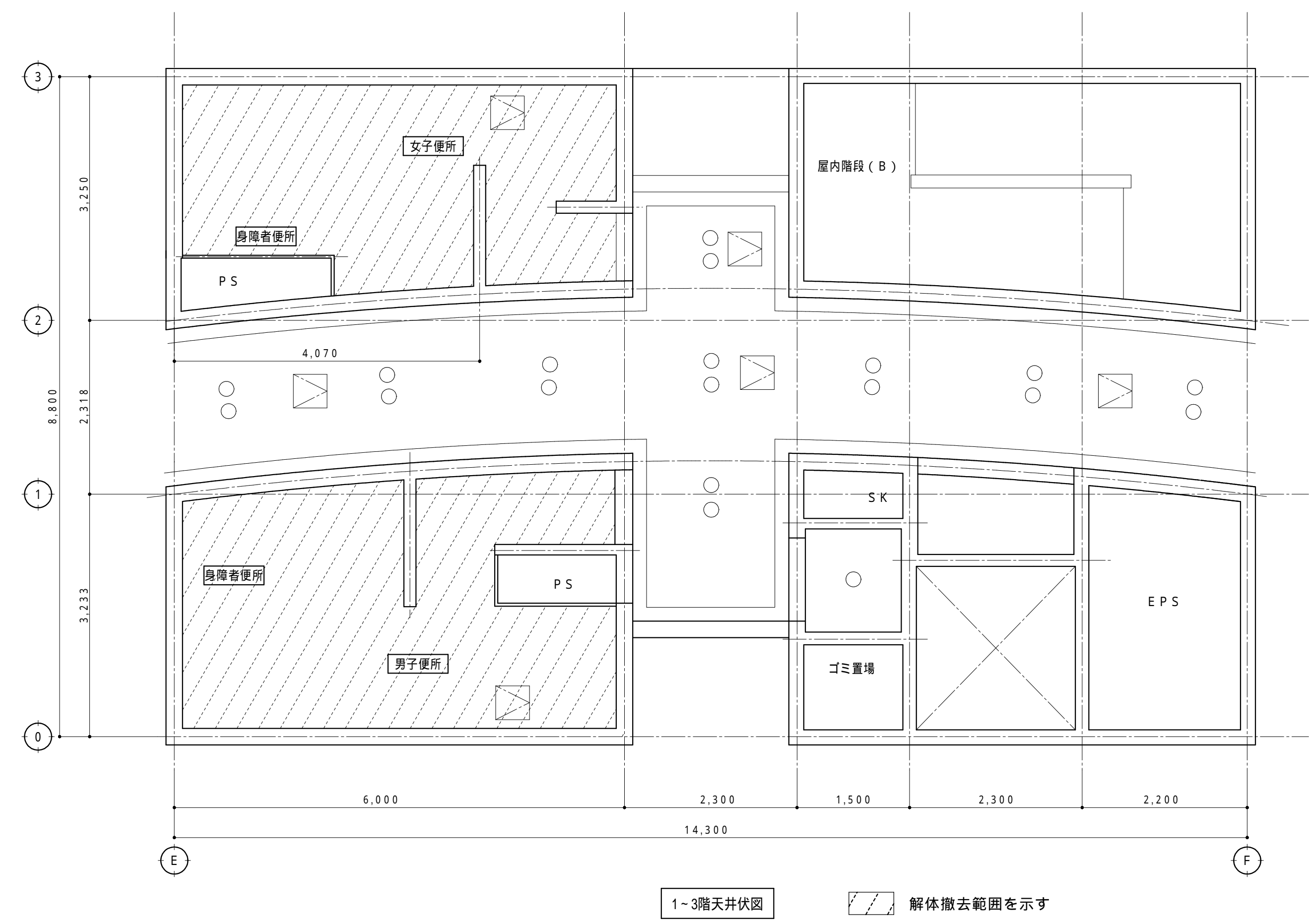
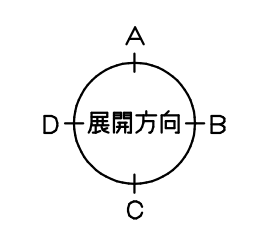
- ライニング新設
- 1300×150×H800
 - 1550×250×H900
 - 910×220~150×H800
 - 910×205~150×H800
 - 1250×150×H800
 - 930×150~225×H800
 - 1630×250×H900
- サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)
- 和便器撤去部開口閉塞(710×380)
 - ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
 - 後施工アンカー(差筋アンカー D13 薬液固定型)@200(1カ所につき14本)

内部仕上表																			
階数	室名		床高		床			巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁		室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		
1階	男子便所	改修前	±0	2,400	C	ビニル床シート 厚2.0貼(撤去) 汚垂石 掃き取り体取(撤去)	ビニル巾木 H=100(撤去)	MO	100角タテ貼(撤去)	MO.C	コンクリート打放し補修の上砂壁状複層塗材(存置) AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9+12 EP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	男子便所	建築: トイレ-ス撤去、洗面カウンター撤去、サインがCB種撤去 機械設備: 衛生器具、手摺、鏡撤去 建築: フロア材 天板、入口大理石甲板t12、トイレ-ス新設 機械設備: L型手摺/小便器手摺			
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニル床シート 厚2.0貼(新設) 汚垂石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	矽化珪合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)					
2階	女子便所	改修前	±0	2,400	C	ビニル床シート 厚2.0貼(撤去)	ビニル巾木 H=100(撤去)	MO	AEP塗(下地モルタル共撤去)	MO.C	コンクリート打放し補修の上砂壁状複層塗材(存置) AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9+12 EP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	女子便所	建築: トイレ-ス撤去、洗面カウンター撤去、サインがCB種撤去 機械設備: 衛生器具、手摺、鏡撤去 建築: フロア材 天板、入口大理石甲板t12、トイレ-ス新設 機械設備: L型手摺			
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニル床シート 厚2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	矽化珪合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9.5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)					
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)					特記事項									
C	コンクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃	NM-8585			床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。	天井点検口450角を適宜設けること。	天井点検口 内部450角とする。						
MO	珪石塗					石膏板-ド(GB-R) 厚9.5	準不燃	QM-9828			塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。	矽化珪合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。	化粧シートは3Mのダイノックフィルム抗菌・防カビ/水廻り用又は同等品とし、品質は係員と協議の上決定する						
LGS	軽量鉄骨下地					石膏板-ド(GB-R) 厚12.5	不燃	NM-8619			矽化珪合板貼端部及び巾木取合部には7mm製見切りを取り付けること。	内装仕上げ材は、F 仕様とする。	手洗部ライニング隔壁 サインが GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(一般色)						
CB	コンクリートブロック					岩綿吸音板 厚12	不燃	NM-8599			衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F 仕様とする。	大便器部ライニング隔壁 サインが GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化粧合板 厚3貼(柄)						
SL	珪石レベリング					矽化珪合板 厚3.0	不燃	NM-2183											
W	木下地																		
<p>令和6年 3月 日 滋賀県立大学財務課</p> <p>株式会社 総合設備コンサルタント</p> <p>工事名称: 滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事 図番: A-9</p> <p>図面名称: B1 1~3階便所平面詳細図(改修前・改修後) S = 1/50 図日: 2024年3月</p>																			

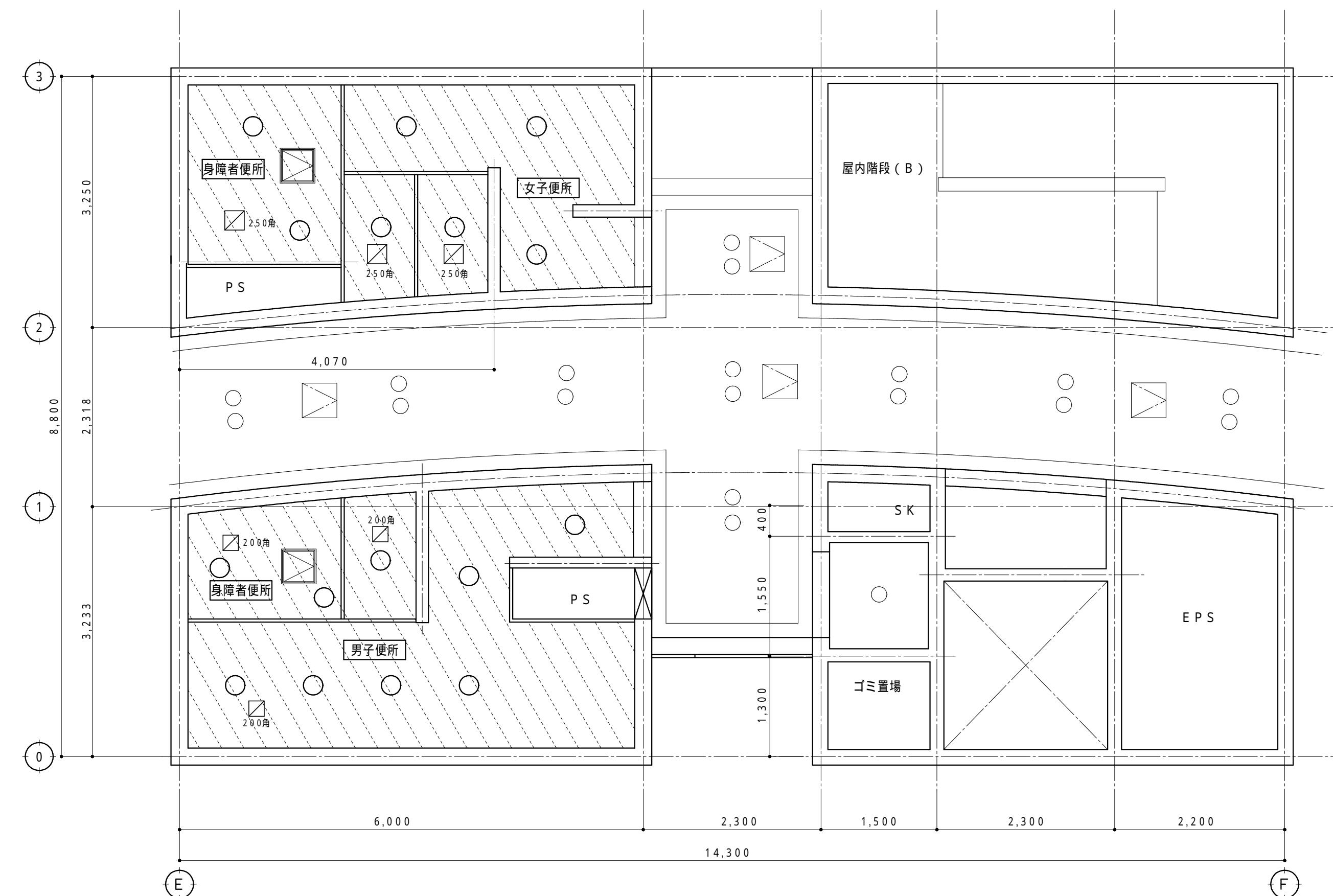
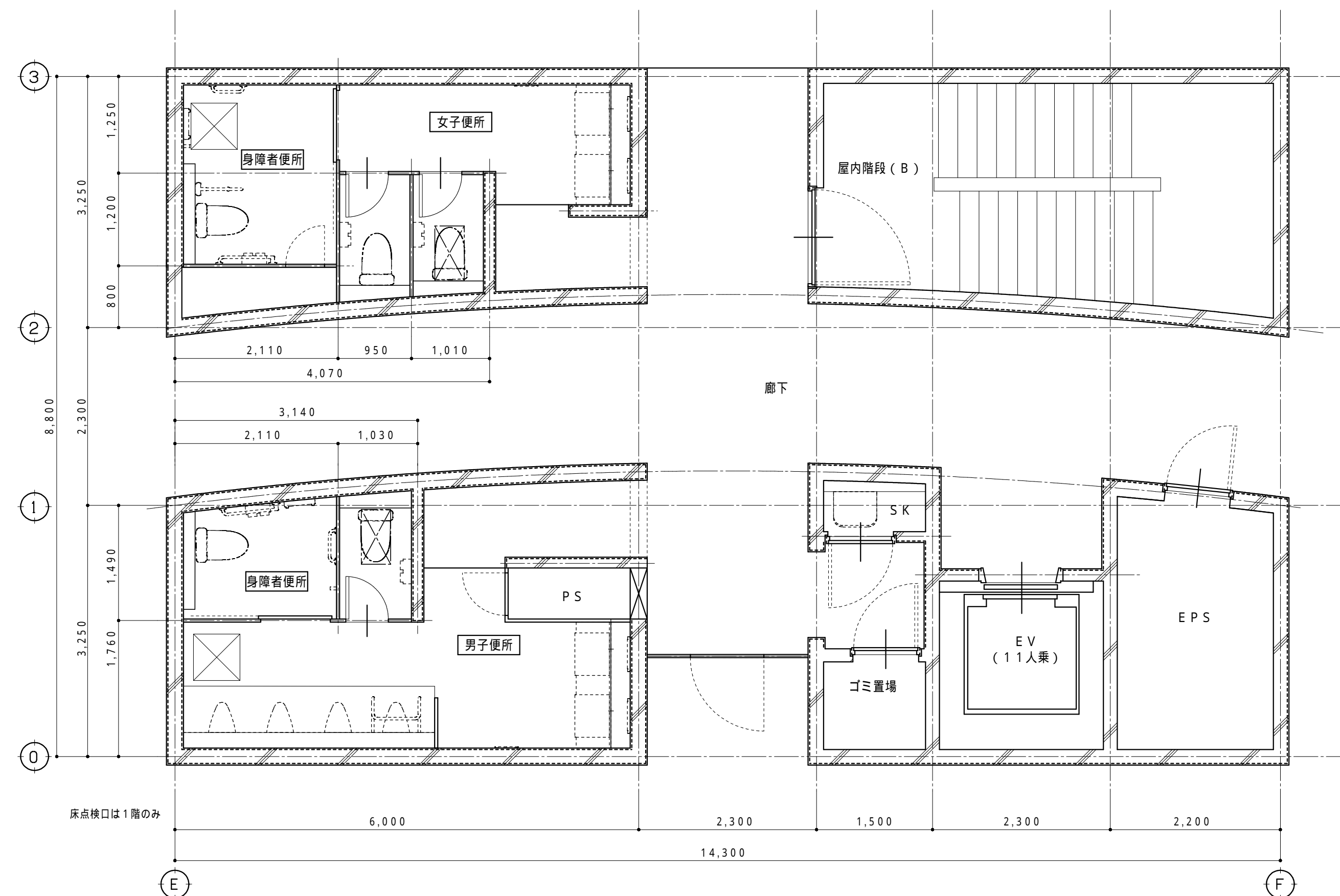
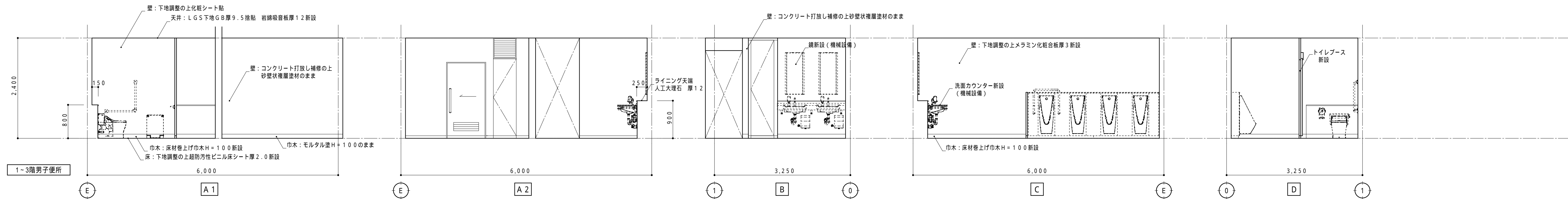
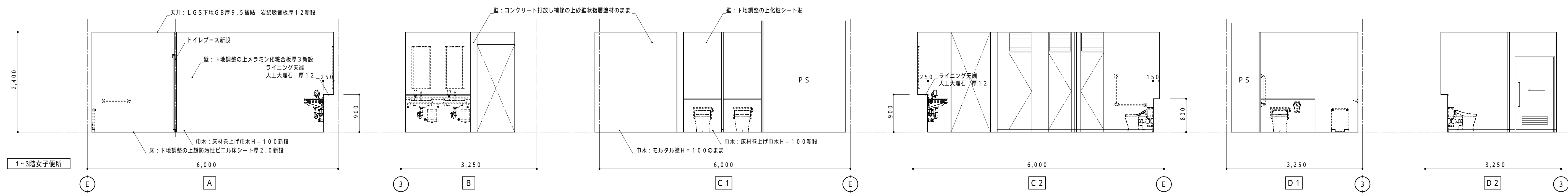


ライニング 腰壁撤去: 天端人工大理石、CB厚100下地

トイレブースは全撤去、洗面カウンター撤去
 衛生器具等撤去 (機械設備)
 (衛生陶器、配管、手摺、鏡)
 照明器具等撤去 (電気設備)



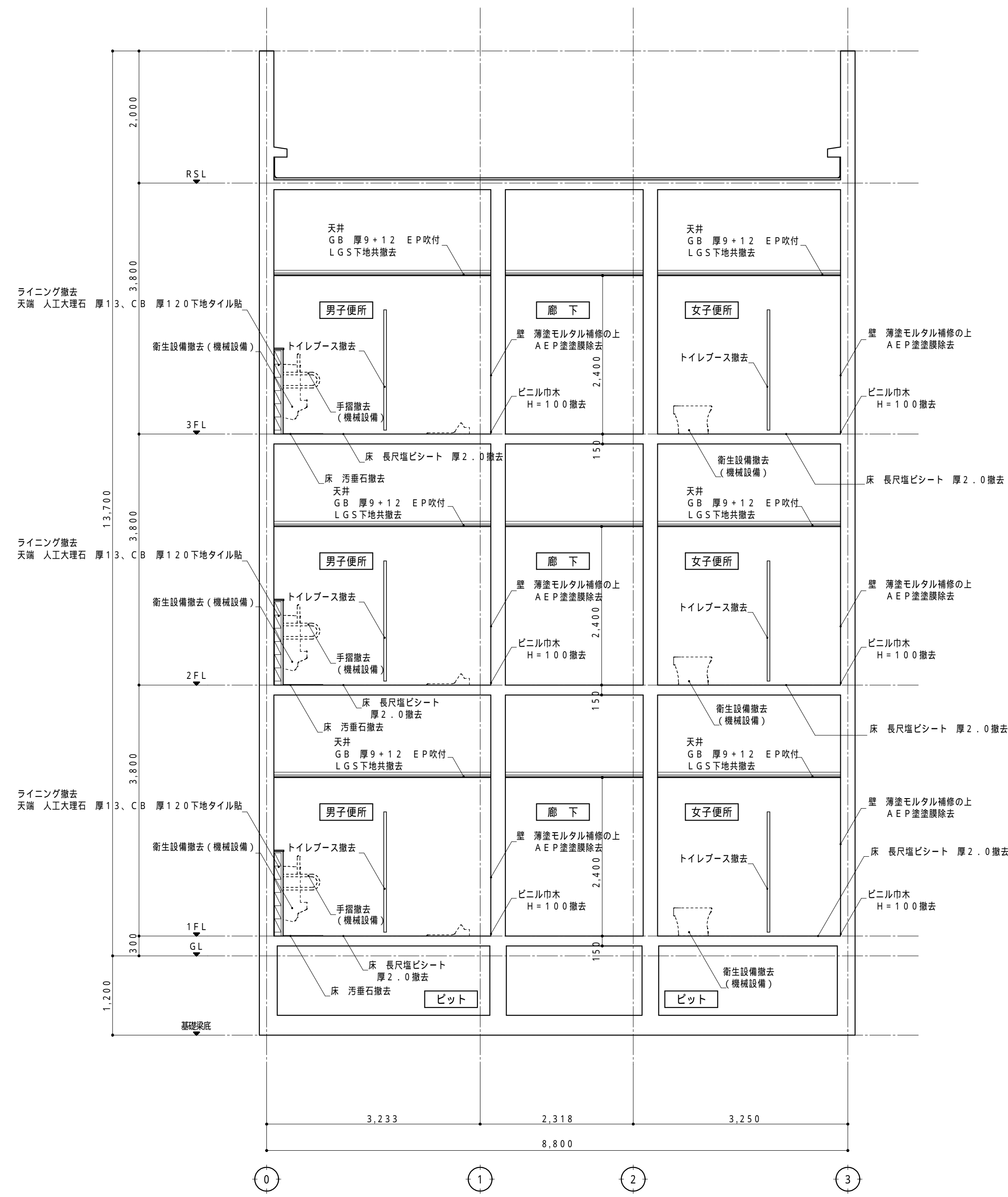
解体撤去範囲を示す



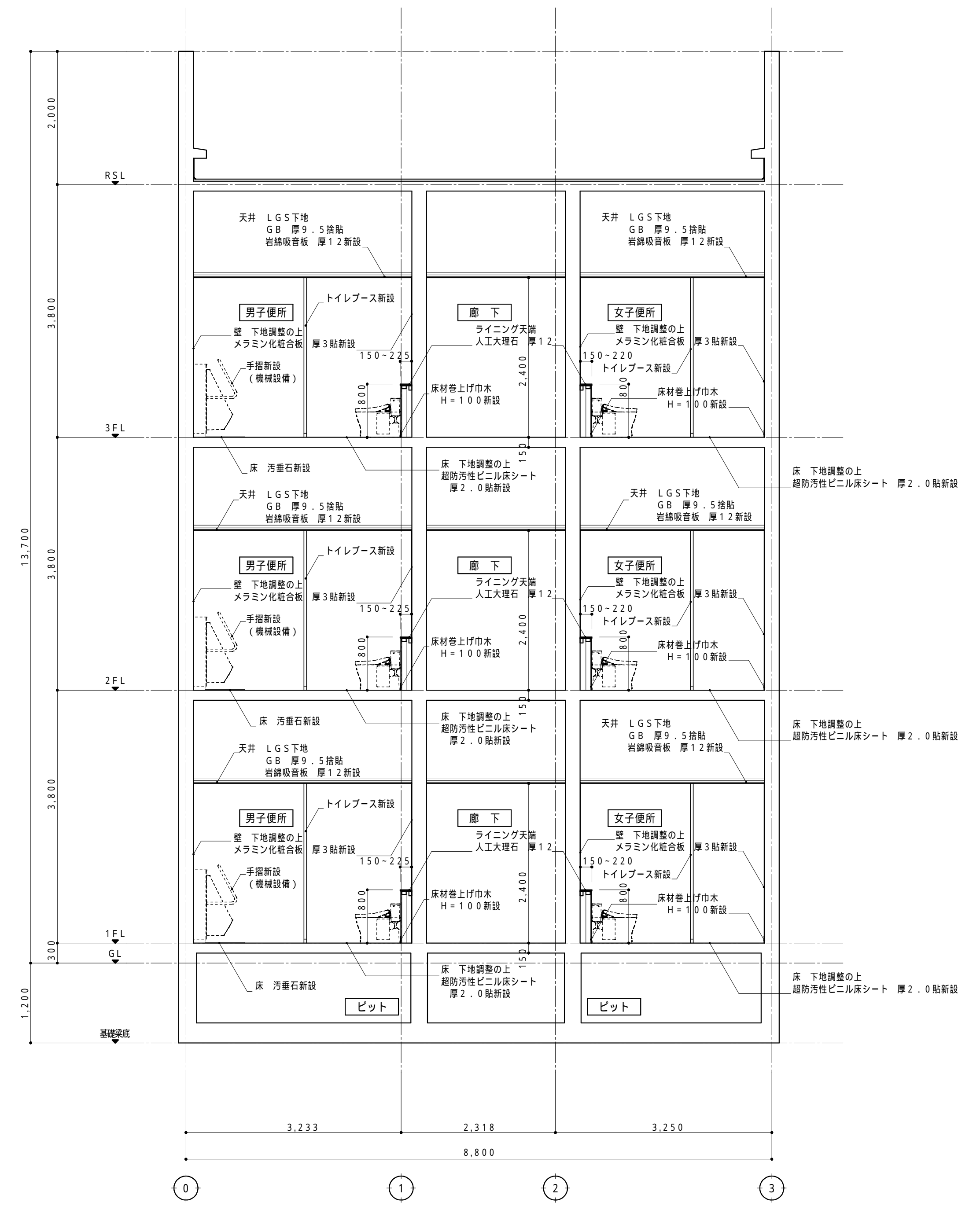
1-3階キープラン

1-3階天井伏図

- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角 (開口補強共) を示す
- 機械設備用天井開口 (開口補強共) を示す (寸法は図示)
- 電気設備用天井開口 150 (開口補強共) を示す

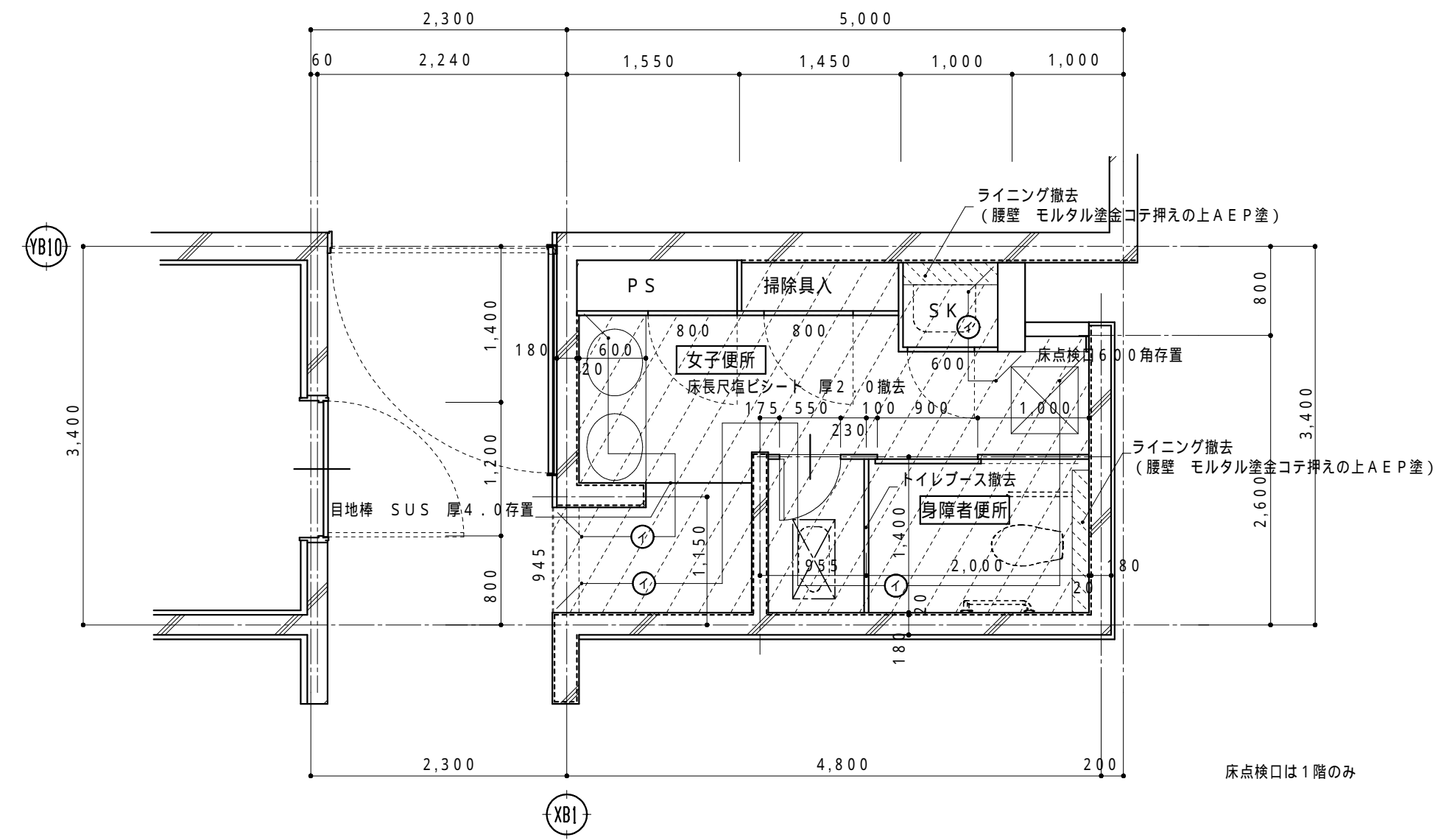


B1 矩計図 (改修前) 1:50



B1 矩計図 (改修後) 1:50

ライニング撤去後の壁面は薄塗モルタル補修とする

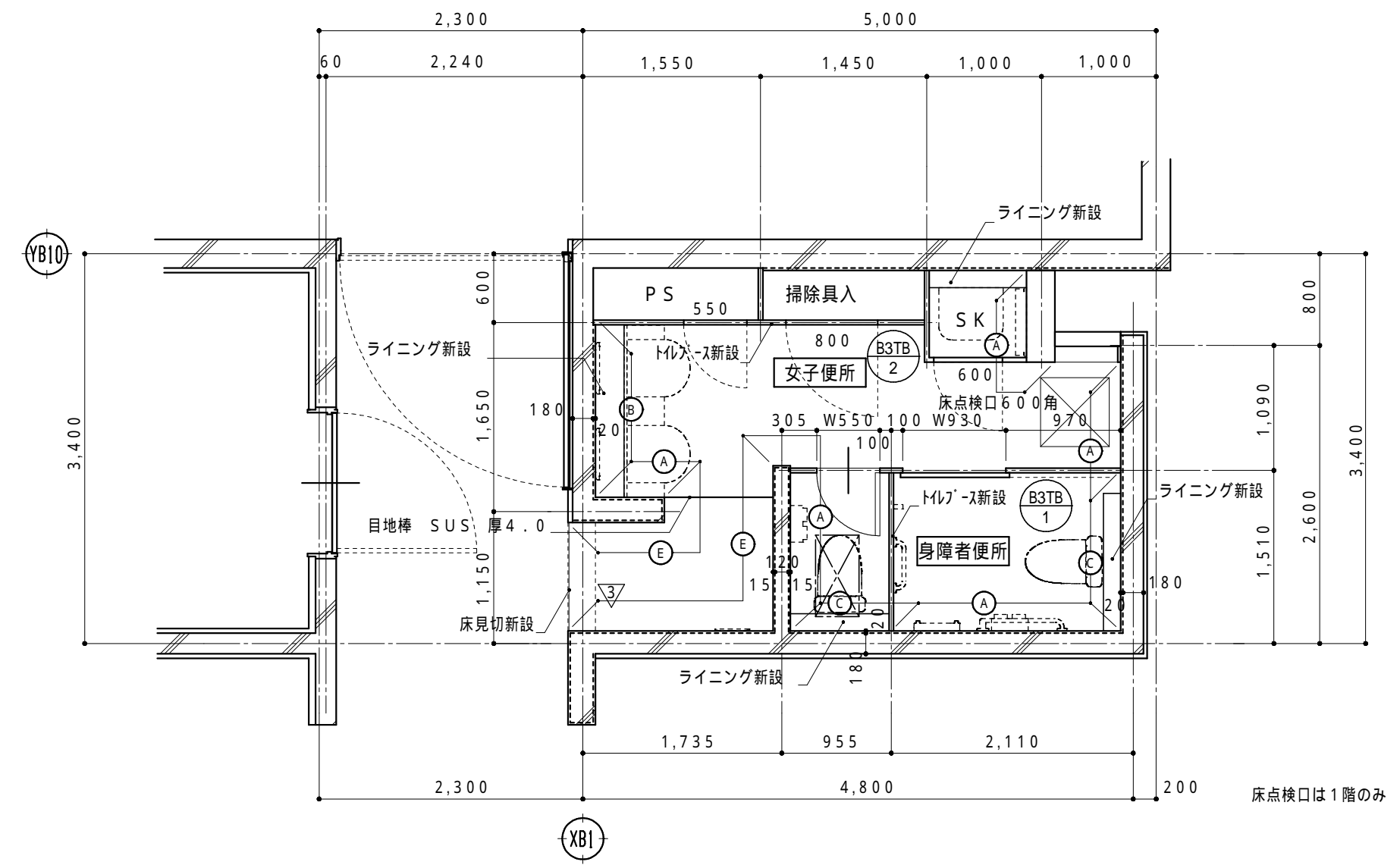


B3 1~3階便所平面詳細図(改修前)

略号表示
 ① AEP塗(塗膜除去)

解体撤去範囲を示す
 シンク 壁壁撤去: 天端人工大理石、CB 厚120下地
 和便器撤去部
 コック+パイプ 厚160折り撤去
 (710×380)を示す(四角カッター切)

トイレ-ス全撤去、洗面カウンター撤去
 衛生器具等撤去(機械設備)
 (衛生陶器、配管、手摺、鏡)
 照明器具等撤去(電気設備)
 仮設間仕切壁(LGS50 GB-R t12.5程度)、
 工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事



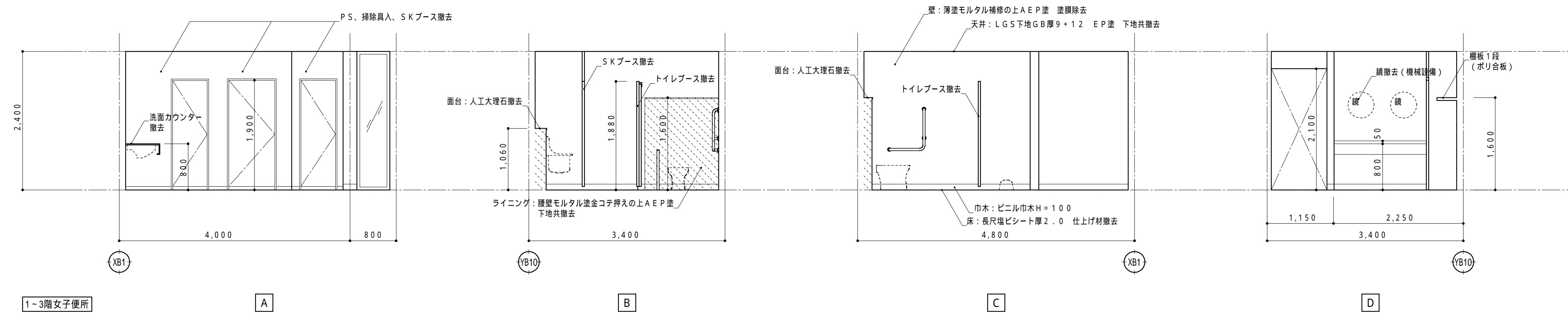
B3 1~3階便所平面詳細図(改修後)

略号表示
 ① 壁下地調整の上マニ化紙合板 厚3貼(一般色)(新設)
 ② 壁下地調整の上マニ化紙合板 厚3貼(指定色)(新設)
 ③ 壁下地調整の上マニ化紙合板 厚3貼(柄)(新設)
 ④ 壁下地調整の上EP塗

ライニング新設
 1500×250×H 900
 850×150×H 1100
 1200×150×H 800
 860×150×H 800

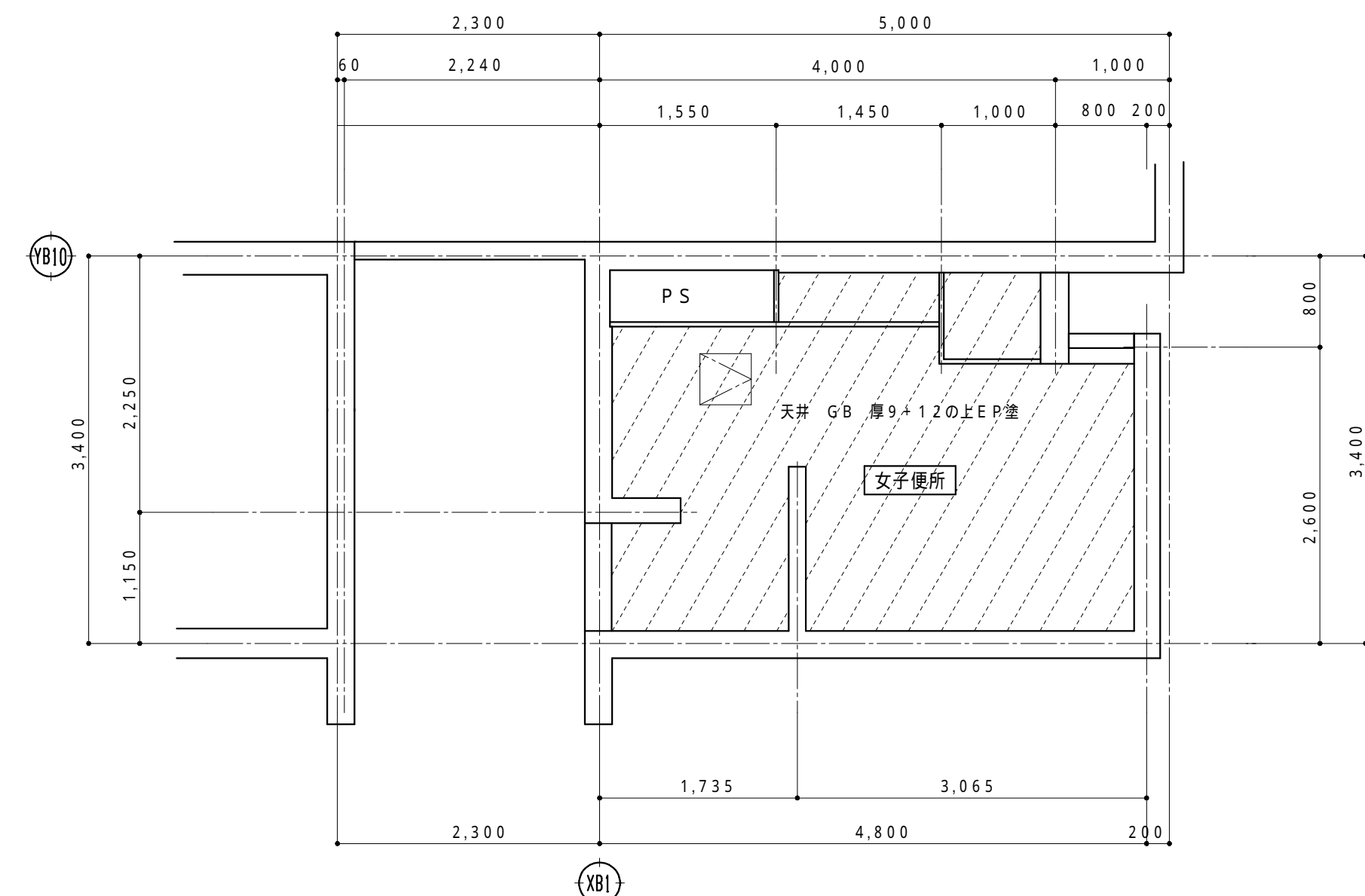
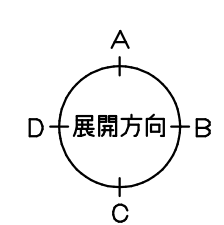
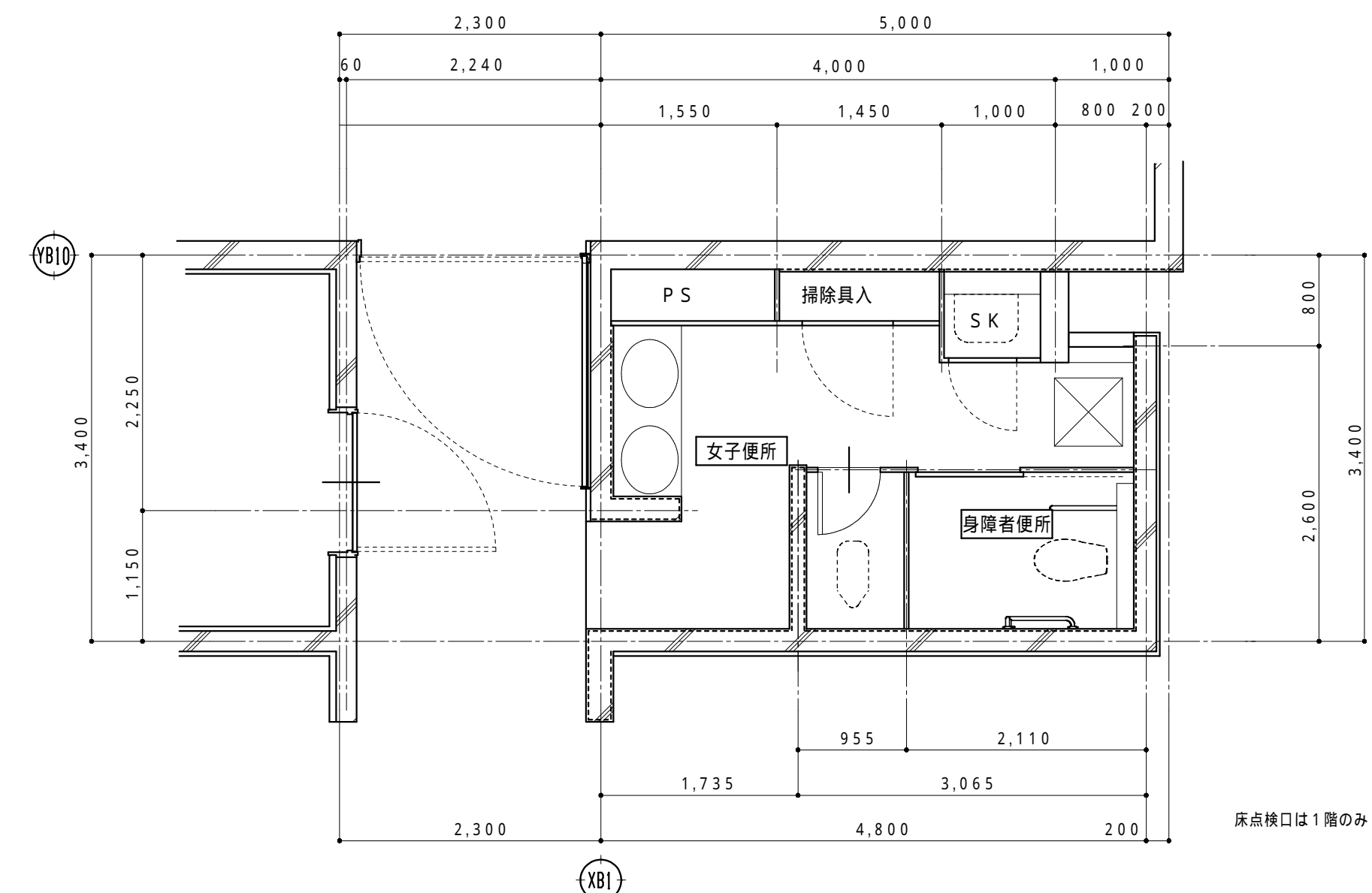
△ サイン設置位置を示す(サイン詳細参照)
 和便器撤去部開口閉塞(710×380)
 コック+パイプ(21N/A3)厚160直挿入
 後施工アンカー(差筋アンカー D13
 薬液固定型)@200(1カ所につき14本)

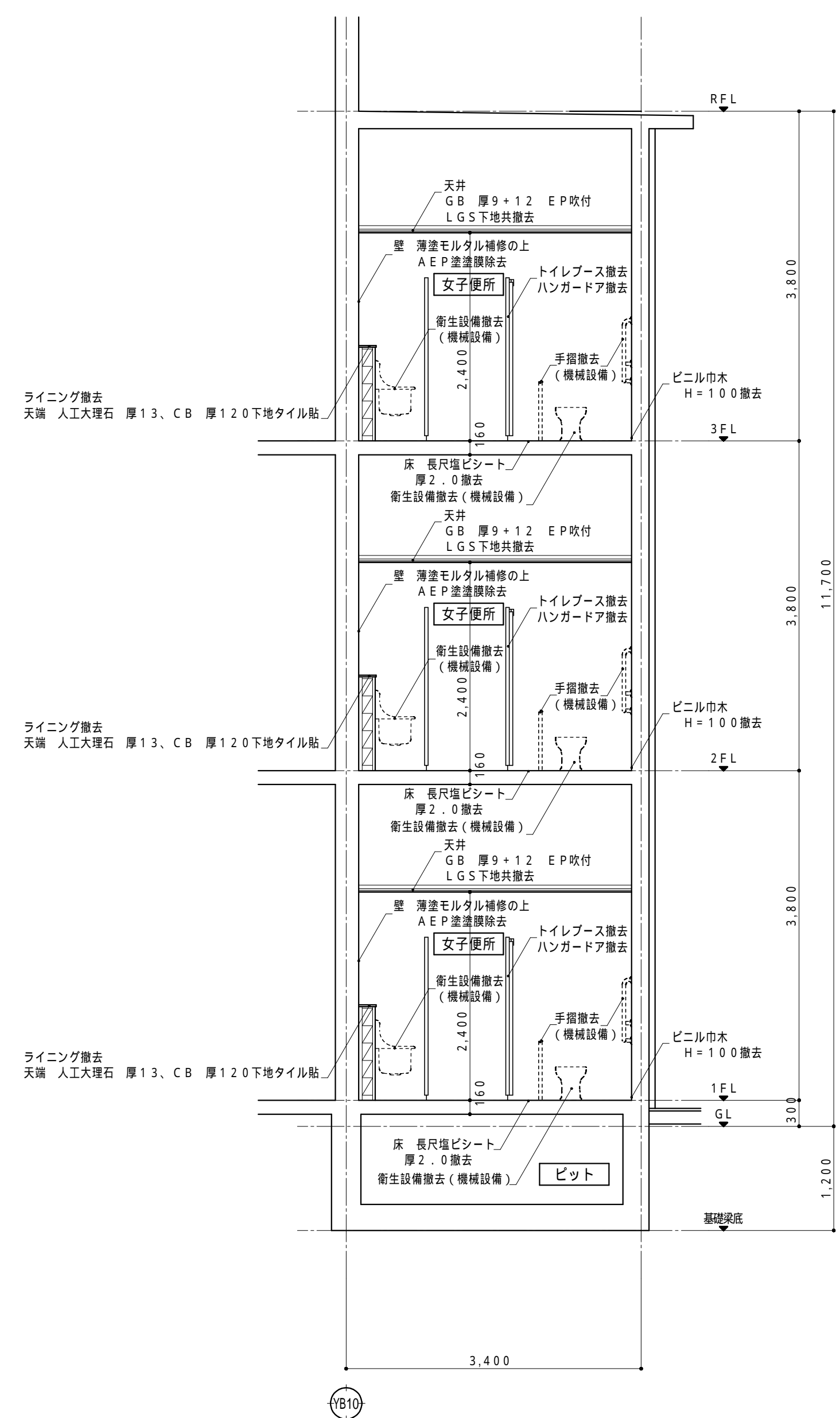
内部仕上表																			
階数	室名	改修前	改修後	床高		床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁		室名	備考
				基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上		
1階 2階 3階	女子便所	改修前	±0	2,400	C	ビニル床シート 厚2.0貼(撤去)	ビニル巾木 H=100(撤去)	MO	AEP塗(下地モルタル共撤去)	MO, LGS	AEP塗(塗膜除去)、GB 厚12の上AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9+12 EP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	女子便所	建築: トイレ-ス撤去、洗面カウンター撤去、シンク+CB撤去 機械設備: 衛生器具、手摺、鏡撤去 建築: シンク+天板 入口大理石甲板t12、トイレ-ス新設 機械設備: L型手摺			
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニル床シート t=2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	マニ化紙合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9・5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)					
下地凡例				防火材料認定番号(認定番号は参考)										特記事項					
C	コンクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585				床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。	天井点検口450角を適宜設けること。	天井点検口 内部450角とする。						
MO	モルタル塗					石膏板-ド(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828				塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。	マニ化紙合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。	手洗、SK部ライニング隔壁 シンク+GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化紙合板 厚3貼(一般色)						
LGS	軽量鉄骨下地					石膏板-ド(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619				マニ化紙合板貼端部及び巾木取合部には7&12製見切りを取り付けること。	内装仕上げ材は、F 仕様とする。	大便器部ライニング隔壁 シンク+GB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化紙合板 厚3貼(柄)						
CB	コンクリートブロック					岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599				衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替えて構造用合板にて補強を行うこと。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F 仕様とする。							
SL	セムレベリング					マニ化紙合板 厚3.0	不燃 NM-2183												
W	木下地																		
令和6年 3月 日 滋賀県立大学財務課															株式会社 総合設備コンサルタント		工事名称 滋賀県立大学B棟トイレ改修前工期工事 図面名称 B3 1~3階便所平面詳細図(改修前・改修後) S = 1/50 図面No. A-13 設計日 2024年3月		



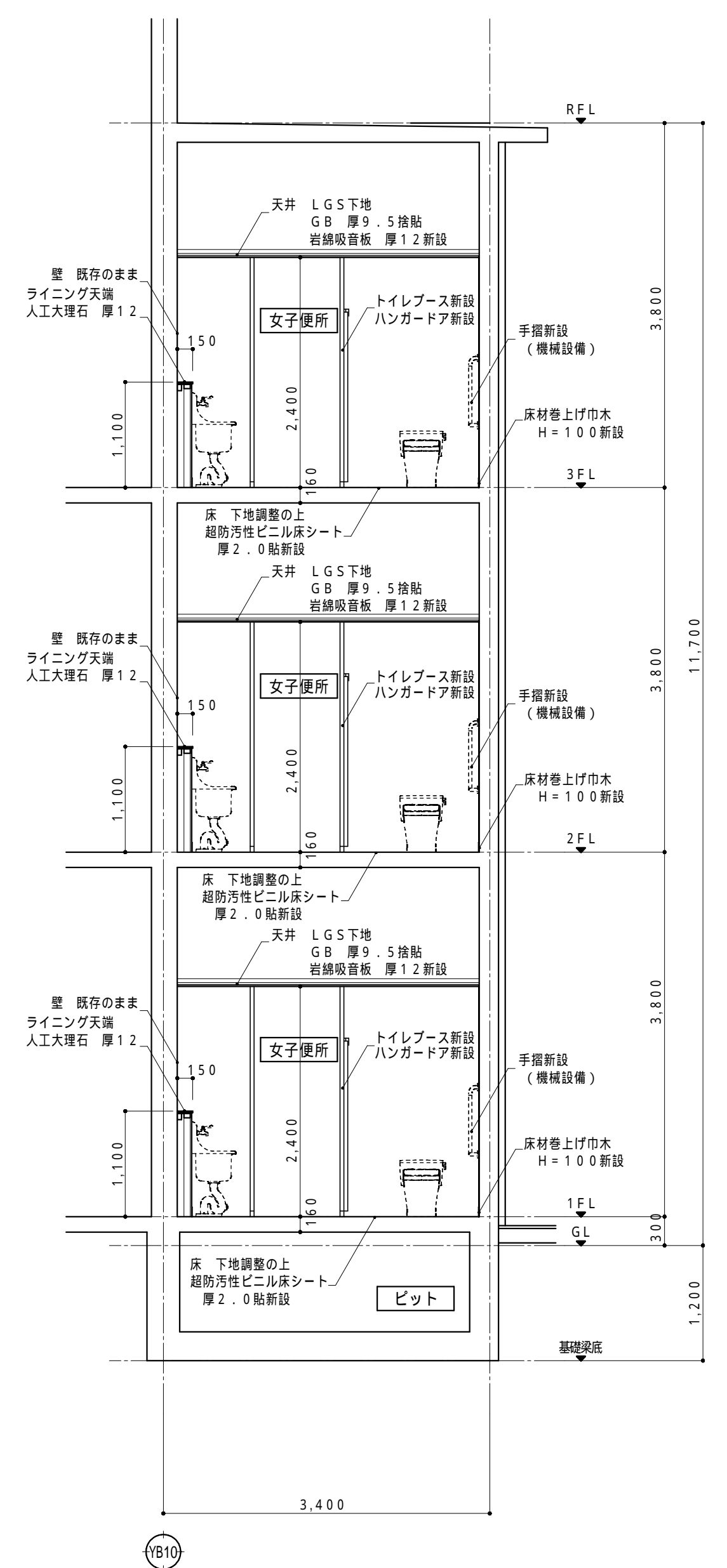
ライニング 腰壁撤去：天端人工大理石、CB 厚120下地

トイレベースは全撤去、洗面カウンター撤去
 衛生器具等撤去(機械設備)
 (衛生陶器、配管、手摺、鏡)
 照明器具等撤去(電気設備)

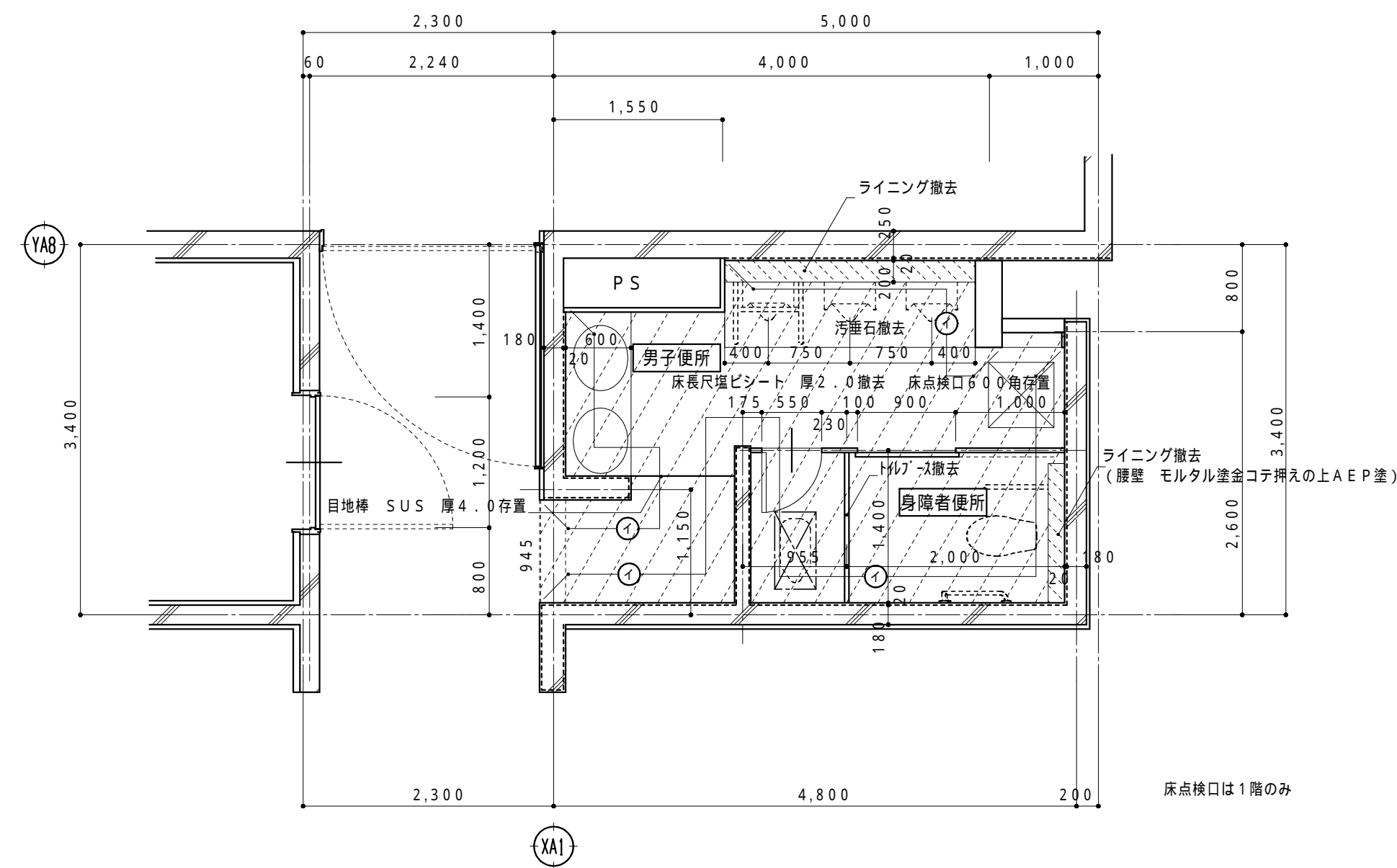




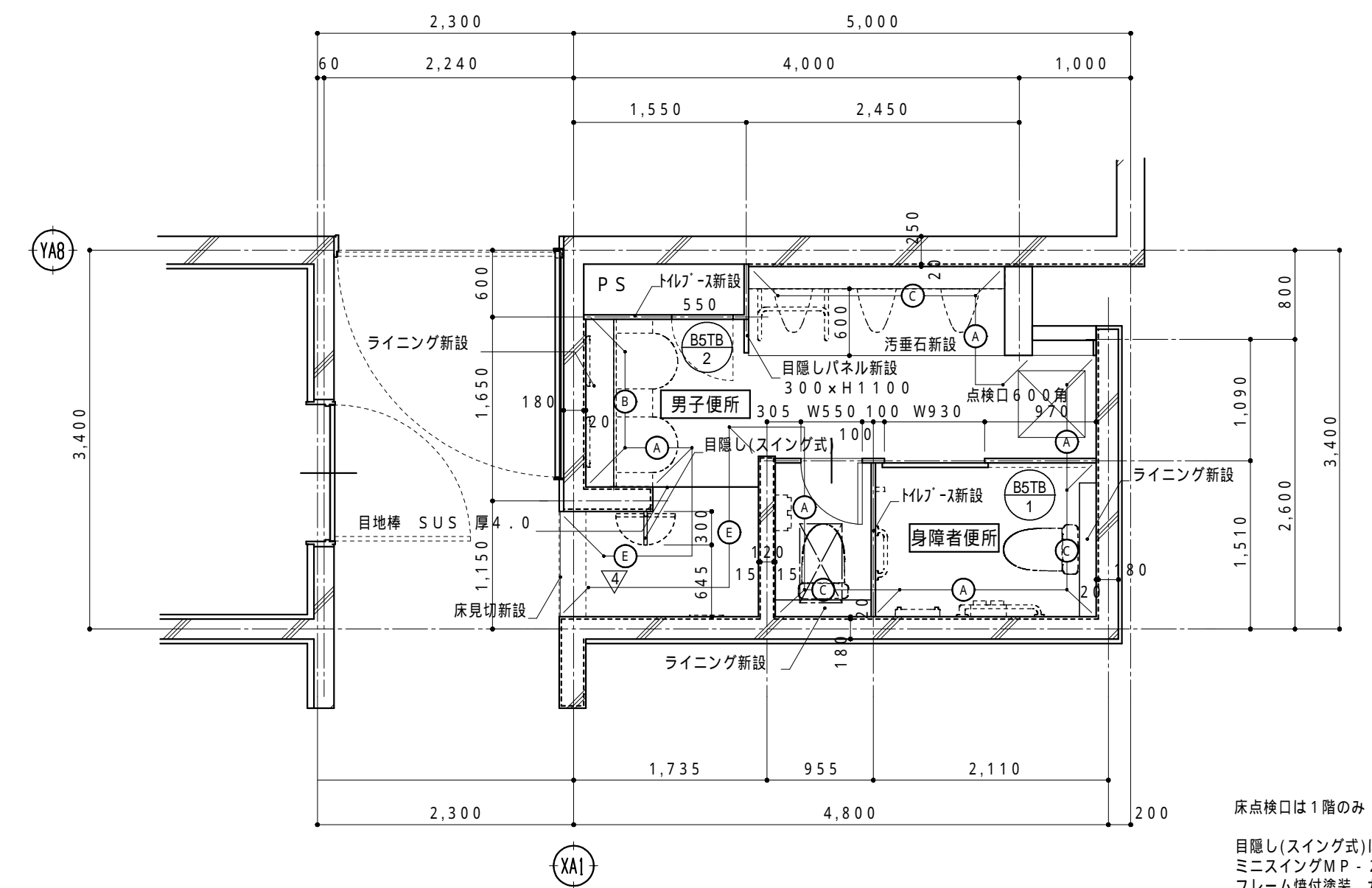
B3 矩計図 (改修前) 1:50



ライニング撤去前の壁面は薄塗モルタル補修とする
B3 矩計図 (改修後) 1:50



B5 1~3階便所平面詳細図(改修前)



B5 1~3階便所平面詳細図(改修後)

トイレ全撤去、洗面カウンター撤去
 衛生器具等撤去(機械設備)
 (衛生陶器、配管、手摺、鏡)
 照明器具等撤去(電気設備)
 仮設間仕切壁(LGS50 GB-R t12.5程度)、
 工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事

略号表示
 ● AEP塗(塗膜除去)

斜線撤去範囲を示す
 シンク 壁壁撤去:天端人工大理石、GB 厚120下地 4枚張
 和便器撤去部
 コクハ-1337 厚160折り撤去
 (710×380)を示す(四周カッター切)

目隠し(スイング式)は機ユニフローの
 ミニスイングMP・2又は同等品とし、
 フレーム付塗装、カラーガラス貼(指定色)とする。

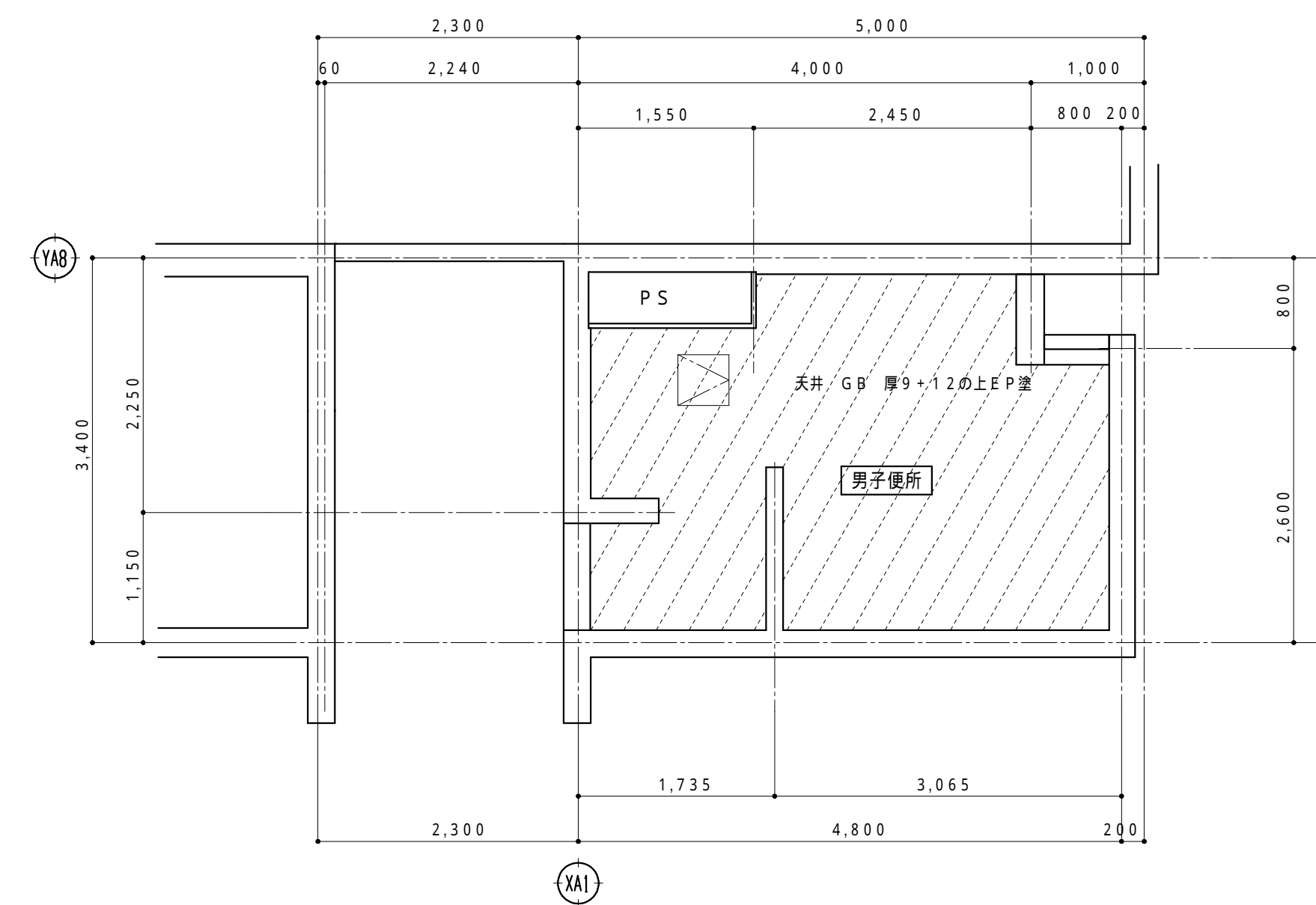
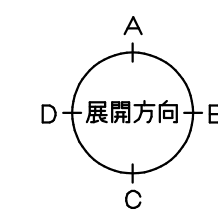
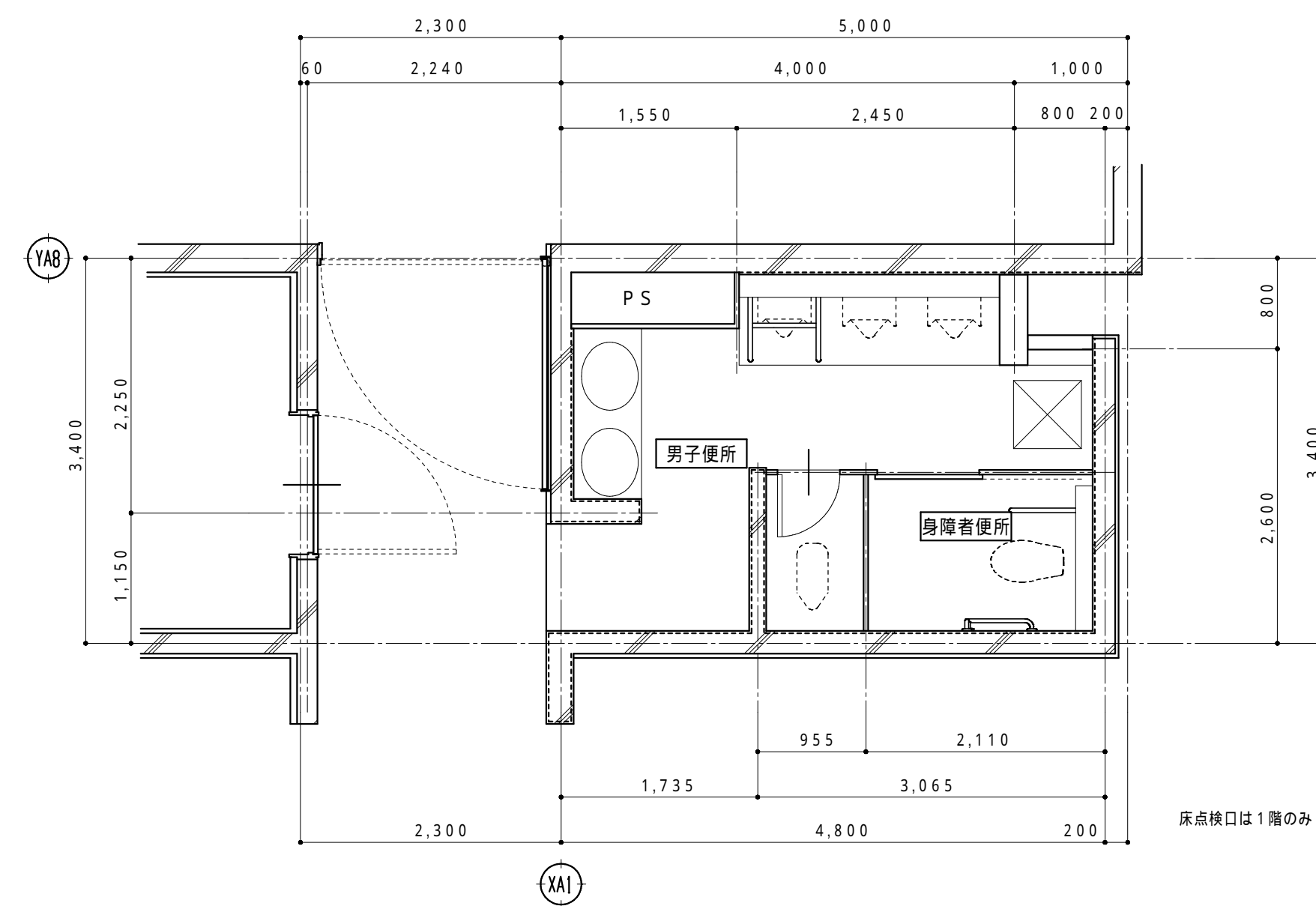
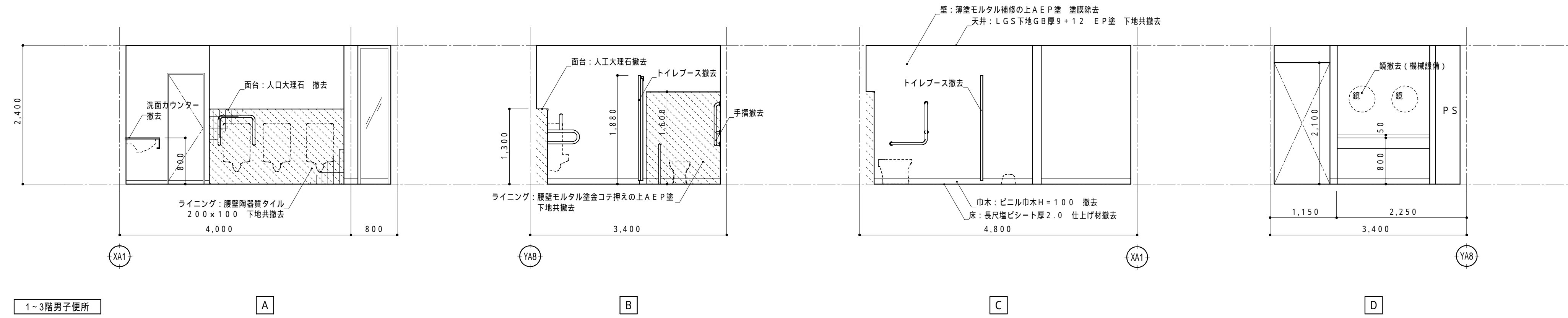
略号表示
 ● 壁下地調整の上マニ化板合板 厚3貼(一般色)(新設)
 ● 壁下地調整の上マニ化板合板 厚3貼(指定色)(新設)
 ● 壁下地調整の上マニ化板合板 厚3貼(柄)(新設)
 ● 壁下地調整の上EP塗

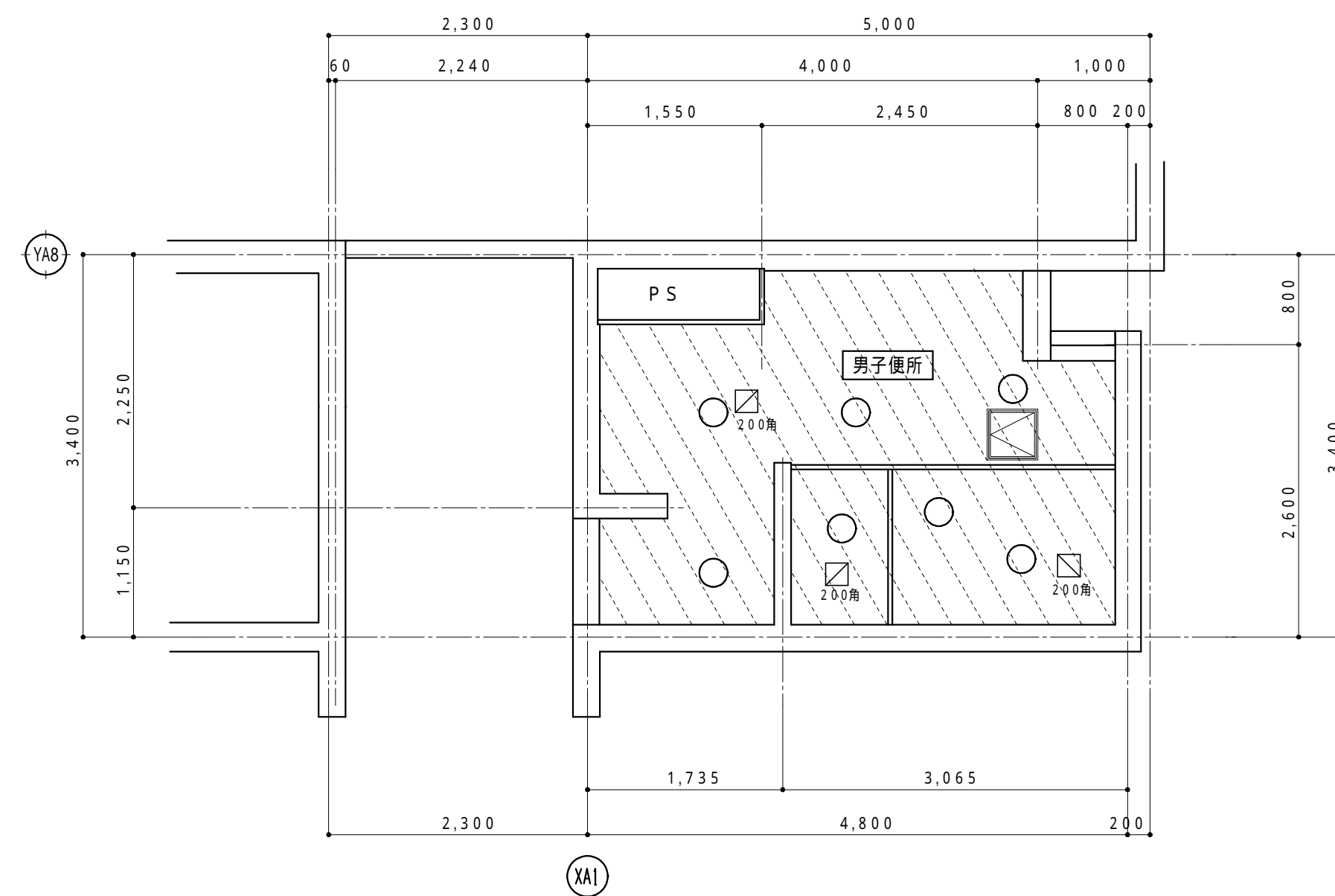
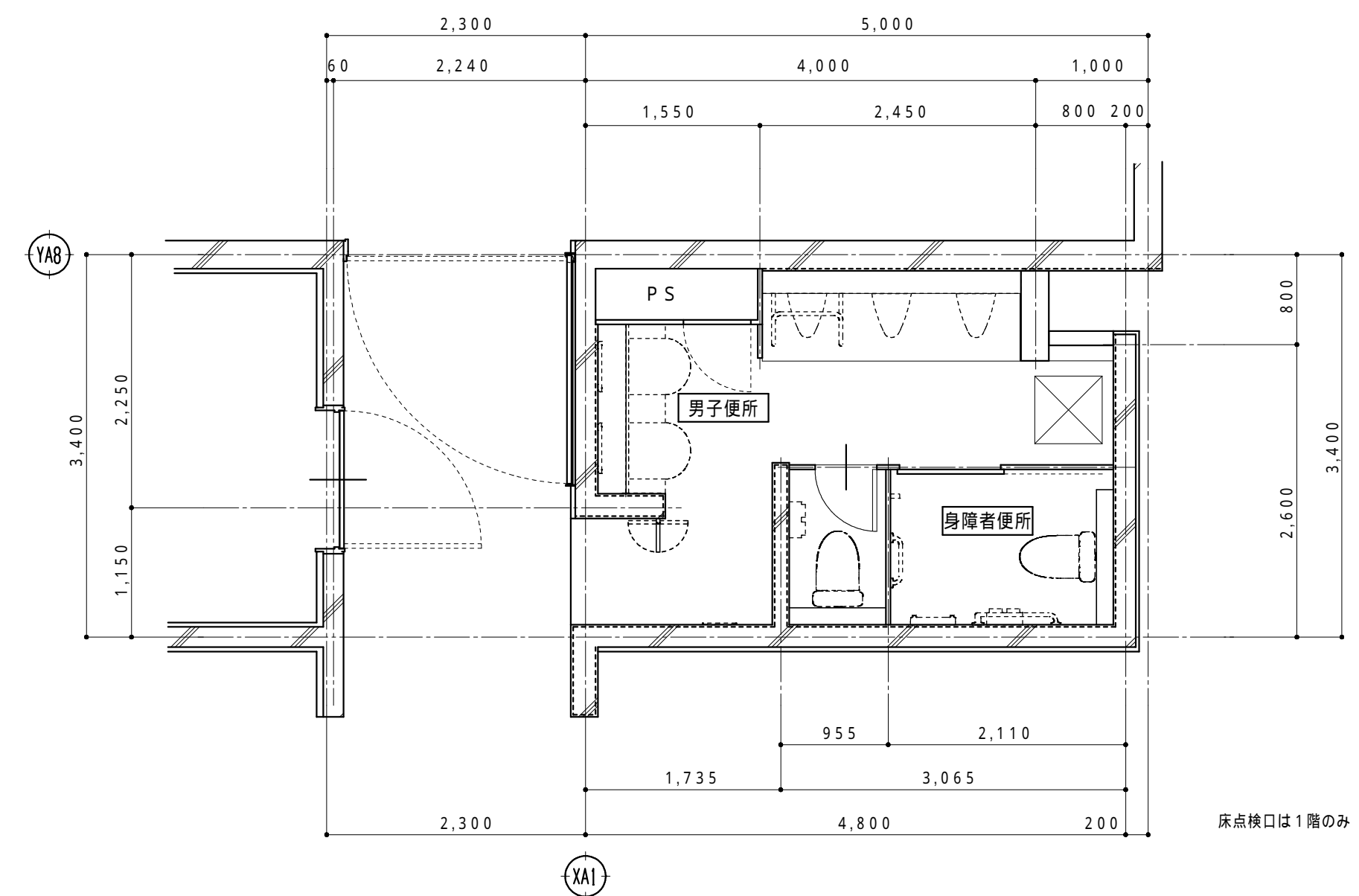
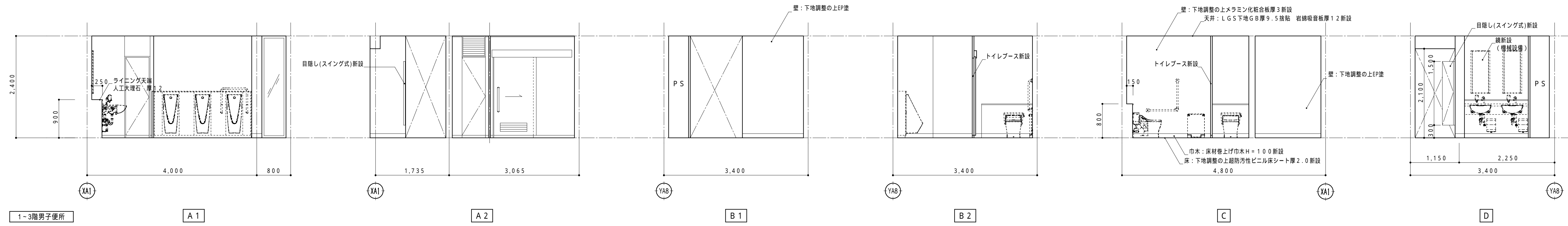
ライニング新設
 1500×250×H 900
 1200×150×H 800
 860×150×H 800

△ サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)

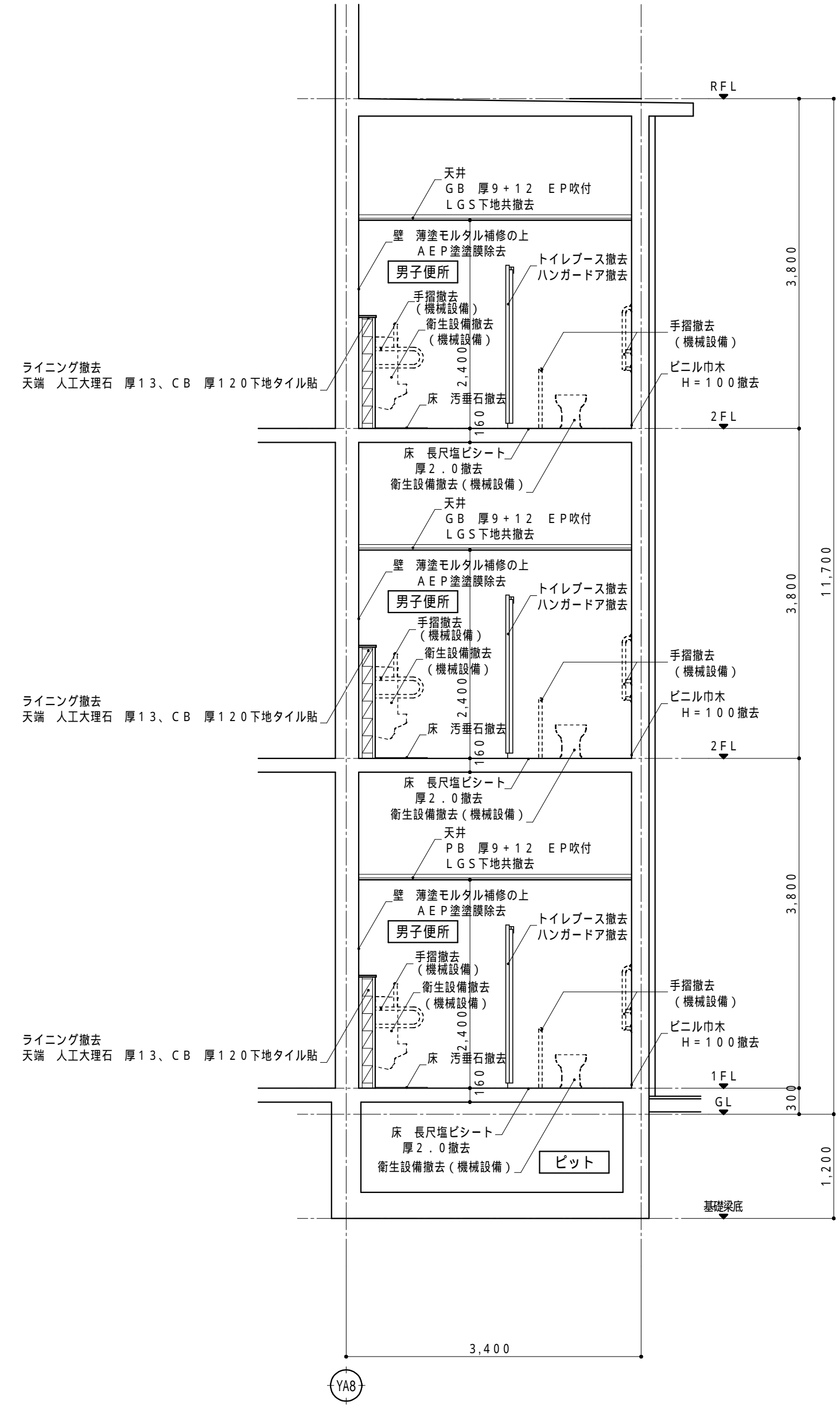
和便器撤去部開口間寸(710×380)
 コクハ-121N/n3厚160直挿入
 後施工アンカー(差筋アンカー D13
 薬液固定型)@200(1カ所につき14本)

内部仕上表																	
階数	室名		床高		床		巾木		腰壁		壁		天井		廻り縁	室名	備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上			
1階 2階 3階	女子便所	改修前	±0	2,400	C	ビニ床シート 厚2.0貼(撤去) 汚垂石 掃帚壁が体張(撤去)	ビニ巾木 H=100(撤去)	MO	AEP塗(下地モルタル共撤去)	MO、LGS	AEP塗(塗膜除去)、GB 厚12の上AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9+12 EP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	男子便所	建築:トイレ全撤去、洗面カウンター撤去、シンクCB積撤去 機械設備:衛生器具、手摺、鏡撤去 建築:シンク天板、入口大理石甲板t12、トイレ全撤去、目隠し(スイング式) 機械設備:L型手摺/小便器手摺	
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニ床シート 厚2.0貼(新設) 汚垂石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	マニ化板合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9・5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)			
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)					特記事項							
C	コンクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585			床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。	天井点検口450角を適宜設けること。	天井点検口 内部450角とする。					
MO	モルタル塗					石膏板・ド(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828			塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。	マニ化板合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。	手洗部ライニング腰壁 シンクGB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化板合板 厚3貼(一般色)					
LGS	軽量鉄骨下地					石膏板・ド(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619			マニ化板合板貼端部及び巾木取合部には7&12製見切りを取り付けること。	内装仕上げ材は、F 仕様とする。	大便器部ライニング腰壁 シンクGB 厚12.5貼下地調整の上メラミン化板合板 厚3貼(柄)					
CB	コンクリートブロック					岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599			衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F 仕様とする。						
SL	スリットレリング					マニ化板合板 厚3.0	不燃 NM-2183										
W	木下地																
<p>令和6年 3月 日 滋賀県立大学財務課</p> <p>株式会社 総合設備コンサルタント</p> <p>工事名称 滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事 図番No. A-17 図面名称 B5 1~3階便所平面詳細図(改修前・改修後) S = 1/50 設計日 2024年3月</p>																	

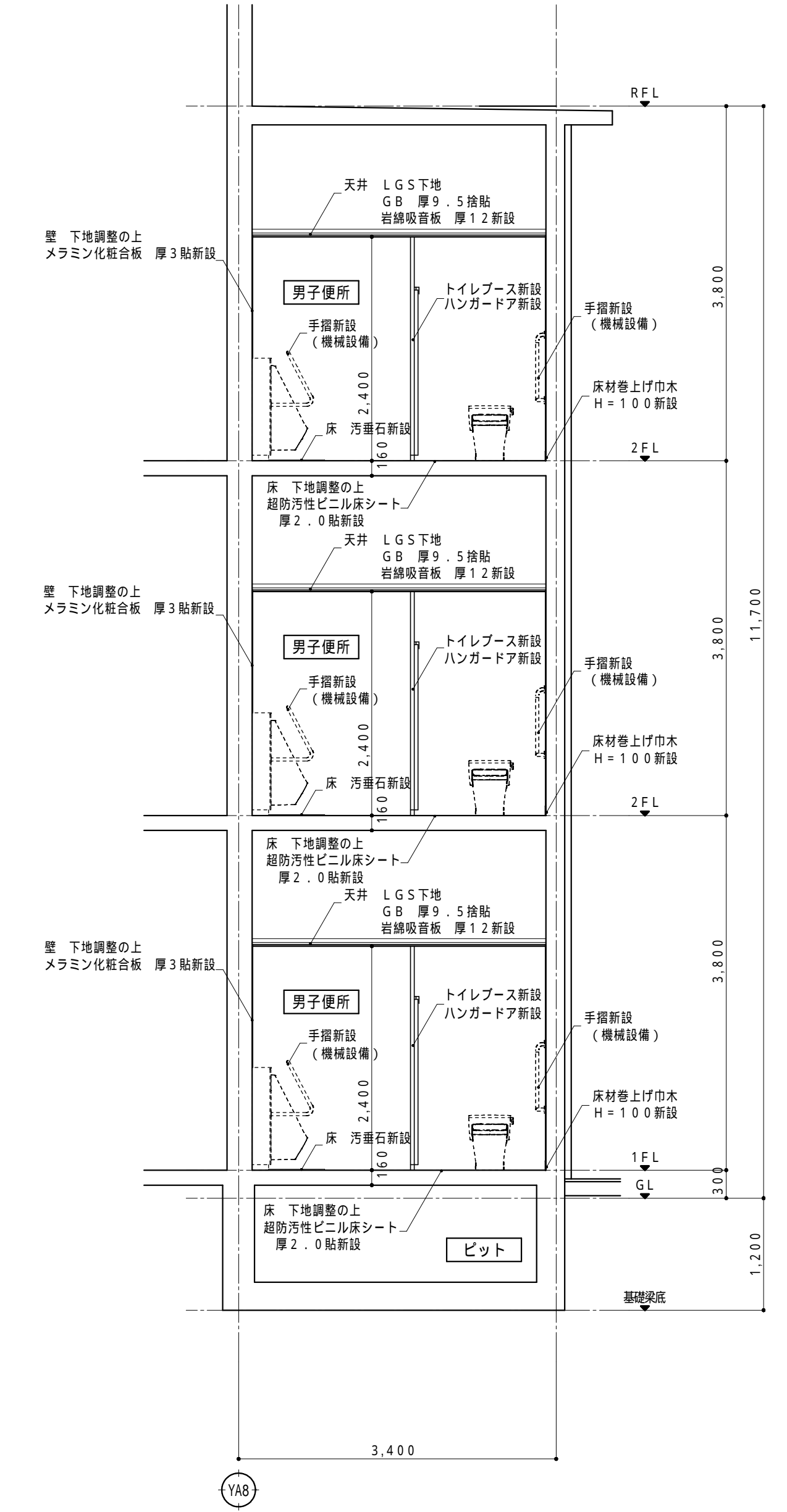




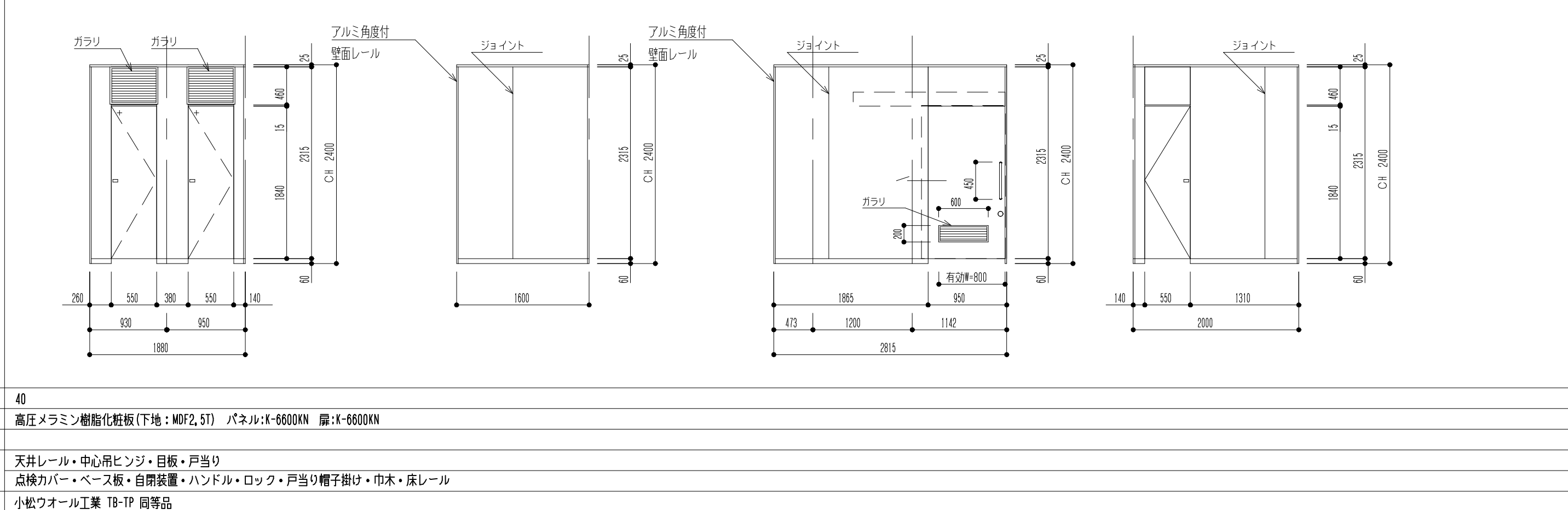
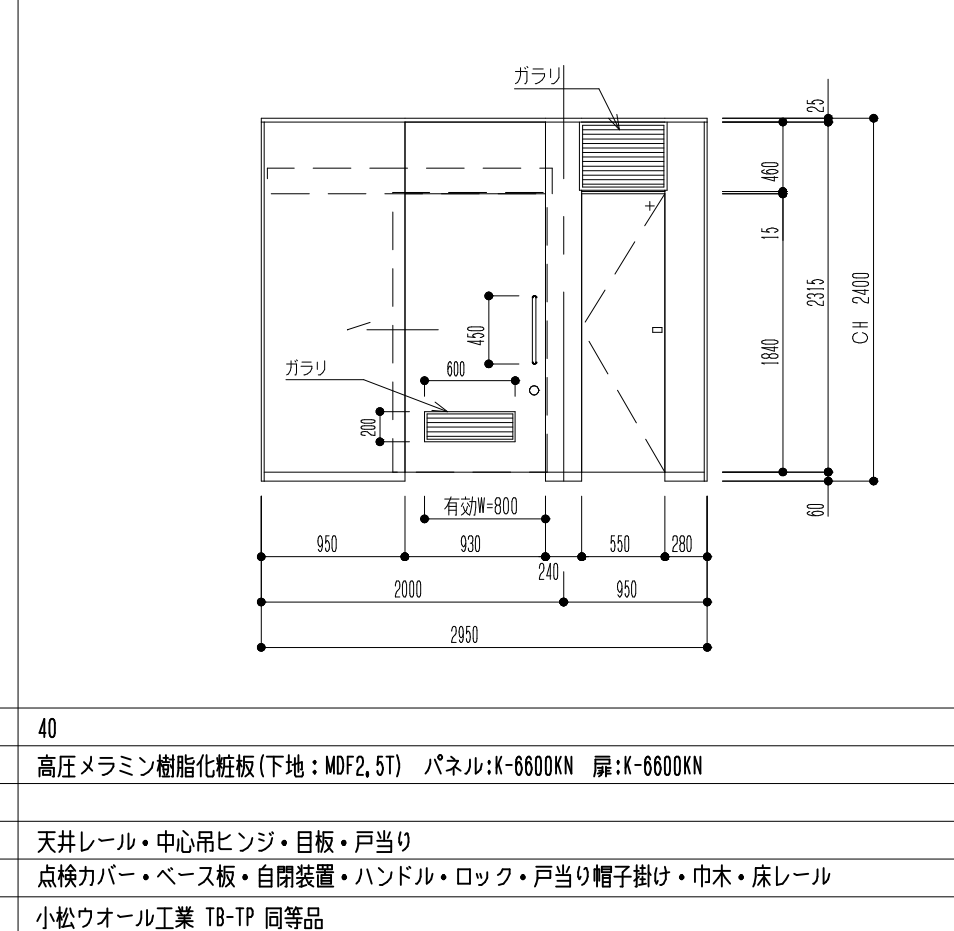
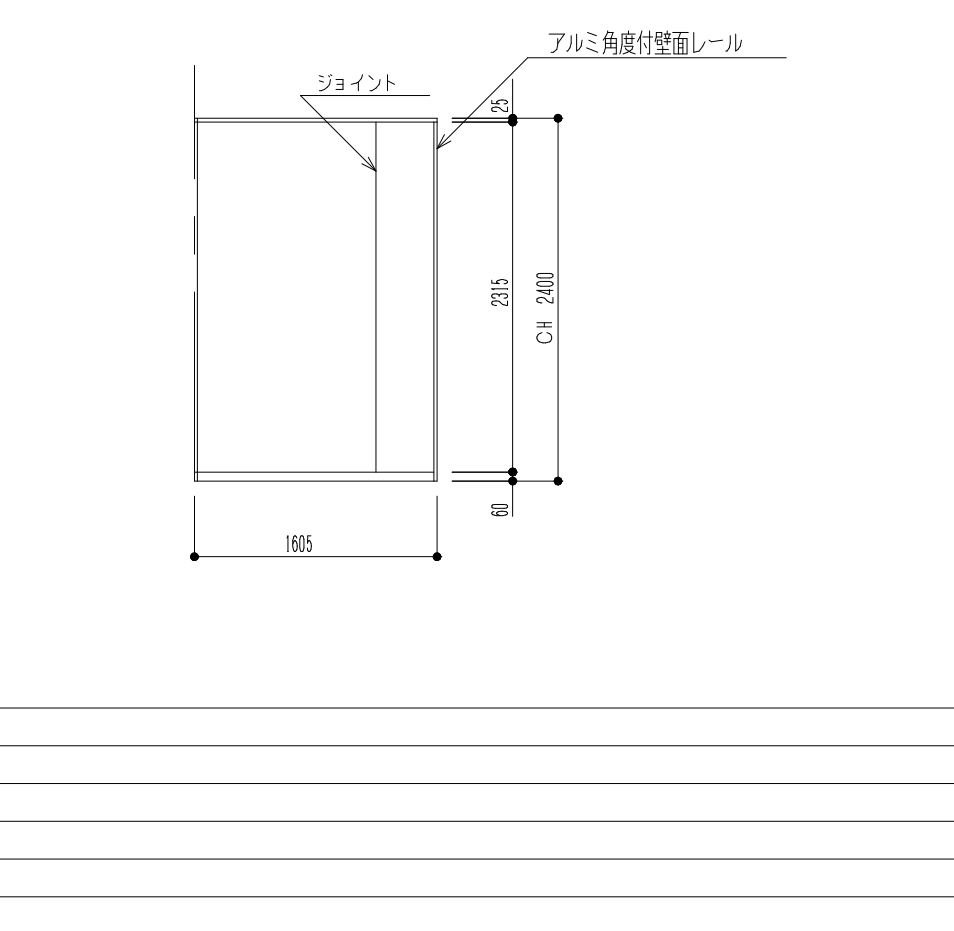
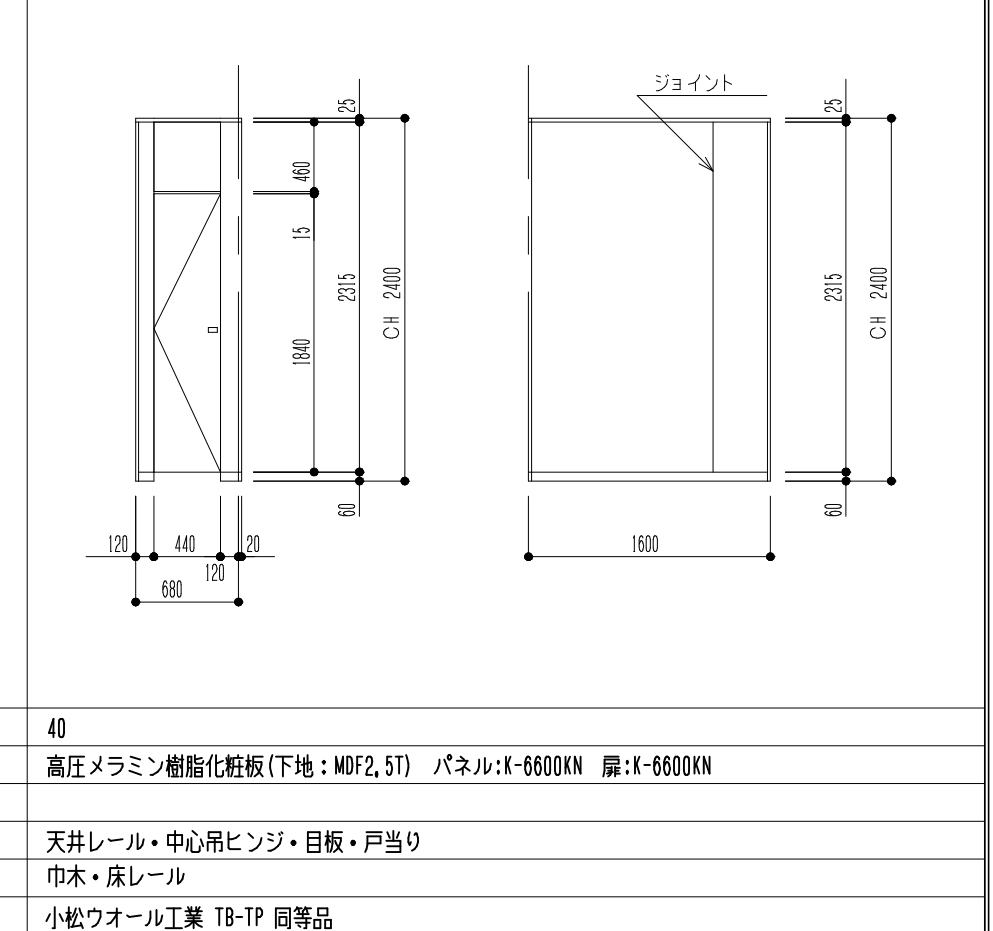
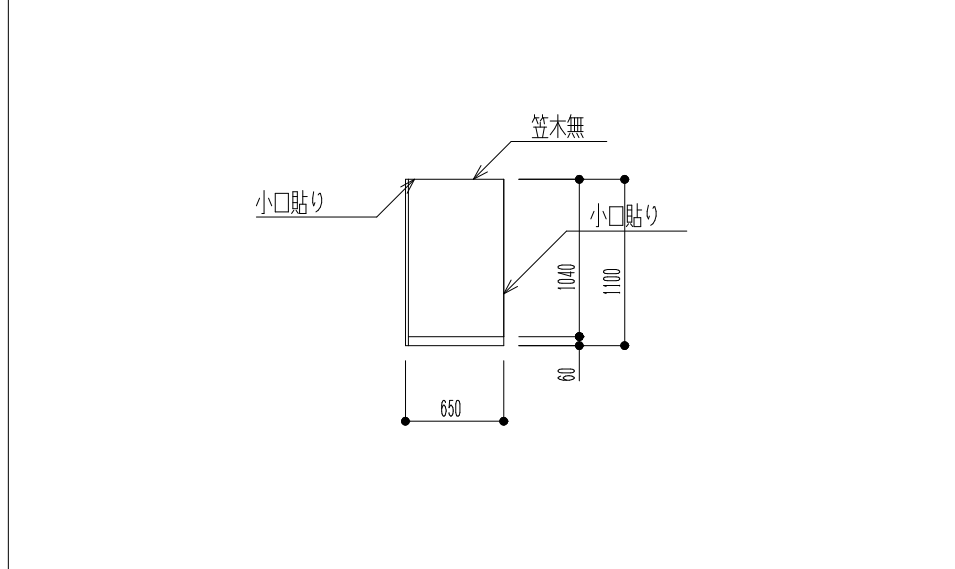
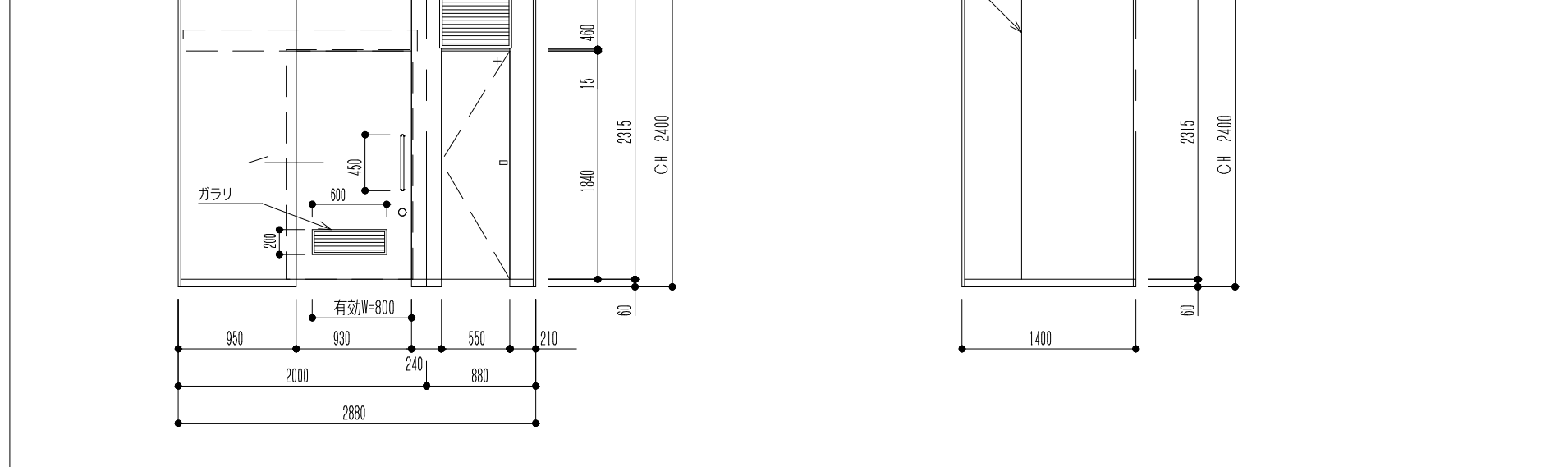
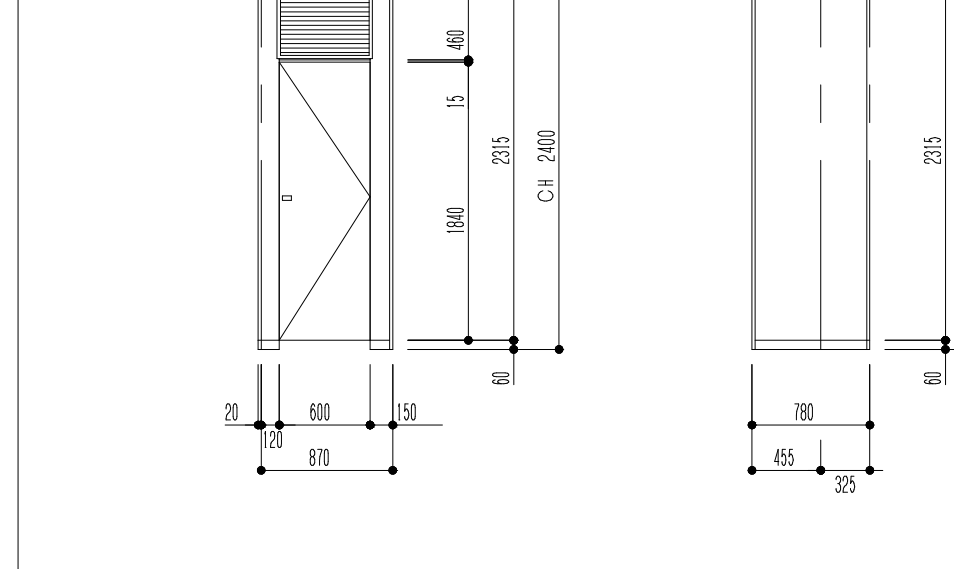
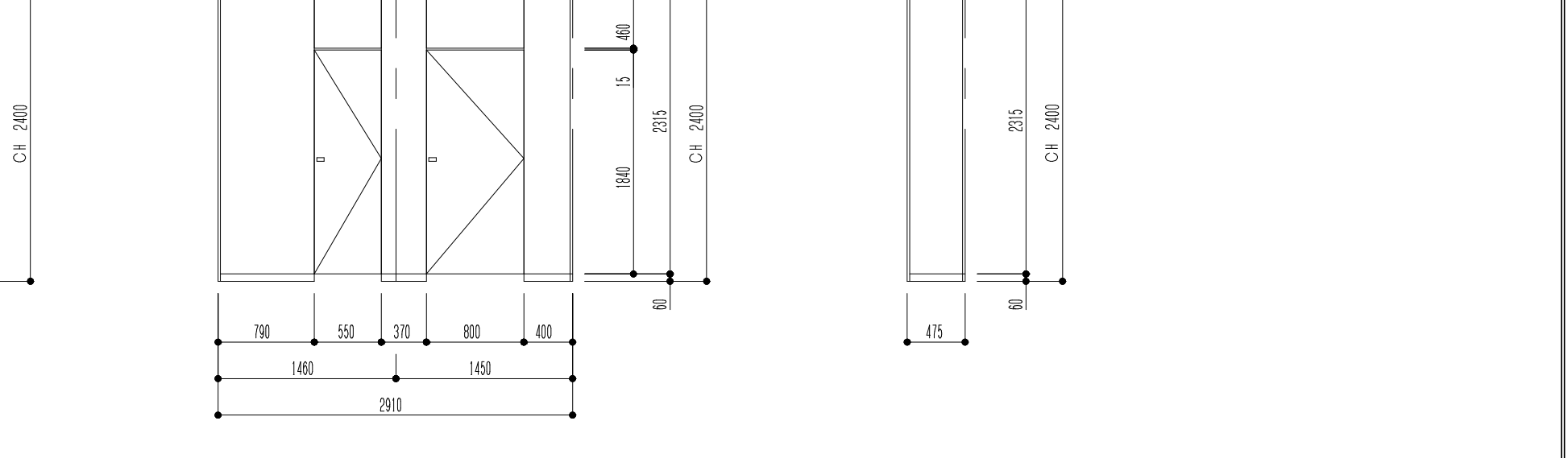
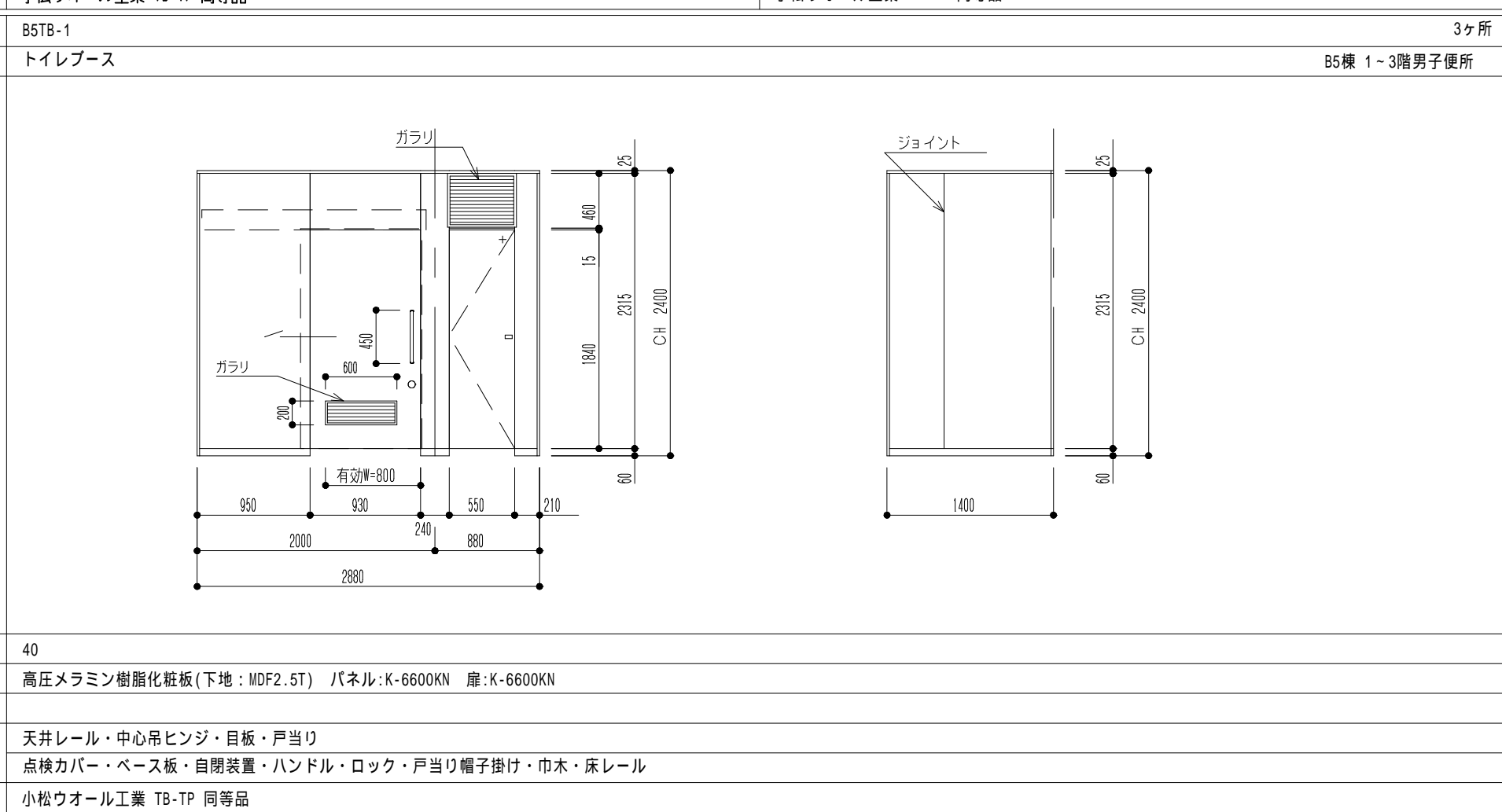
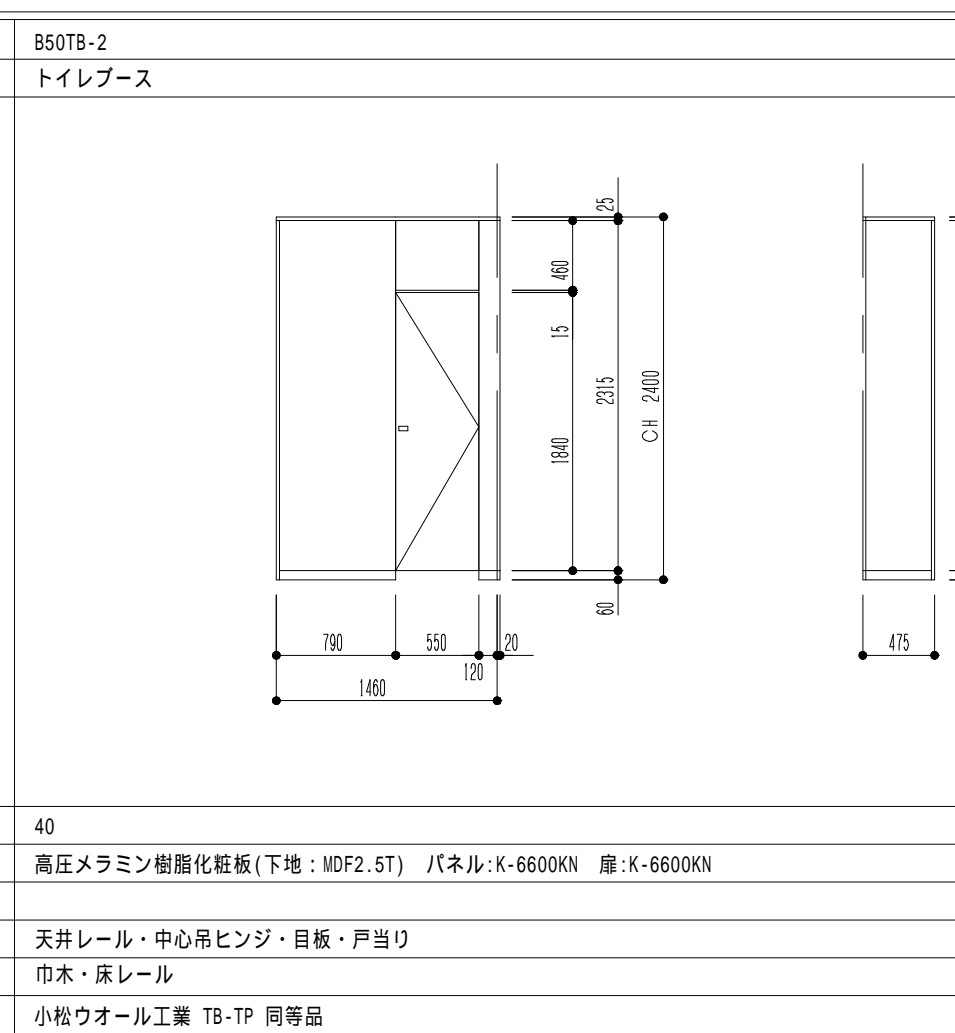
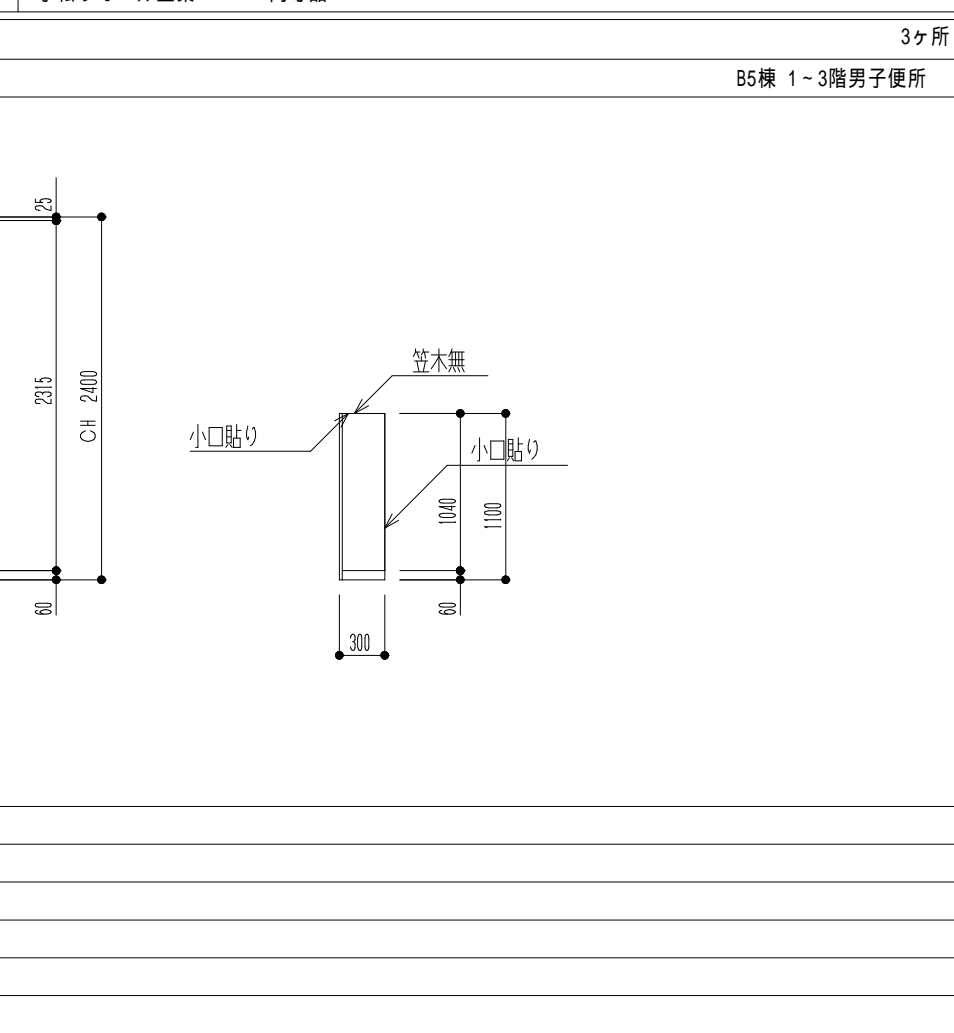

- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角(開口補強共)を示す
- 機械設備用天井開口(開口補強共)を示す(寸法は図示)
- 電気設備用天井開口 150(開口補強共)を示す



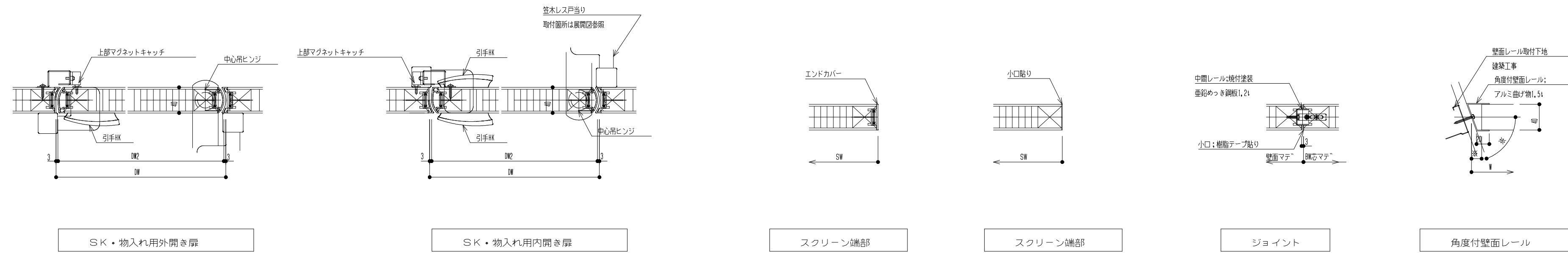
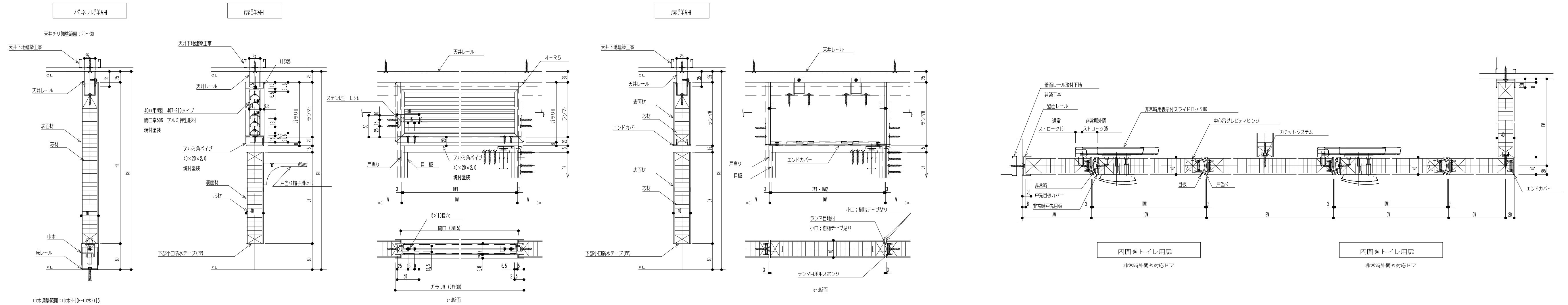
B5 矩計図 (改修前) 1:50



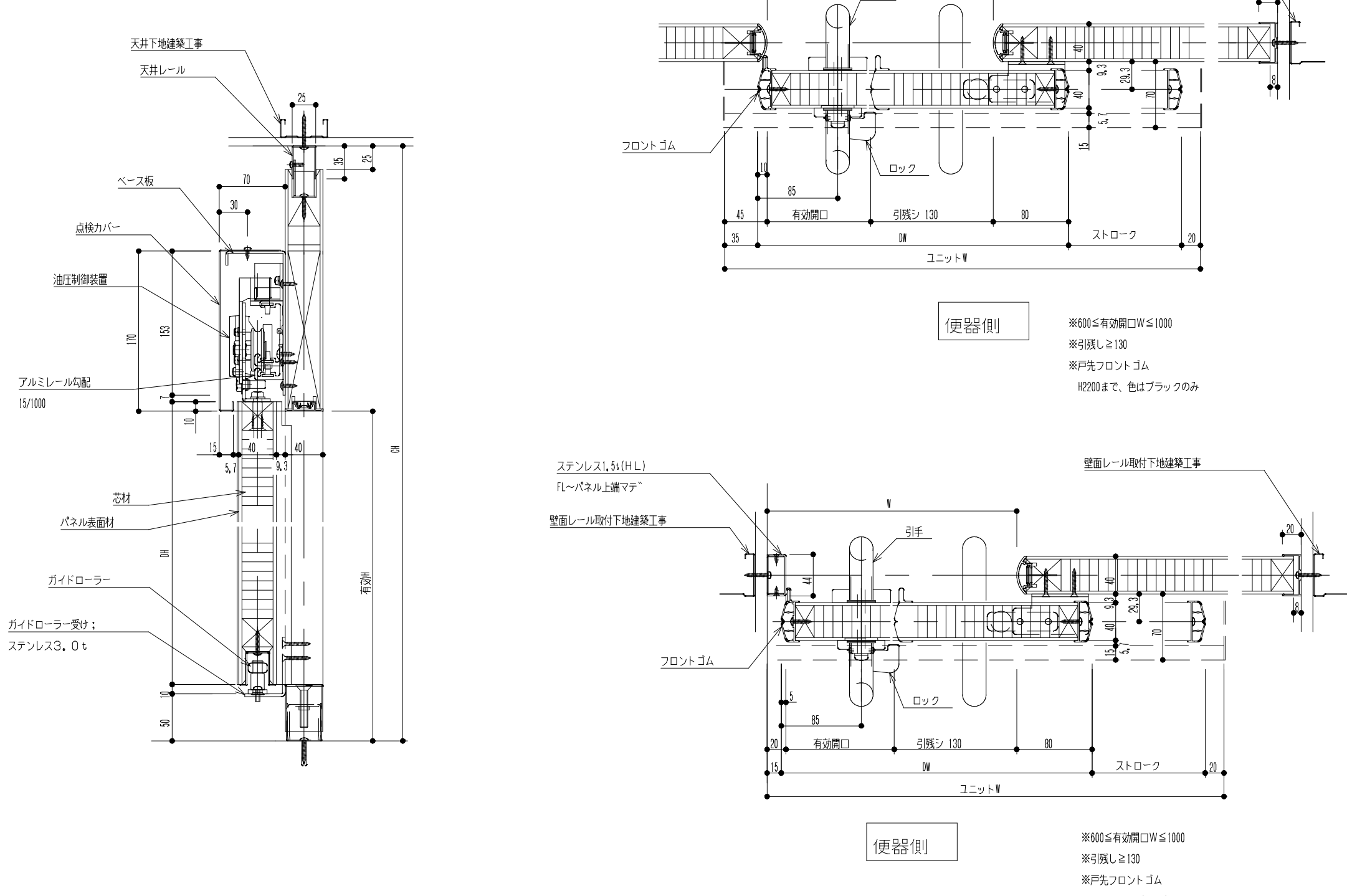
ライニング撤去前の壁面は薄塗モルタル補修とする
B5 矩計図 (改修後) 1:50

符 合 数 量 形 式 使 用 箇 所	B1TB-1 トイレブース	3ヶ所 B1棟 1~3階女子便所	B1TB-2 トイレブース	3ヶ所 B1棟 1~3階男子便所
姿 図				
見 込	40	40	40	40
材 質 仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN
ガ ラ ス	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール
備 考	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品
符 合 数 量 形 式 使 用 箇 所	B1TB-4 トイレブース	3ヶ所 B1棟 1~3階男子便所	B3TB-1 トイレブース	3ヶ所 B3棟 1~3階女子便所
姿 図				
見 込	40	40	40	40
材 質 仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN
ガ ラ ス	天井レール・目板 巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール
備 考	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品
符 合 数 量 形 式 使 用 箇 所	B5TB-1 トイレブース	3ヶ所 B5棟 1~3階男子便所	B5TB-2 トイレブース	3ヶ所 B5棟 1~3階男子便所
姿 図				
見 込	40	40	40	40
材 質 仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN	高圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDF2.5T) パネル:K-6600KN 扉:K-6600KN
ガ ラ ス	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 点検カバー・ベース板・自閉装置・ハンドル・ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール	天井レール・中心吊ヒンジ・目板・戸当り 巾木・床レール
備 考	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品	小松ウォール工業 TB-TP 同等品
符 合 数 量 形 式 使 用 箇 所				
姿 図				
見 込				
材 質 仕 上				
ガ ラ ス				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				
備 考				

断面図 (S = 1/5)

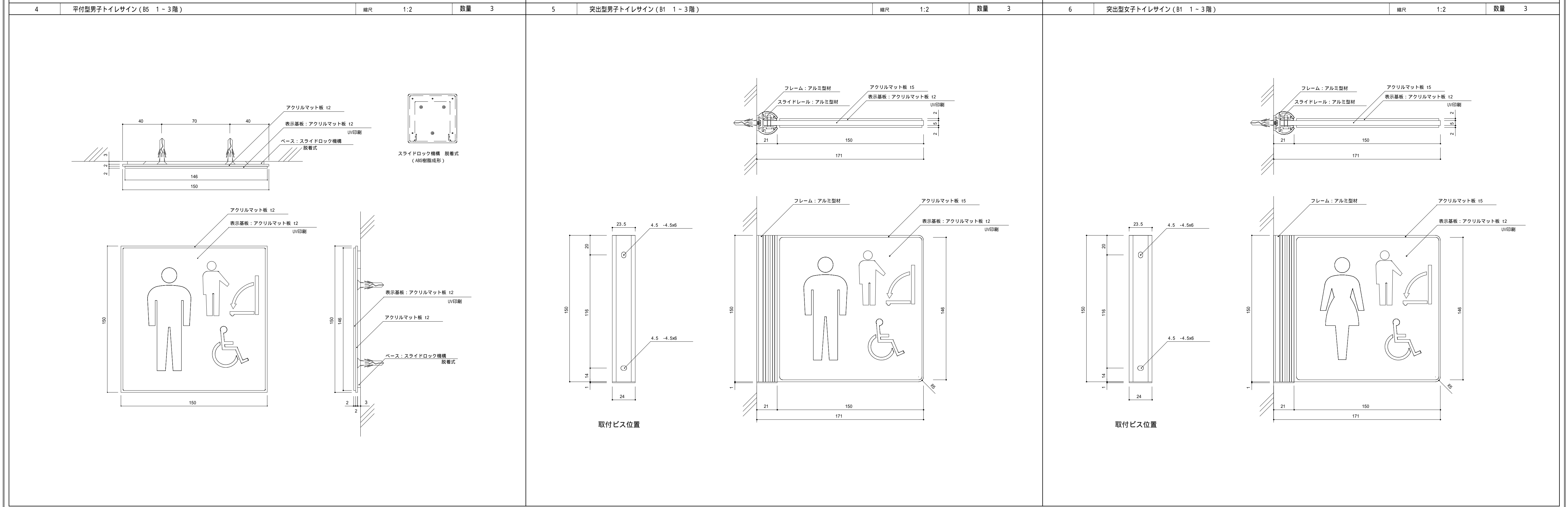
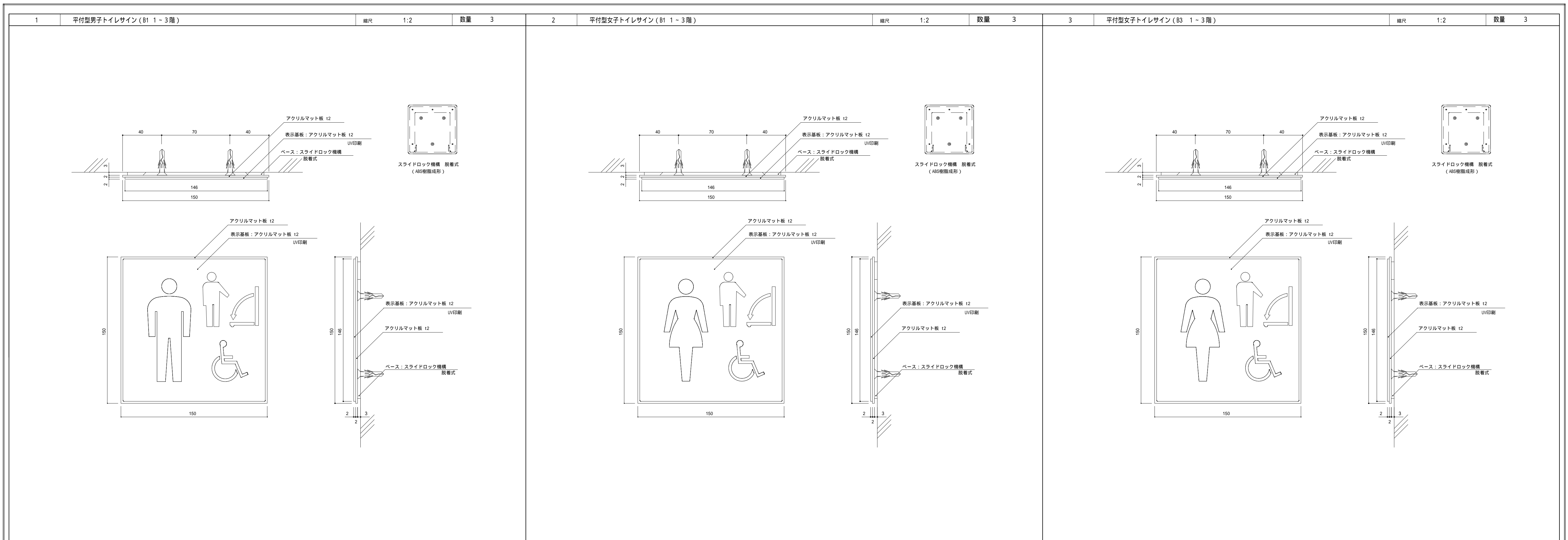


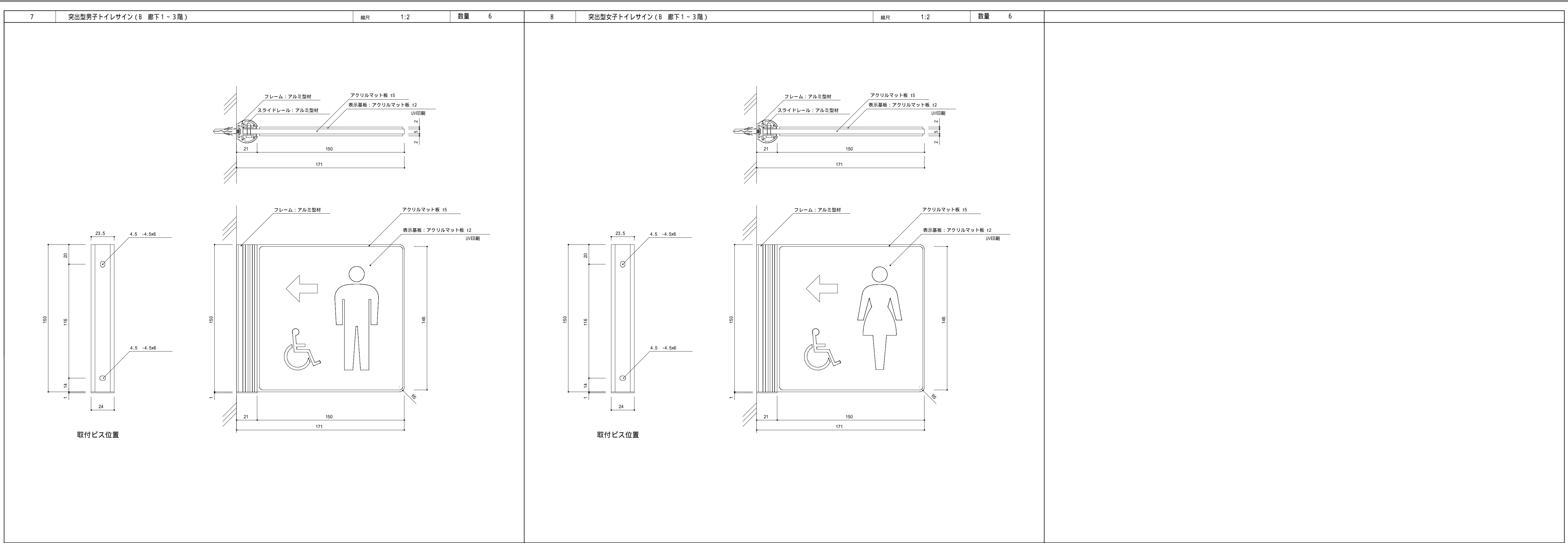
カーム詳細



◇仕様表 (付地ウォールリニティB-TPタイプ又は同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:MDF) 着色・木目共 20色以上
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出材 (焼付塗装仕上)
付属品	巾木/扉レール	ステンレス 4.0mm (ヘアライン仕上)
	天井レール	鋳造めっき鋼板 1.7mm (焼付塗装仕上)
	壁面レール/エンドカバー	アルミ押出材 (焼付塗装仕上)
	ヒンジ / 9ヒンジ	中心用グレイビヒンジ / 中心用ヒンジ
	ロック	非常時明示付スライドロック機
	その他金物	戸当り帽子掛け / 引手機
カーム	パネル表面材(ドアパネル)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:MDF) 着色・木目共 20色以上
	芯材(ドアパネル)	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル(厚)
	ベース板	鋳造めっき鋼板 2.0mm
	点検カバー	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:MDF)
	ロック	非常時明示付樹脂製サムターン(※B-2000)
引手	ステンレス鏡面ハンドルφ25	





滋賀県立大学B棟トイレ改修前期工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
E-01	特記仕様書	NO SCALE
E-02	照明器具参考姿図・トイレ呼出機器参考姿図	NO SCALE
	B1棟	
E-03	B1 電灯設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-04	B1 コンセント設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-05	B1 弱電設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
	B3棟	
E-06	B3 電灯設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-07	B3 コンセント設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-08	B3,B5 コンセント設備 1,2,3階平面図（改修後）	1/75
E-09	B3 弱電設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
	B5棟	
E-10	B5 電灯設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-11	B5 コンセント設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-12	B5 弱電設備 1,2,3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50

滋賀県電気設備工事特記仕様書

Table with project details: 工事名称 (滋賀県立大学トイレ改修工事), 工事場所 (滋賀県彦根市八坂町2500), 工事期間・限 (令和 年 月 日まで), 工事概要説明 (滋賀県立大学トイレ改修工事に伴う電気設備工事の一切を行う。)

該当工事に適用欄に印を附す。

Table with columns: 適用 No, 工事種目, 工種, 備考. Lists various electrical equipment like transformers, lighting, and communication devices.

Table for '別途工事' (Separate Work) with columns: No, 名, 種, 階, 延面積, 棟数, 備考. Includes a note about area division.

Table for '電気設備工事仕様書' (Electrical Equipment Specifications) with columns: No, 名, 種, 階, 延面積, 棟数, 備考. Lists specific equipment like fire extinguishers and fire alarm systems.

項目特記事項

Table for '適用項目' (Applicable Items) with columns: 適用項目, 特記事項. Details requirements for general items, construction standards, safety, and quality control.

Table for '設備仕様' (Equipment Specifications) with columns: 設備仕様, 特記事項. Details specifications for various electrical equipment like transformers, lighting, and power supplies.

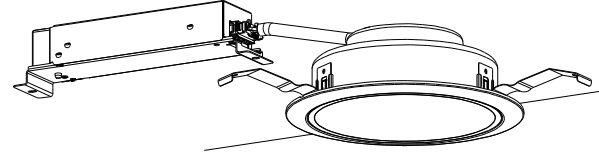
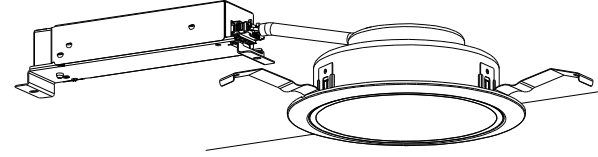
Main table for '項目特記事項' (Item Specifications) with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for electrical work, including safety, quality, and specific equipment standards.

Main table for '項目特記事項' (Item Specifications) with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for electrical work, including safety, quality, and specific equipment standards.

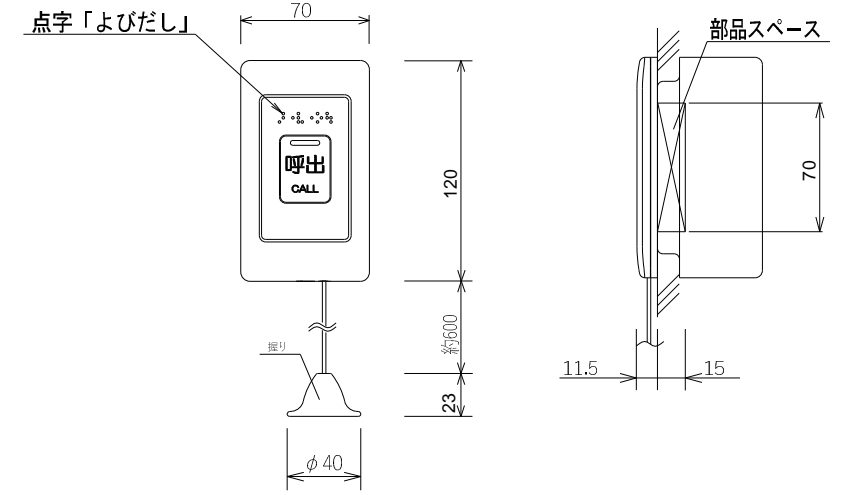
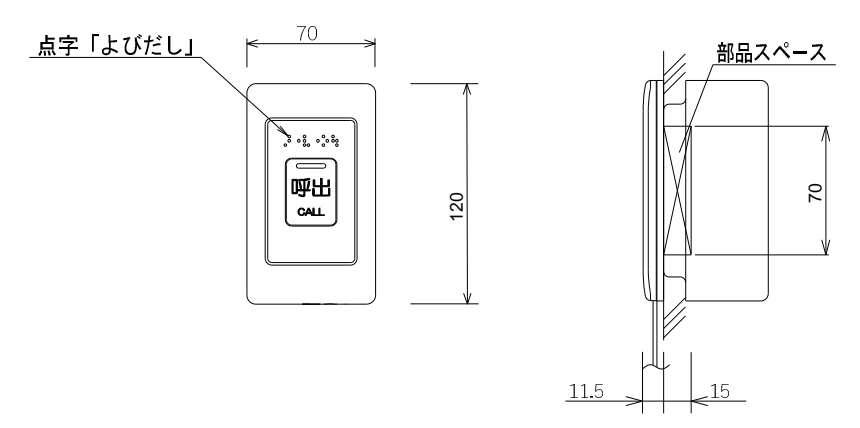
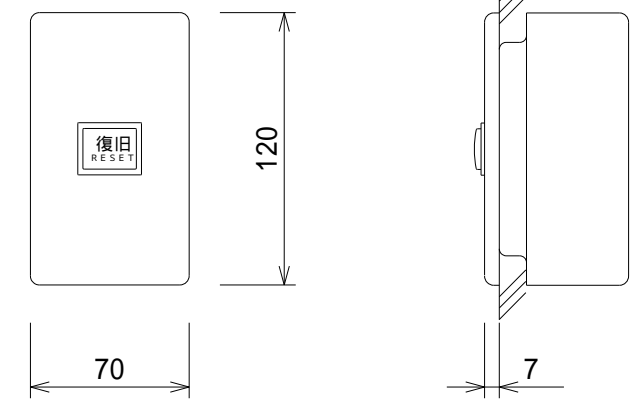
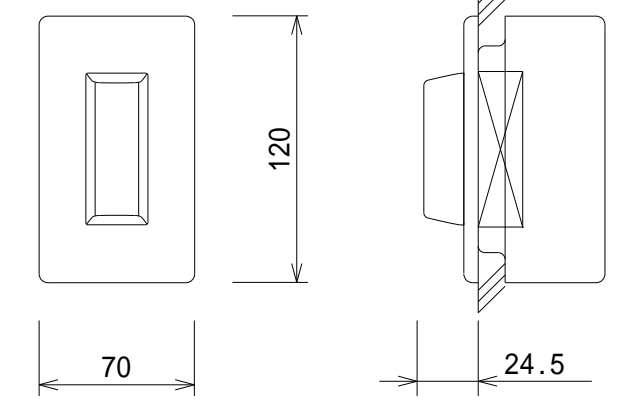
Table for '種目適用' (Category Application) with columns: 種目, 適用, 項目, 特記事項. Lists various electrical equipment and their specifications.

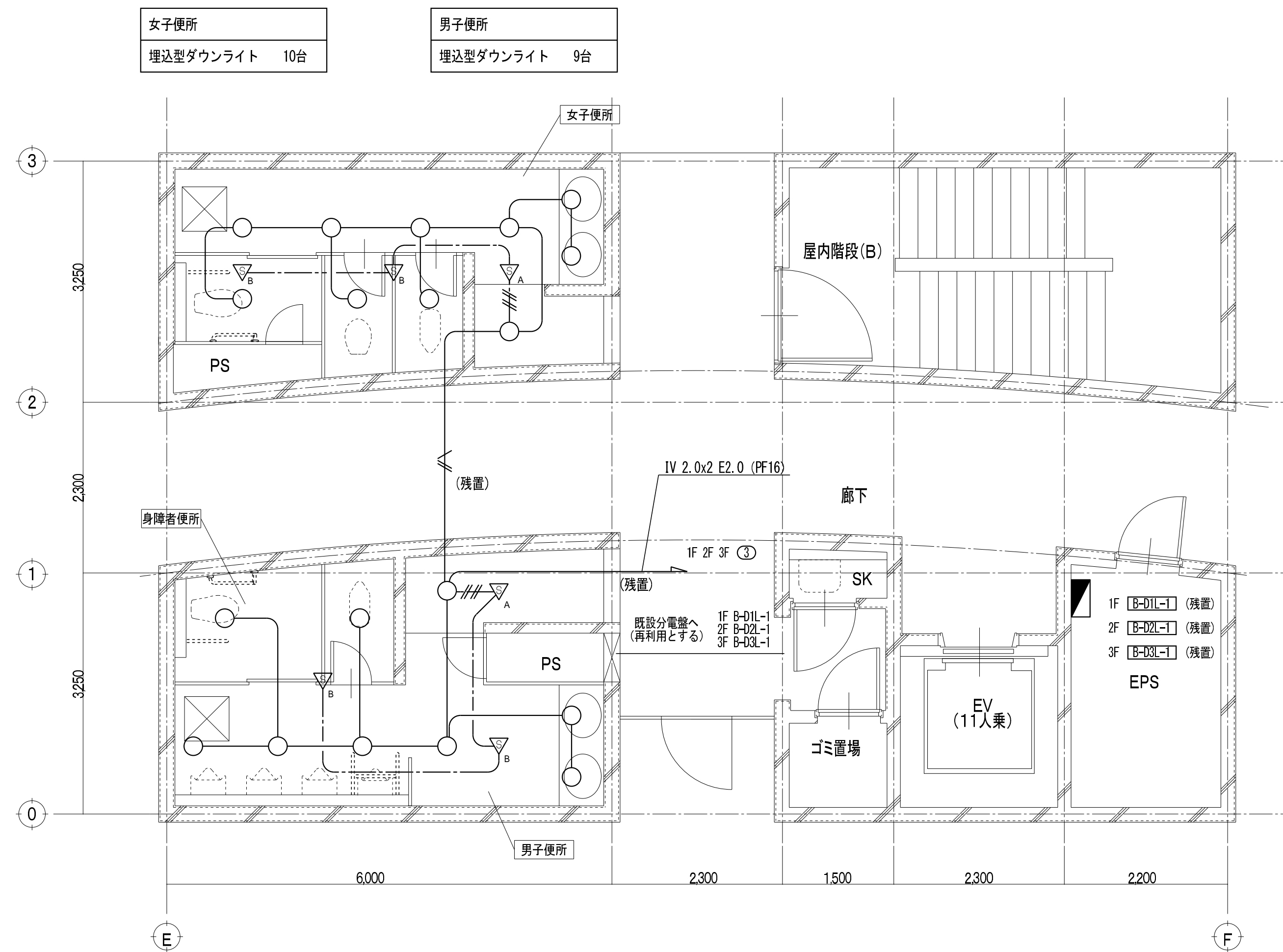
Table for '使用機材製造者指定' (Designated Equipment Manufacturer). Lists specific manufacturers for various electrical components like transformers, lighting, and power supplies.

照明器具姿図

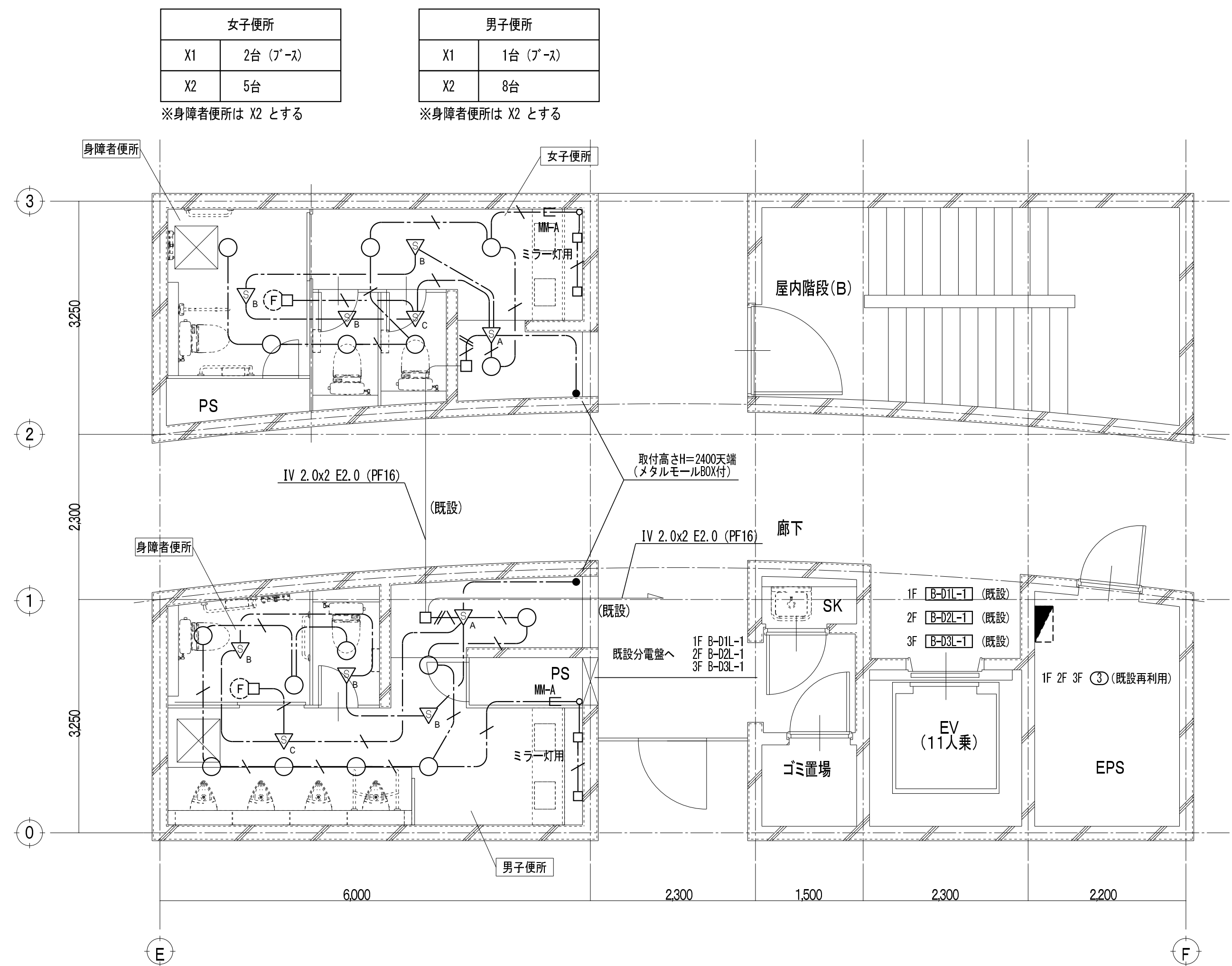
X1	LEDダウンライト	X2	LEDダウンライト プース・収納内
パナソニック XND1567SA LE9		パナソニック XND1067SA LE9	
 <p style="text-align: right;">150</p>		 <p style="text-align: right;">150</p>	
<p>LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5000K、Ra95、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:1375lm、消費電力:11.6W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):アルミ(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴 150</p>		<p>LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5000K、Ra95、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:845lm、消費電力:7W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):アルミ(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴 150</p>	

トイレ呼出機器姿図

<p>トイレ呼出ボタン ひも付き 取付高さ H=900</p> <p>ケアコム BT-312ZR (参考型番)</p> 		<p>トイレ呼出ボタン 取付高さ H=1500</p> <p>ケアコム BT-311ZR (参考型番)</p> 		<p>復旧ボタン 取付高さ H=1300</p> <p>ケアコム BR-302RAU (参考型番)</p> 		<p>廊下灯 取付高さ H=2000</p> <p>ケアコム BT-673U/8 (参考型番)</p> 	
形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)
プレート/握り	抗菌樹脂	プレート/握り	抗菌樹脂	プレート	新金属	プレート/握り	新金属
確認灯	LED(赤)	確認灯	LED(赤)	表示灯	ノンロック式	表示灯	表示灯カバー:ポリカーボネート
呼出ボタン	ノンロック式	呼出ボタン	ノンロック式			表示灯	LED(赤),DC8V
点字	よびだし	点字	よびだし				
備考	JIS C-0920 IPx5 (防噴流形) 適合	備考	JIS C-0920 IPx5 (防噴流形) 適合				



B1 1,2,3階平面詳細図(改修前) S = 1/50



B1 1,2,3階平面詳細図(改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称	仕様
●	リモコンスイッチ	1P15Ax1
●	リモコンスイッチ	2P15Ax1
●	確認表示灯付きスイッチ	1P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特記事項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電灯回路	VV-F 1.6-2C	(PF16)
	VV-F 1.6-2C x2	(PF28)
	VV-F 1.6-3C	(PF22)
	VV-F 2.0-2C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C(1E)	(PF22)
	VV-F 2.0-3C E2.0	(PF28)

二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事		

凡 例

記号	名称	仕様
●	埋込型スイッチ	1P15Ax1 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ	親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機・換気扇連動用・3系統連動形
■	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)	
□ _{CP} 取付	カバープレート取付	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤(既設)	

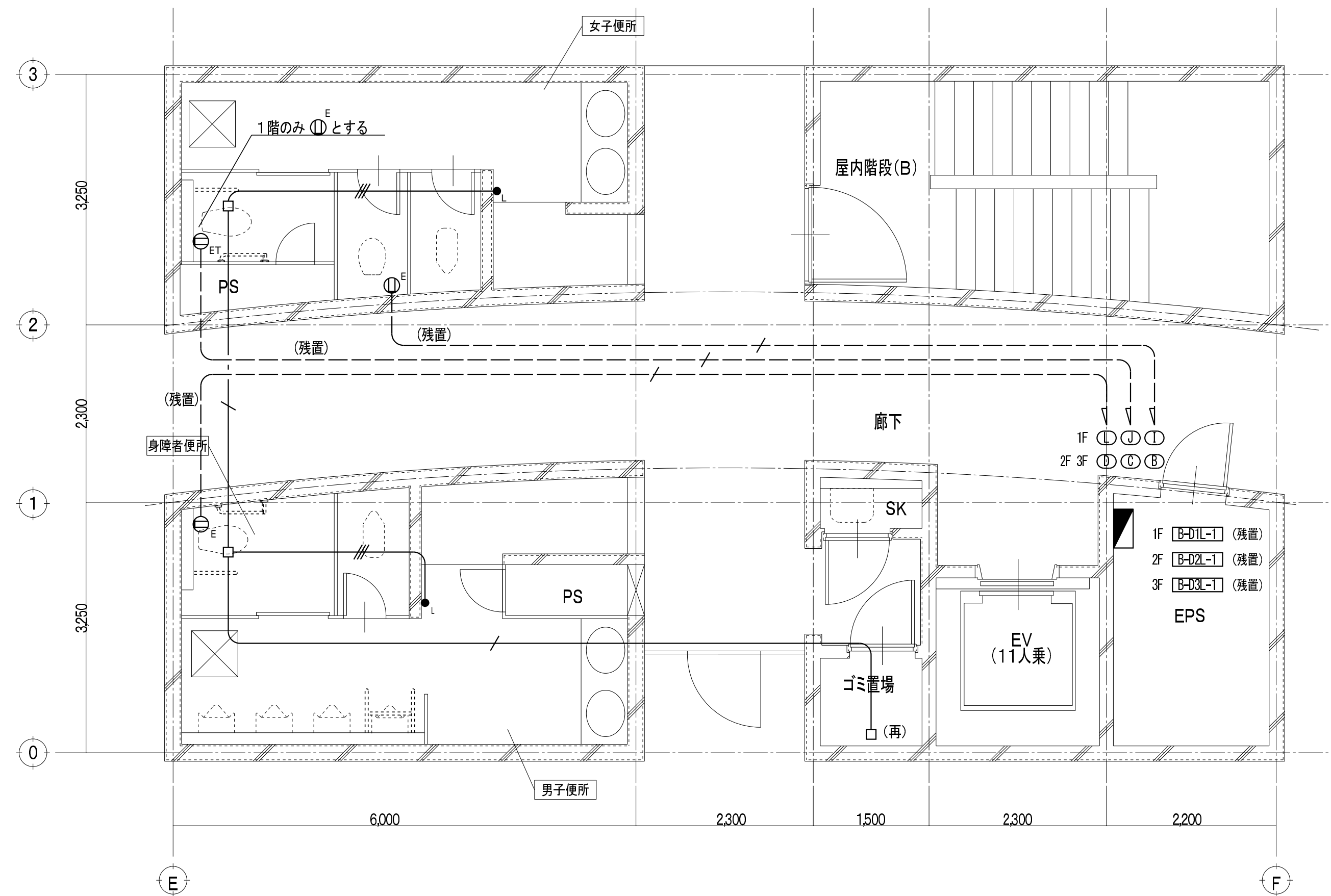
特記事項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電灯回路	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)

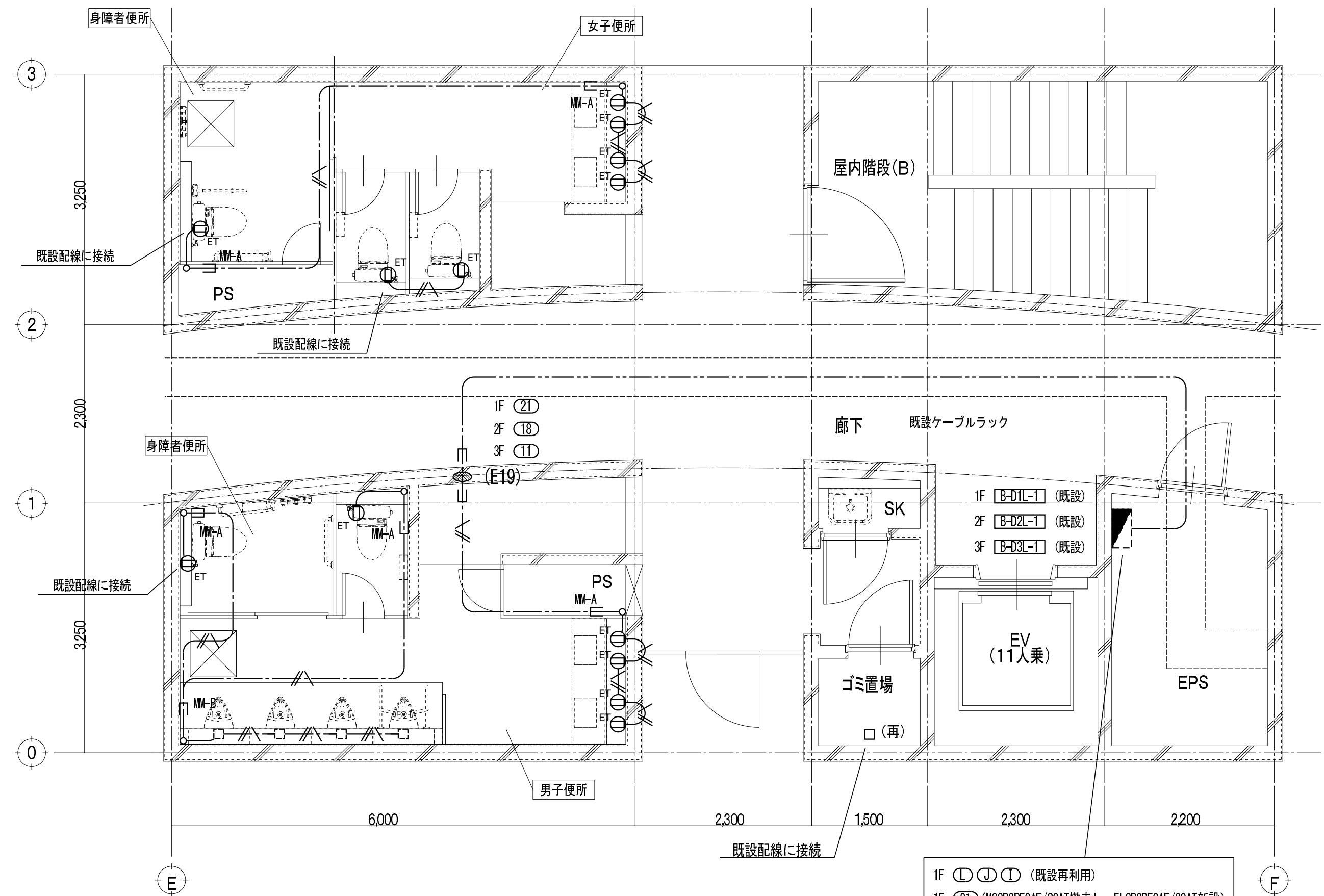
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
貫通穴はコンセント共用とする。
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事		



B1 1, 2, 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



B1 1, 2, 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

- 1F ① ② ③ (既設再利用)
- 1F ④ (MOC82P50AF/20AT撤去し、ELC82P50AF/20AT新設)
- 2F ⑤ (MOC82P50AF/20AT撤去し、ELC82P50AF/20AT新設)
- 2F ⑥ ⑦ ⑧ (既設再利用)
- 3F ⑨ ⑩ ⑪ (既設再利用)
- 3F ⑫ (MOC82P50AF/20AT撤去し、ELC82P50AF/20AT新設)

凡 例

記号	名称	
⓪	埋込型コンセント (接地極付)	2P15Ax1
⓪ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	WVF 2.0-3C	(PF22)
	WVF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	IV 2.0x2 E2.0	(PF16)
	IV 2.0x2	(PF16)
	IV 2.0x3	(PF16)
	IV 2.0x4 E2.0	(PF22)
	IV 1.6x5	(PF22)

二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		

凡 例

記号	名称	
⓪ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地端子付)	2P15Ax1
◐	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤 (既設)	

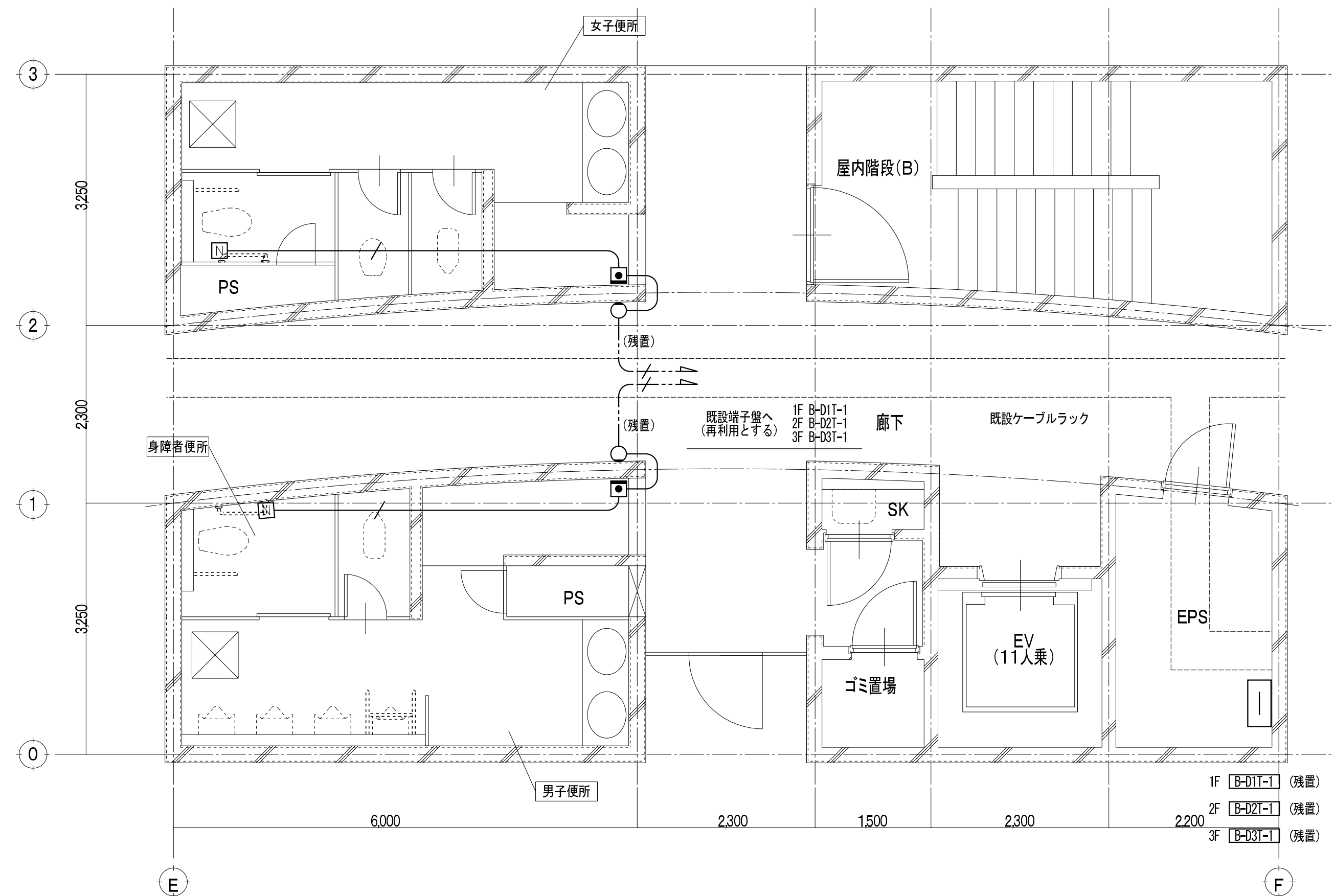
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)

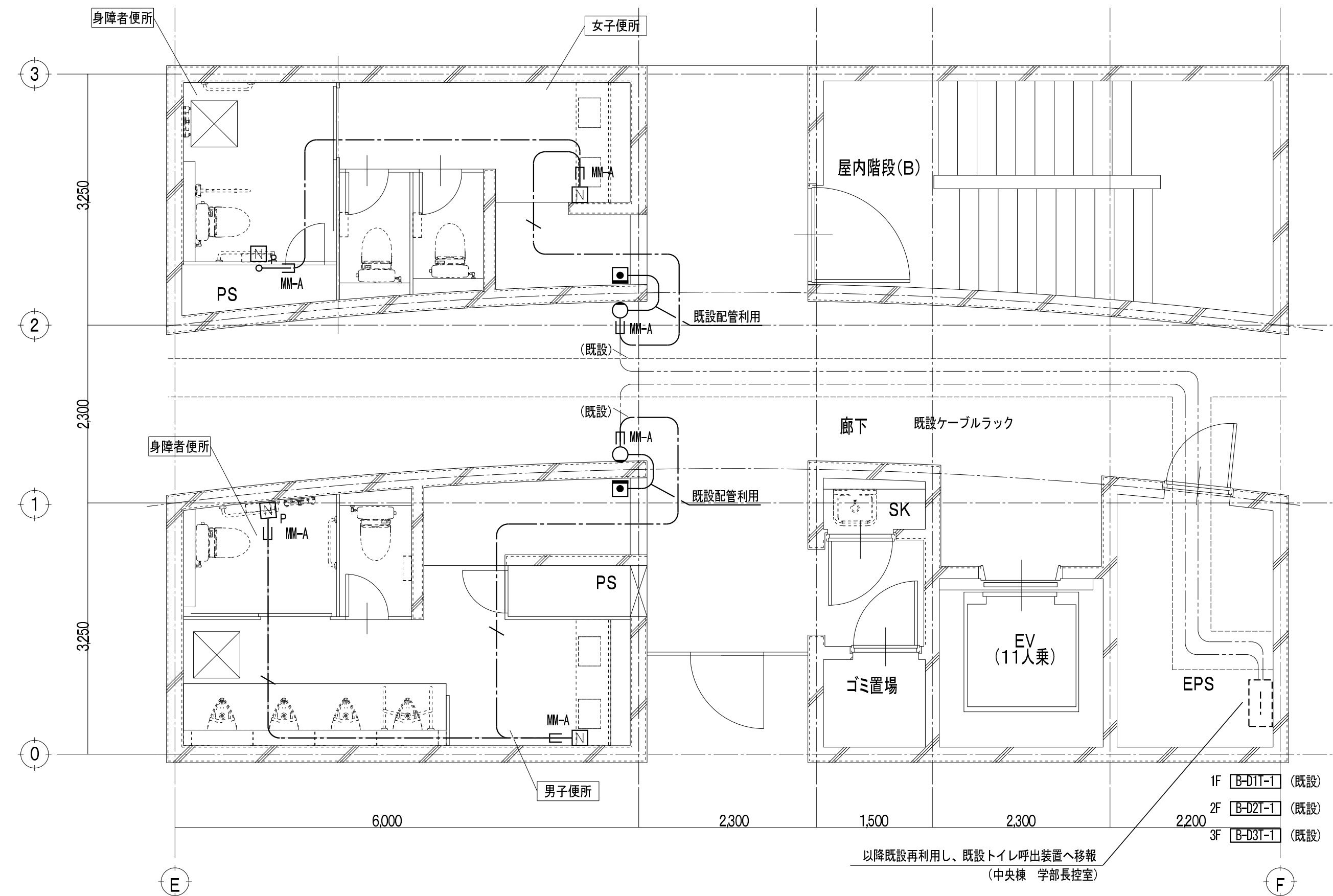
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 MI-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
 防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		



B1 1,2,3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



B1 1,2,3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
○	廊下灯
●	復旧ボタン
□	アウトレットボックス
—	弱電端子盤

特記事項

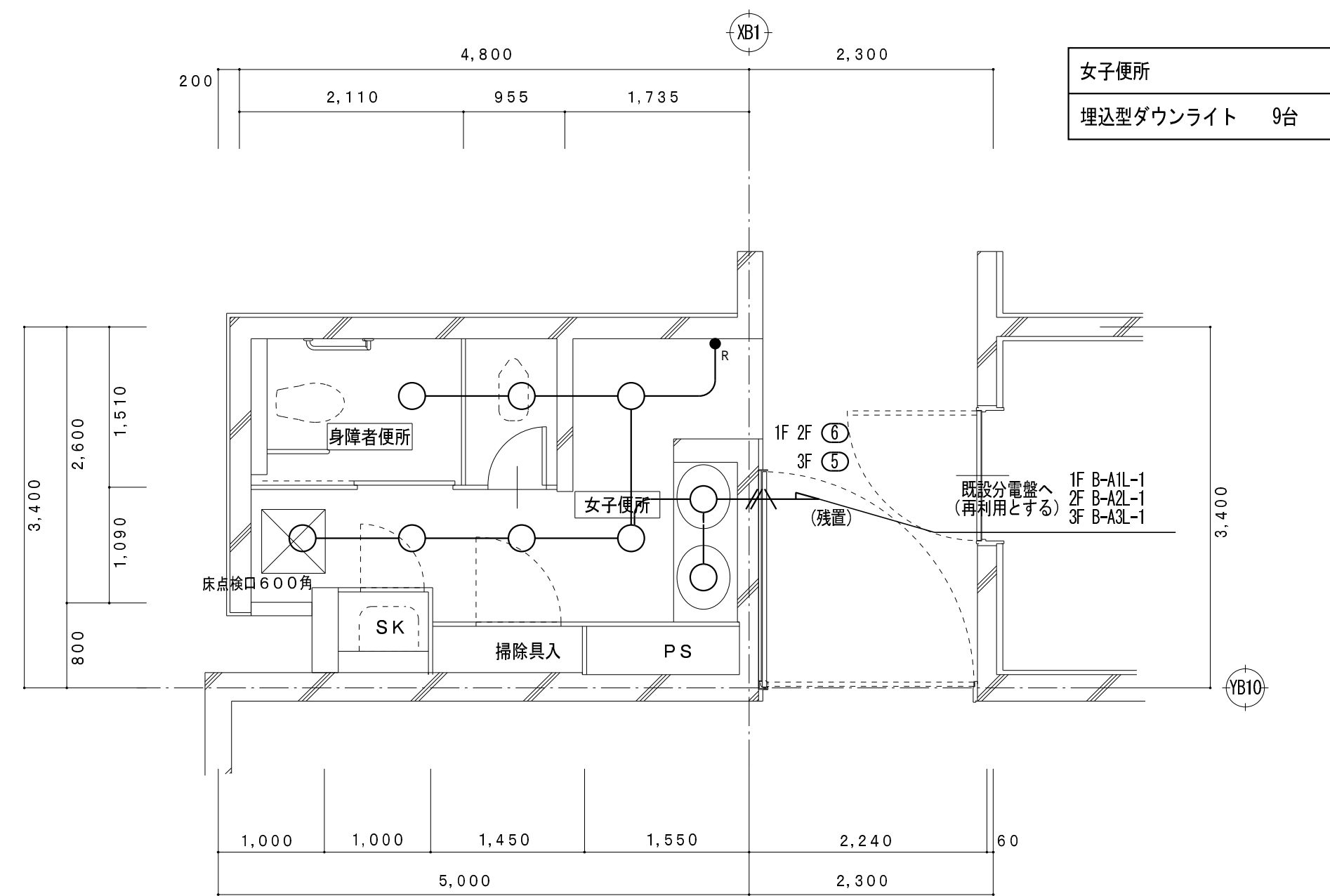
特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼出回路	AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)			
配管配線種別			
———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		

凡 例

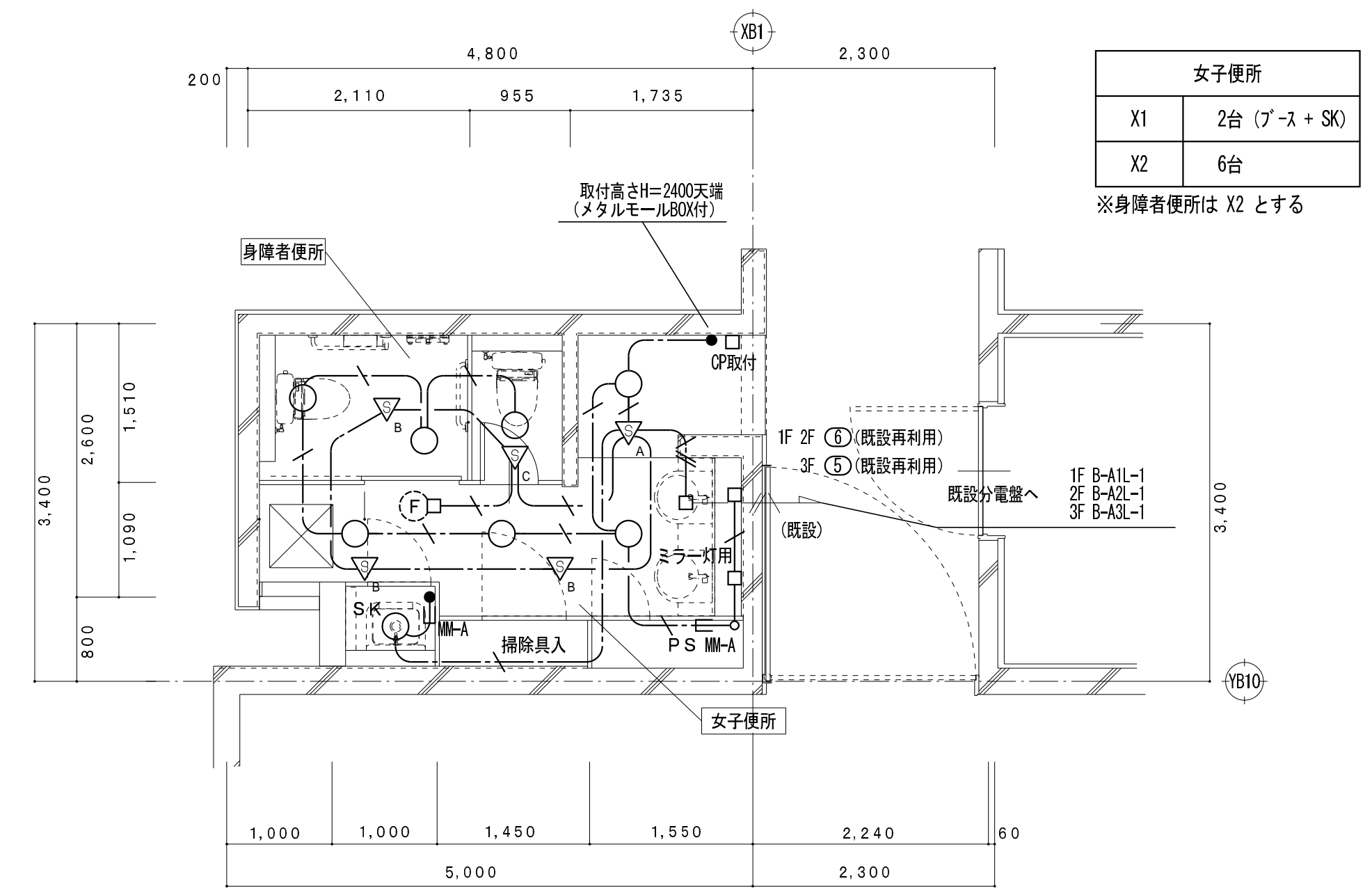
記号	名称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
[N] _p	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
○	廊下灯
●	復旧ボタン
[]	弱電端子盤 (既設)

特記事項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼出回路	EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び境界貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		



B3 1,2,3階平面詳細図(改修前) S = 1/50



B3 1,2,3階平面詳細図(改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称	
● ^R	リモコンスイッチ	1P15Ax1
● ^{2R+L}	リモコンスイッチ	2P15Ax1
●	確認表示付きスイッチ	1P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	WV-F 1.6-2C	(PF16)
	VV-F 1.6-2C x2	(PF28)
	VV-F 1.6-3C	(PF22)
	WV-F 2.0-2C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C(1E)	(PF22)
	VV-F 2.0-3C E2.0	(PF28)

二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
~~~~~	ケーブル桥架配線工事		

凡 例

記号	名称	
●	埋込型スイッチ	1P15Ax1 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ	親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機・換気扇連動用・3系統連動形
○	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)	
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤(既設)	

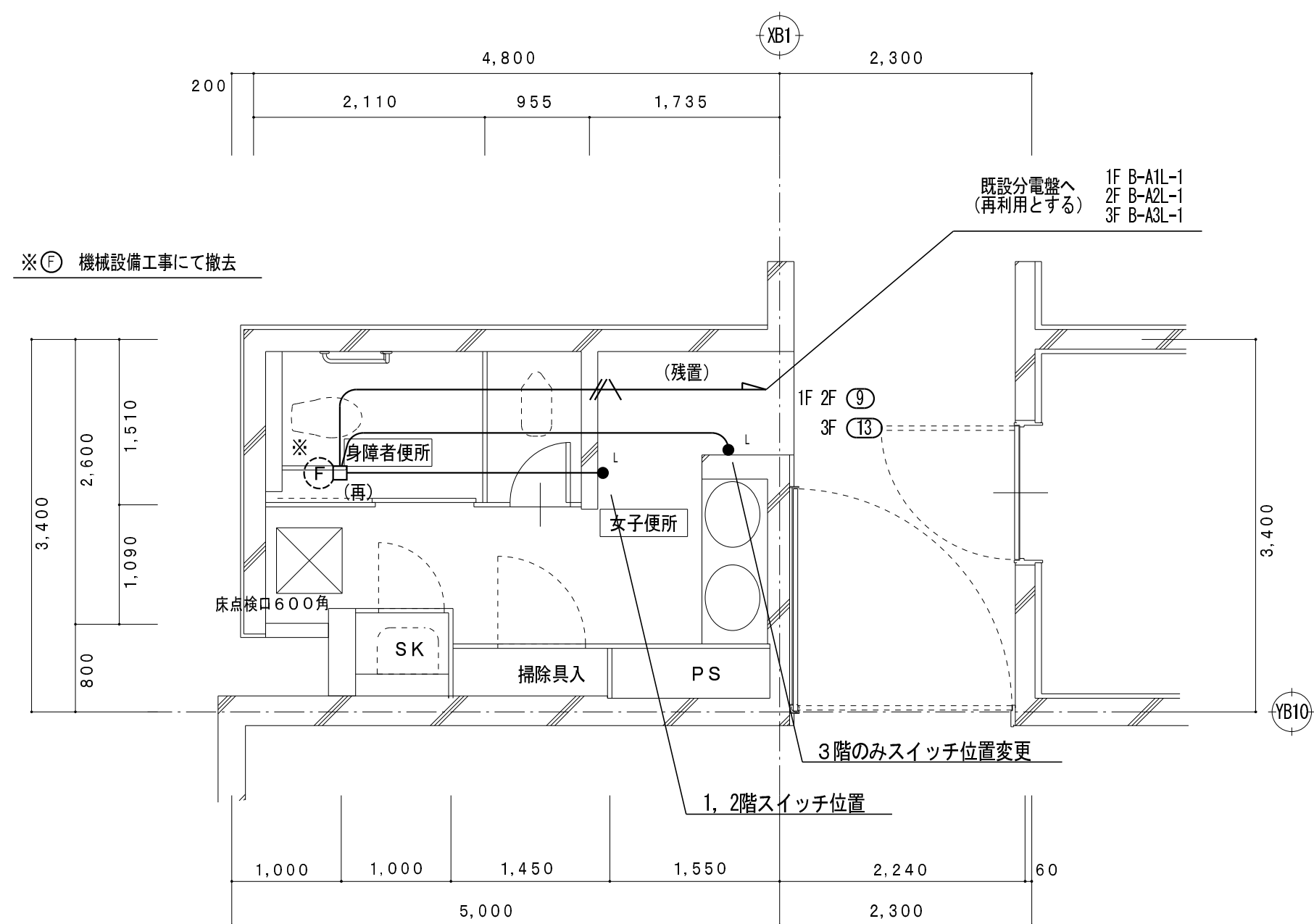
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)

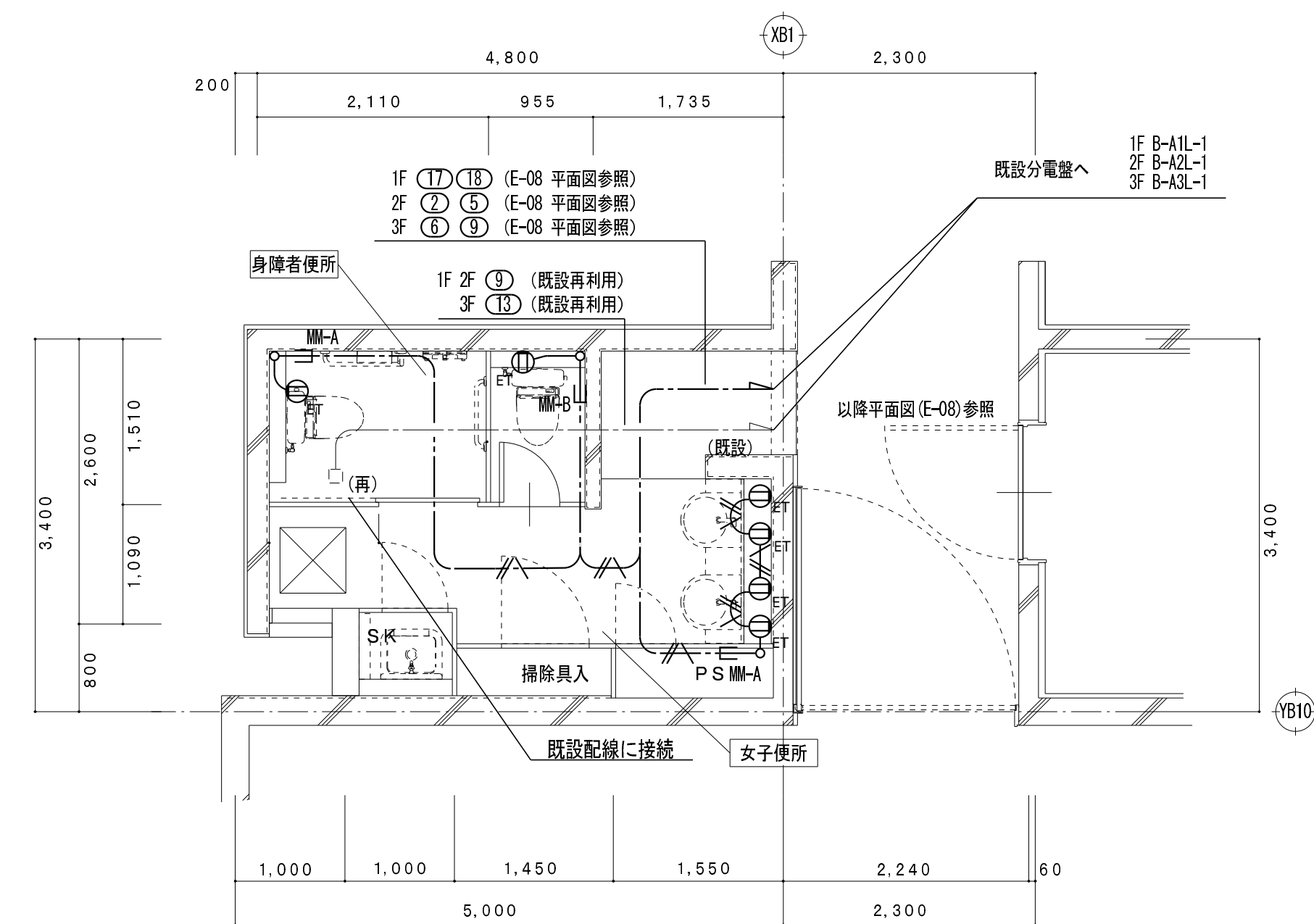
二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。  
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。  
 MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)  
 貫通穴はコンセント共用とする。  
 防火区画及び隔壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	.....	露出配管工事
~~~~~	ケーブル桥架配線工事		



B3 1,2,3階平面詳細図(改修前) S = 1/50



B3 1,2,3階平面詳細図(改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称	
Ⓛ	埋込型コンセント(接地極付)	2P15Ax1
Ⓛ ^{ET}	埋込型スイッチ(接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	WVF 2.0-3C	(PF22)
	WVF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	IV 2.0x2 E2.0	(PF16)
	IV 2.0x2	(PF16)
	IV 2.0x3	(PF16)
	IV 2.0x4 E2.0	(PF22)
	IV 1.6x5	(PF22)

二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		

凡 例

記号	名称	
Ⓛ ^{ET}	埋込型スイッチ(接地端子付)	2P15Ax1
Ⓛ	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤(既設)	

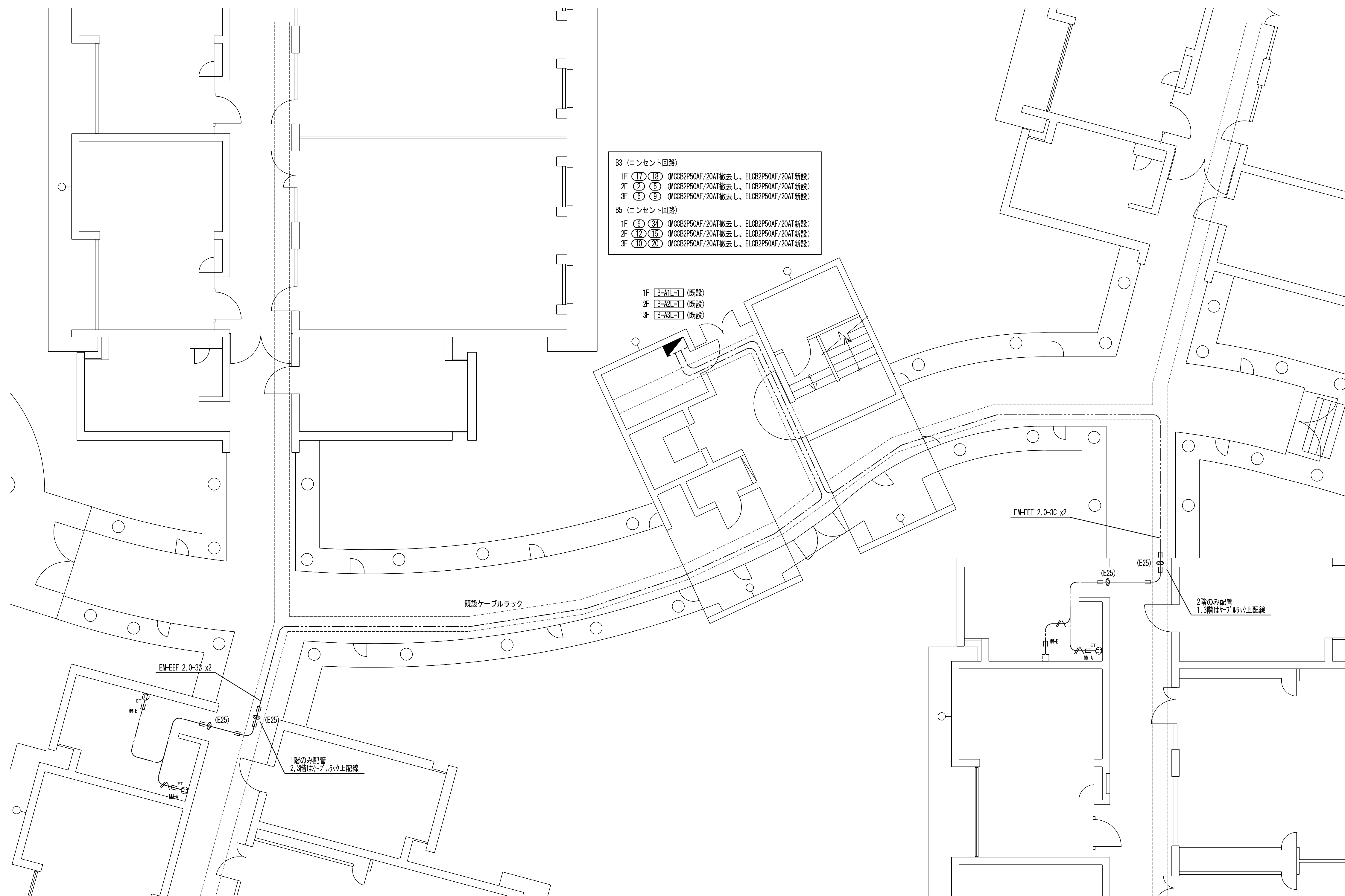
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	EM-EFF 2.0-3C(1E)	(PF22)

二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 MI-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
 防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

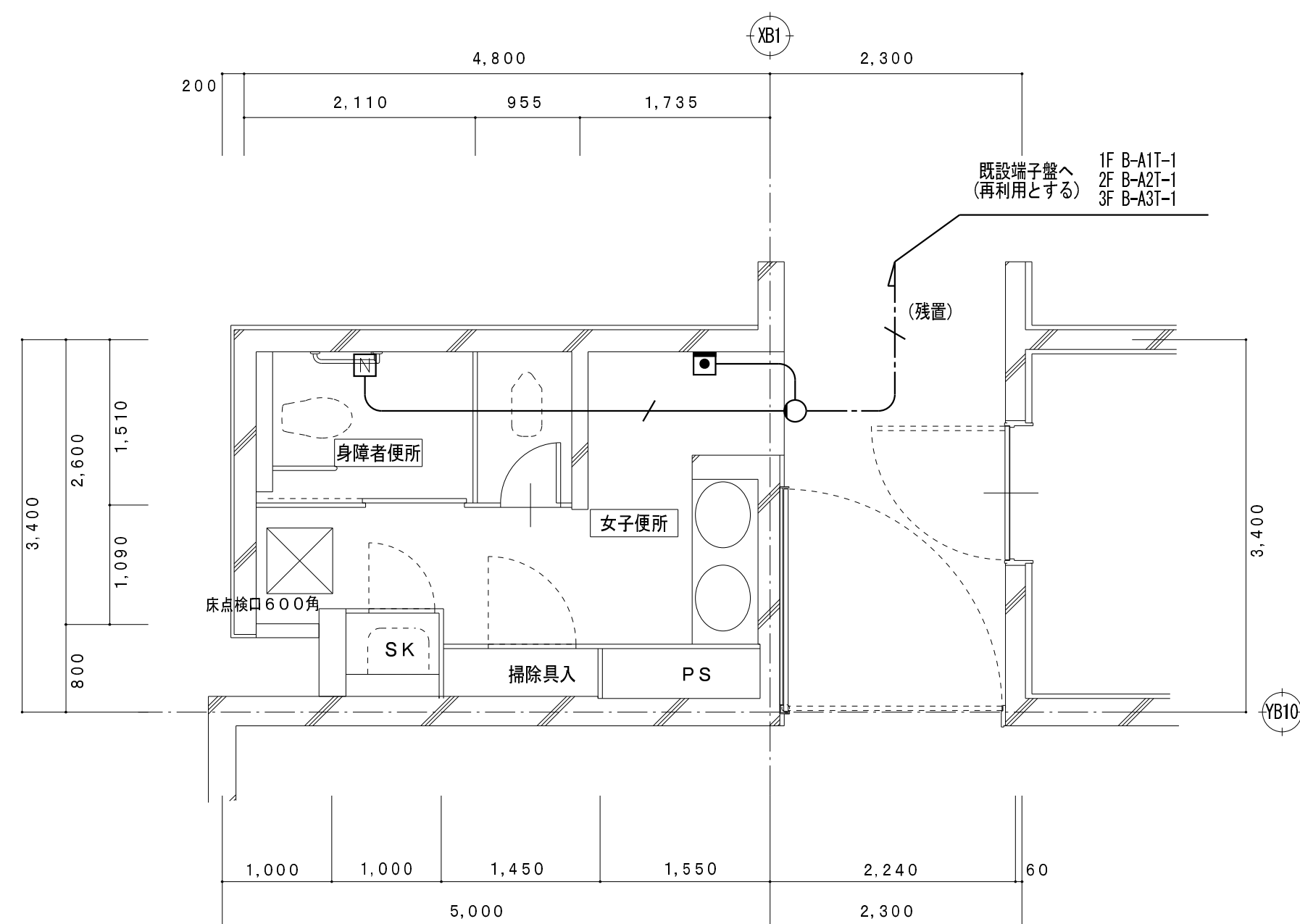
配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルラック配線工事		

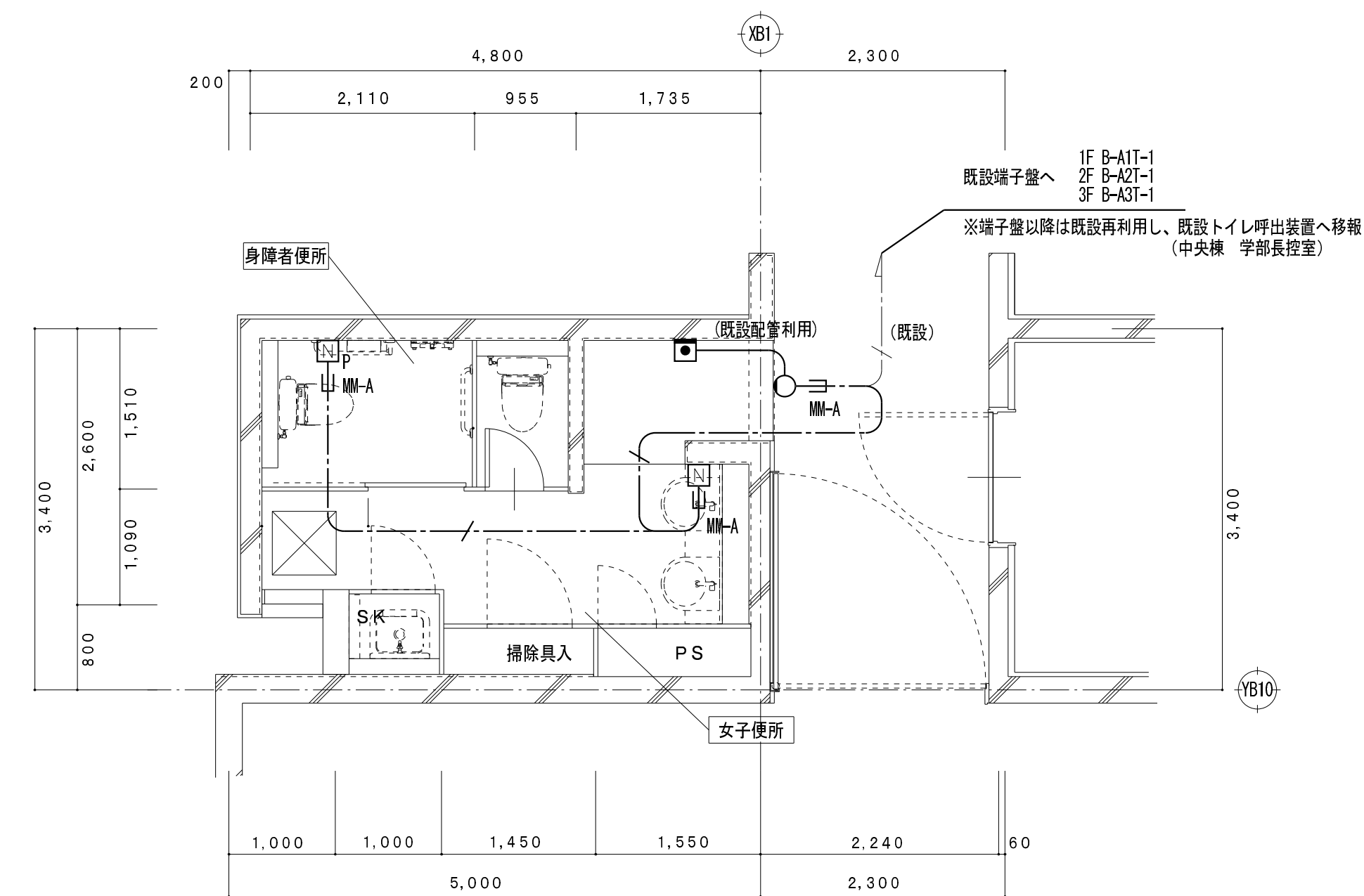


凡 例

記 号	名 称
	電灯分電盤 (既設)
	天井内ころがし配線
	ケーブルラック上配線
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)



B3 1,2,3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



B3 1,2,3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
○	廊下灯
●	復旧ボタン
□	アウトレットボックス
⊖	弱電端子盤

特記事項

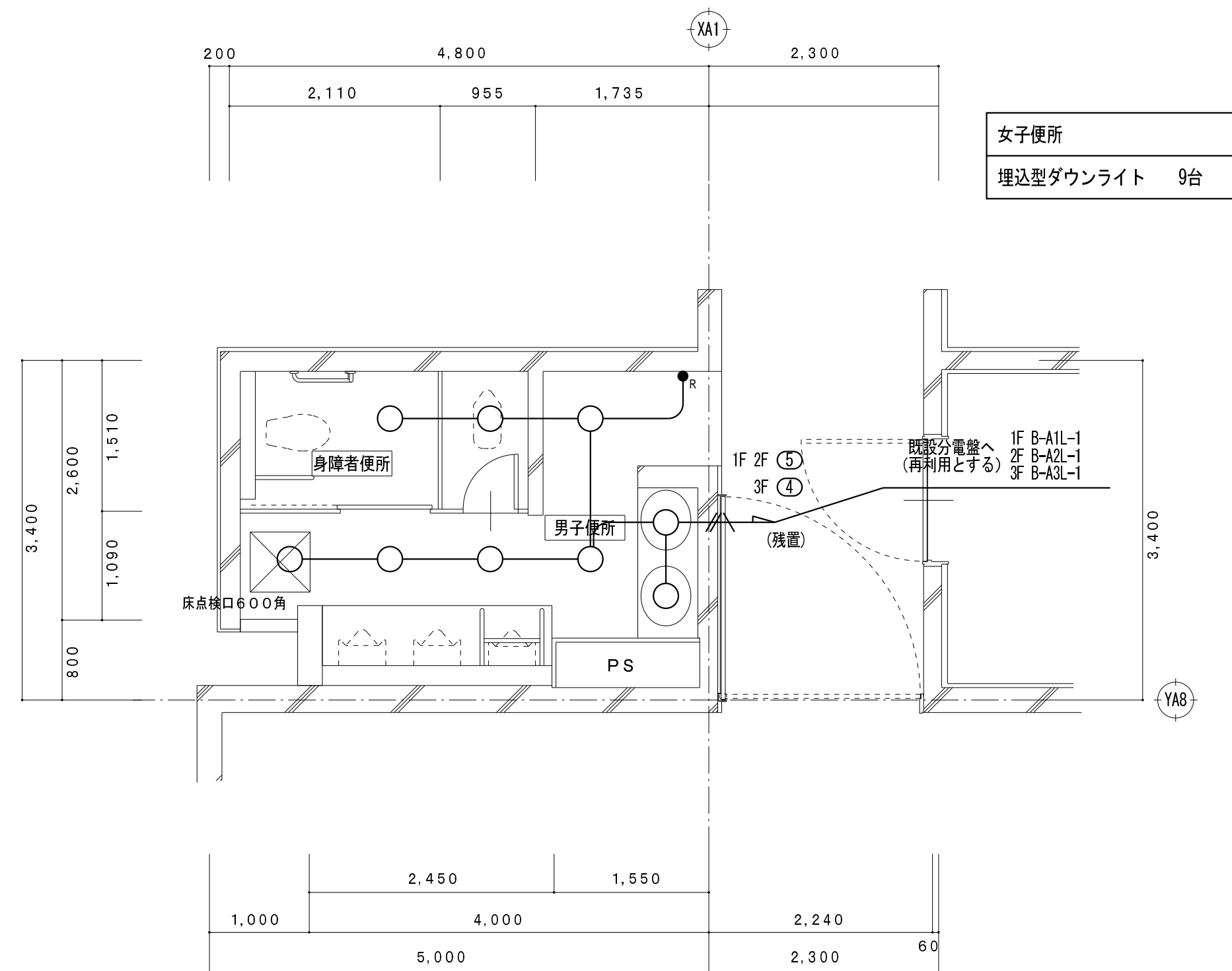
特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼出回路	AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)			
配管配線種別			
-----	天井内隠蔽配管配線工事	-----	天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
-----	ケーブルリック配線工事		

凡 例

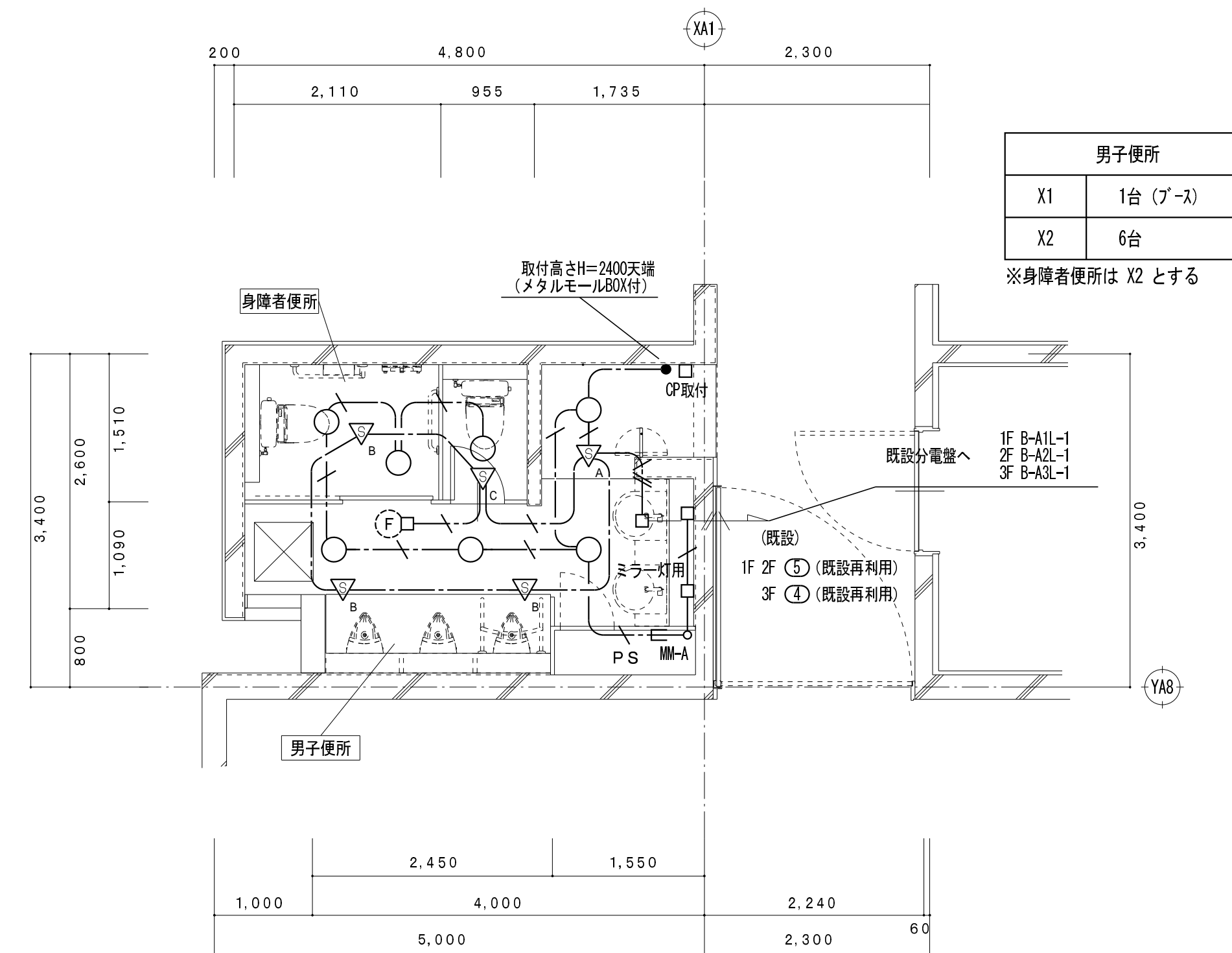
記号	名称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
[N] _p	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
○	廊下灯
●	復旧ボタン
[]	弱電端子盤 (既設)

特記事項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼出回路	EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
-----	天井内隠蔽配管配線工事	-----	天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
-----	ケーブルリック配線工事		



B5 1,2,3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



B5 1,2,3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称	仕様
● ^R	リモコンスイッチ	1P15Ax1
● ^{2R+L}	リモコンスイッチ	2P15Ax1
●	確認表示灯付きスイッチ	1P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	VV-F 1.6-2C	(PF16)
	VV-F 1.6-2C x2	(PF28)
	VV-F 1.6-3C	(PF22)
	VV-F 2.0-2C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C	(PF22)
	VV-F 2.0-3C(1E)	(PF22)
	VV-F 2.0-3C E2.0	(PF28)

二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブル隠蔽配線工事		

凡 例

記号	名称	仕様
●	埋込型スイッチ	1P15Ax1 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ	親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ	子機・換気扇連動用・3系統連動形
○	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)	
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤 (既設)	

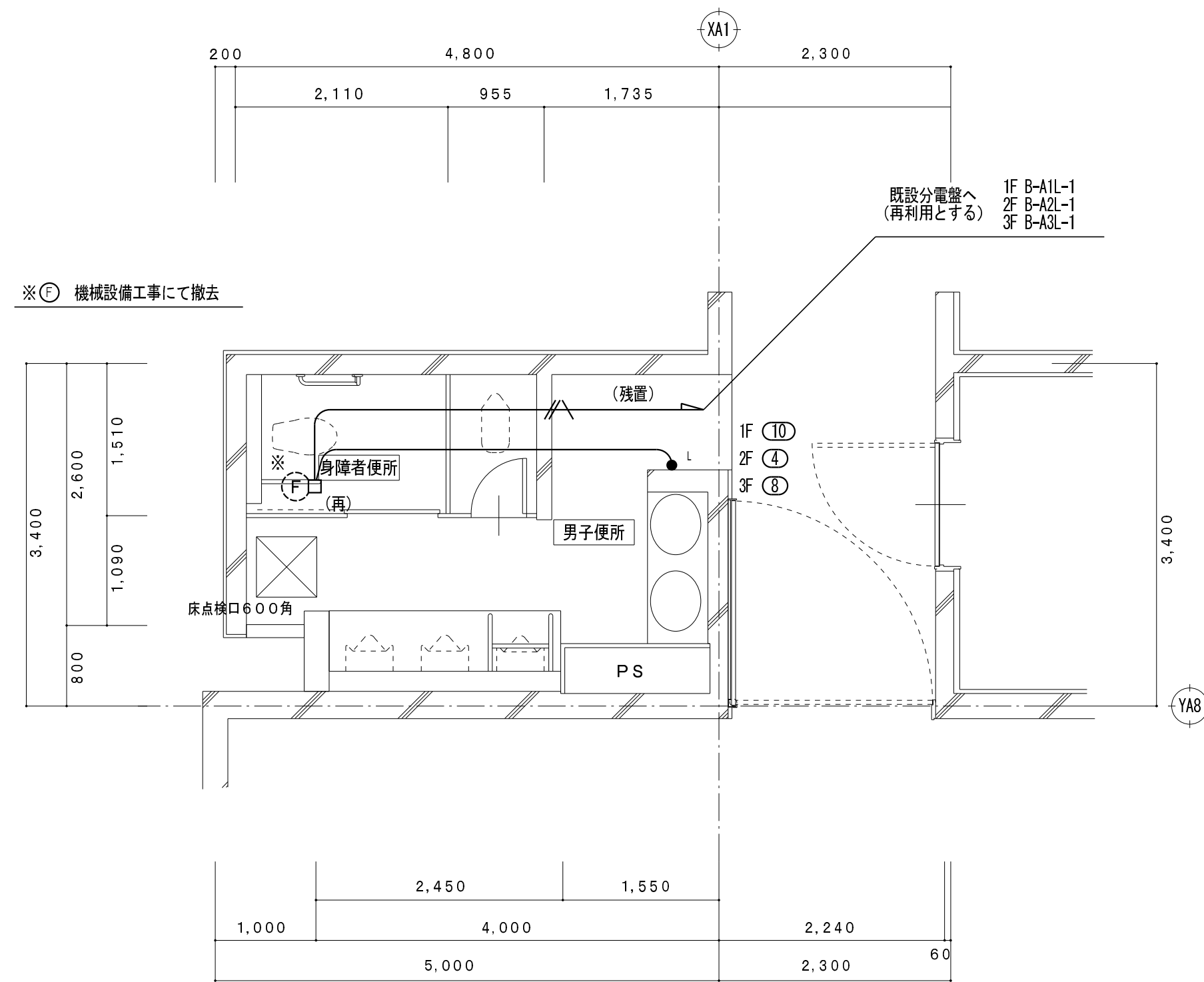
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)

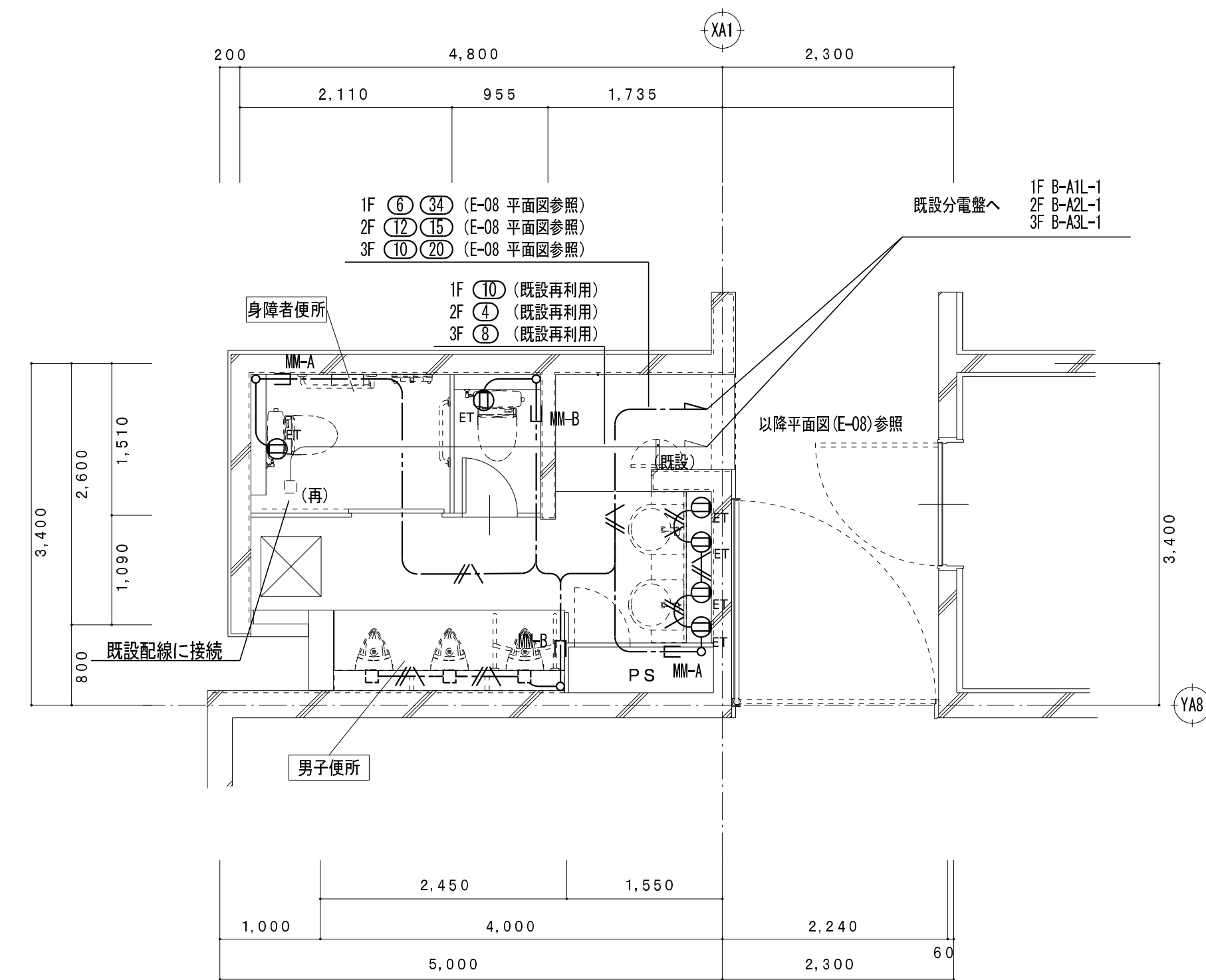
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
 貫通穴はコンセント共用とする。
 防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こしがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブル隠蔽配線工事		



B5 1,2,3階平面詳細図(改修前) S = 1/50



B5 1,2,3階平面詳細図(改修後) S = 1/50

凡 例

記号	名称	
⓪ ^E	埋込型コンセント(接地極付)	2P15Ax1
⓪ ^{ET}	埋込型スイッチ(接地端子付)	2P15Ax1
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤	

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	WF 2.0-3C	(PF22)
	WF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	IV 2.0x2 E2.0	(PF16)
	IV 2.0x2	(PF16)
	IV 2.0x3	(PF16)
	IV 2.0x4 E2.0	(PF22)
	IV 1.6x5	(PF22)

二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こころがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルリック配線工事		

凡 例

記号	名称	
⓪ ^{ET}	埋込型スイッチ(接地端子付)	2P15Ax1
⓪	既設コンクリート・床貫通を示す(防火区画貫通処理含む)	
□	アウトレットボックス	
■	電灯分電盤(既設)	

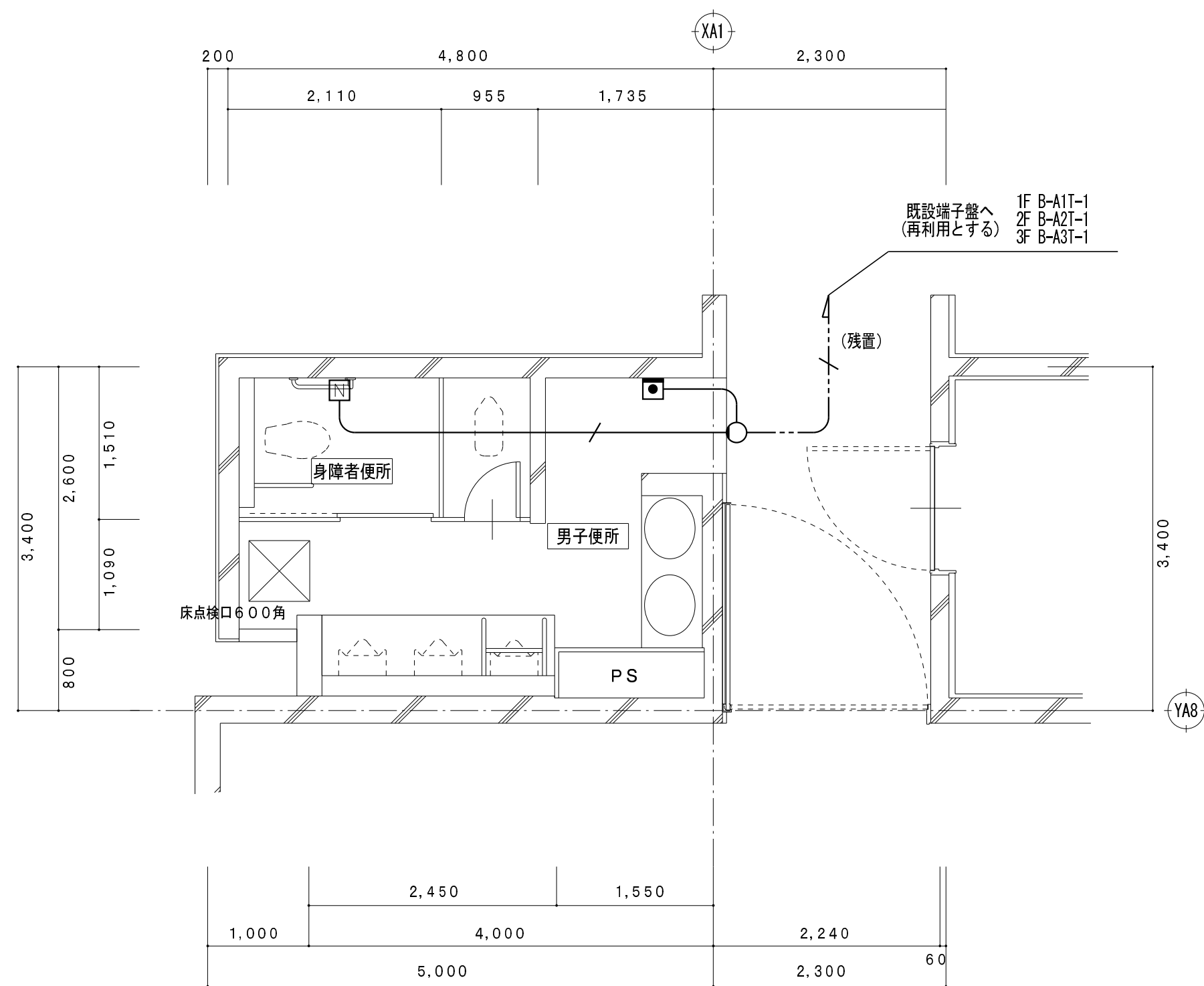
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差込回路	EM-EFF 2.0-3C(1E)	(PF22)

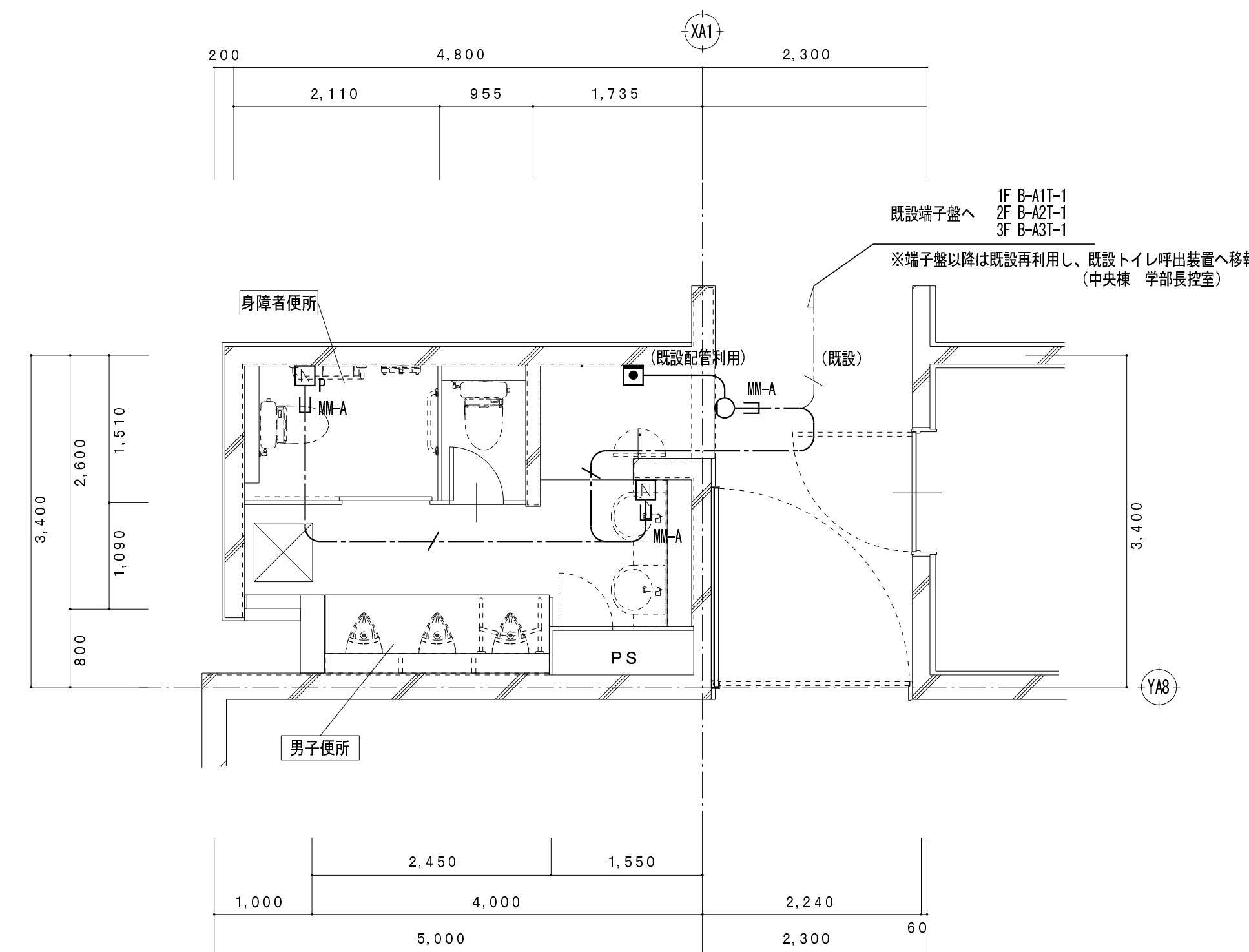
二重天井内配線はケーブルこころがし配線とする。
 壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。
 MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)
 防火区画及び境界貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。

配管配線種別

———	天井内隠蔽配管配線工事	———	天井内こころがし配線工事
----	床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
.....	ケーブルリック配線工事		



B5 1,2,3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50



B5 1,2,3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

F

凡 例

記 号	名 称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
○	廊下灯
◼	復旧ボタン
□	アウトレットボックス
⊖	弱電端子盤

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼 出 回 路	AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記なき器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)			
配管配線種別			
-----	天井内隠蔽配管配線工事	-----	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
-----	ケーブルリック配線工事		

凡 例

記 号	名 称
[N]	トイレ用呼出押しボタン
[N] _p	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
○	廊下灯
◼	復旧ボタン
[]	弱電端子盤 (既設)

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼 出 回 路	EM-AE 1.2 - 2C	(PF16)	
	EM-AE 1.2 - 3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこしがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
-----	天井内隠蔽配管配線工事	-----	天井内こしがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	-----	露出配管工事
-----	ケーブルリック配線工事		